

ヲ失ヒタルモノノ補闕及復職ニ關スル法律

○衆議院議員ノ補闕選舉等ノ一時停止ニ關スル法律

○衆議院議員選舉法第十條ノ特例ニ關スル法律

○會計法

○會計法戰時特例

○會計規則

○國有財產法

○國有財產法朝鮮ニ施行スルノ件

○國有財產法臺灣ニ施行スルノ件

○國有財產法ヲ樺太ニ施行スルノ件

○國有財產法施行令

○國有財產法施行期日

○關東州國有財產令

○南洋羣島國有財產令

○皇室典範(明治二十二年二月十一日)

第一章 皇位繼承

第一條 大日本國皇位ハ祖宗ノ皇統ニシテ男系ノ男子之ヲ繼承ス

第二條 皇位ハ皇長子ニ傳フ

第三條 皇長子在ラサルトキハ皇長孫ニ傳フ皇長子及其ノ子孫皆在ラサルトキハ皇次子及其ノ子孫ニ傳フ以下皆之ニ例ス

第四條 皇子孫ノ皇位ヲ繼承スルハ嫡出ヲ先ニス皇庶子孫ノ皇位ヲ繼承スルハ皇嫡子孫皆在ラサルトキニ限ル

第五條 皇子孫皆在ラサルトキハ皇兄弟及其ノ子孫ニ傳フ

第六條 皇兄弟及其ノ子孫皆在ラサルトキハ皇伯叔父及其ノ子孫ニ傳フ

第七條 皇伯叔父及其ノ子孫皆在ラサルトキハ其ノ以上ニ於テ最近親ノ皇族ニ傳フ

第八條 皇兄弟以上ハ同等内ニ於テ嫡ヲ先ニシ庶ヲ後ニシ長ヲ先ニシ幼

ヲ後ニス

第九條 皇嗣精神若ハ身體ノ不治ノ重患アリ又ハ重大ノ事故アルトキハ皇族會議及樞密顧問ニ諮詢シ前數條ニ依リ繼承ノ順序ヲ換フルコトヲ得

第二章 踐祚即位

第十條 天皇崩スルトキハ皇嗣即チ踐祚シ祖宗ノ神器ヲ承ク

第十一條 即位ノ禮及大嘗祭ハ京都ニ於テ之ヲ行フ

第十二條 踐祚ノ後元號ヲ建テ一世ノ間ニ再ヒ改メサルコト明治元年ノ定制ニ從フ

第三章 成年立后立太子

第十三條 天皇及皇太子皇太孫ハ滿十八年ヲ以テ成年トス

第十四條 前條ノ外ノ皇族ハ滿二十年ヲ以テ成年トス

第十五條 儲嗣タル皇子ヲ皇太子トス皇太子在ラサルトキハ儲嗣タル皇孫ヲ皇太孫トス

第十六條 皇后皇太子皇太孫ヲ立ツルトキハ詔書ヲ以テ之ヲ公布ス

第四章 敬稱

第十七條 天皇太皇太后皇太后皇后ノ敬稱ハ陛下トス

第十八條 皇太子皇太子妃皇太孫皇太孫妃親王妃親王妃内親王王妃女王ノ敬稱ハ殿下トス

第五章 攝政

第十九條 天皇未タ成年ニ達セサルトキハ攝政ヲ置ク

天皇久キニ亘ルノ故障ニ由リ大政ヲ親ラスルコト能ハサルトキハ皇族會議及樞密顧問ノ議ヲ經テ攝政ヲ置ク

第二十條 攝政ハ成年ニ達シタル皇太子又ハ皇太孫之ニ任ス

第二十一條 皇太子皇太孫在ラサルカ又ハ未タ成年ニ達セサルトキハ左ノ順序ニ依リ攝政ニ任ス

第一 親王及王

第二 皇后

皇室典範

第三 皇太后

第四 太皇太后

第五 内親王及女王

第二十二條 皇族男子ノ攝政ニ任スルハ皇位繼承ノ順序ニ從フ其ノ女子ニ於ケルモ亦之ニ準ス

第二十三條 皇族女子ノ攝政ニ任スルハ其ノ配偶アラサル者ニ限ル

第二十四條 最近親ノ皇族未タ成年ニ達セサルカ又ハ其ノ他ノ事故ニ由リ他ノ皇族攝政ニ任シタルトキハ後來最近親ノ皇族成年ニ達シ又ハ其ノ

事故既ニ除クト雖皇太子及皇太孫ニ對スルノ外其ノ任ヲ讓ルコトナシ

第二十五條 攝政又ハ攝政タルヘキ者精神若ハ身體ノ重患アリ又ハ重大ノ事故アルトキハ皇族會議及樞密顧問ノ議ヲ經テ其ノ順序ヲ換フルコトヲ得

第六章 太傅

第二十六條 天皇未タ成年ニ達セサルトキハ太傅ヲ置キ保育ヲ掌ラシム

第二十七條 先帝遺命ヲ以テ太傅ヲ任セサリシトキハ攝政ヨリ皇族會議

及樞密顧問ニ諮詢シ之ヲ選任ス

第二十八條 太傅ハ攝政及其ノ子孫之ニ任スルコトヲ得ス

第二十九條 攝政ハ皇族會議及樞密顧問ニ諮詢シタル後ニ非サレハ太傅

ヲ退職セシムルコトヲ得ス

第七章 皇族

第三十條 皇族ト稱フルハ太皇太后皇太后皇后皇太子皇太子妃皇太孫

皇太孫妃親王妃内親王王妃女王ヲ謂フ

第三十一條 皇子ヨリ皇玄孫ニ至ルマテハ男ヲ親王女ヲ内親王トシ五世

以下ハ男ヲ王女ヲ女王トス

第三十二條 天皇支系ヨリ入テ大統ヲ承クルトキハ皇兄弟姉妹ノ王女王

タル者ニ特ニ親王内親王ノ號ヲ宣賜ス

第三十三條 皇族ノ誕生命婚嫁薨去ハ宮内大臣之ヲ公告ス

第三十四條 皇統譜及前條ニ關ル記録ハ圖書寮ニ於テ尙藏ス

第三十五條 皇族ハ天皇之ヲ監督ス

第三十六條 攝政在任ノ時ハ前條ノ事ヲ攝行ス

第三十七條 皇族男女幼年ニシテ父ナキ者ハ宮内ノ官寮ニ命シ保育ヲ掌

ラシム事宜ニ依リ天皇ハ其ノ父母ノ選舉セル後見人ヲ認可シ又ハ之ヲ
勅選スヘシ

第三十八條 皇族ノ後見人ハ成年以上ノ皇族ニ限ル

第三十九條 皇族ノ婚嫁ハ同族又ハ勅旨ニ由リ特ニ認許セラレタル華族

ニ限ル

第四十條 皇族ノ婚嫁ハ勅許ニ由ル

第四十一條 皇族ノ婚嫁ヲ許可スルノ勅書ハ宮内大臣之ニ副署ス

第四十二條 皇族ハ養子ヲ爲スコトヲ得ス

第四十三條 皇族國疆ノ外ニ旅行セムトスルトキハ勅許ヲ請フヘシ

第四十四條 皇族女子ノ臣籍ニ嫁シタル者ハ皇族ノ列ニ在ラス但シ特旨

ニ依リ仍内親王女王ノ稱ヲ有セシムルコトアルヘシ

第八章 世傳御料

第四十五條 土地物件ノ世傳御料ト定メタルモノハ分割讓與スルコトヲ

得ス

第四十六條 世傳御料ニ編入スル土地物件ハ樞密顧問ニ諮詢シ勅書ヲ以

テ之ヲ定メ宮内大臣之ヲ公告ス

第九章 皇室經費

第四十七條 皇室諸般ノ經費ハ特ニ常額ヲ定メ國庫ヨリ支出セシム

第四十八條 皇室經費ノ豫算決算検査及其ノ他ノ規則ハ皇室會計法ノ定

ムル所ニ依ル

第十章 皇族訴訟及懲戒

第四十九條 皇族相互ノ民事ノ訴訟ハ勅旨ニ依リ宮内省ニ於テ裁判員ヲ

命シ裁判セシメ勅裁ヲ經テ之ヲ執行ス

第五十條 人民ヨリ皇族ニ對スル民事ノ訴訟ハ東京控訴院ニ於テ之ヲ

裁判ス但シ皇族ハ代人ヲ以テ訴訟ニ當ラシメ自ラ訟廷ニ出ルヲ要セス

第五十一條 皇族ハ勅許ヲ得ルニ非サレハ勾引シ又ハ裁判所ニ召喚スル
コトヲ得ス

第五十二條 皇族其ノ品位ヲ辱ムルノ所行アリ又ハ皇室ニ對シ忠順ヲ缺
クトキハ勅旨ヲ以テ之ヲ懲戒シ其ノ重キ者ハ皇族特權ノ一部又ハ全部
ヲ停止シ若ハ剝奪スヘシ

第五十三條 皇族蕩産ノ所行アルトキハ勅旨ヲ以テ治産ノ禁ヲ宣告シ其
ノ管財者ヲ任スヘシ

第五十四條 前二條ハ皇族會議ニ諮詢シタル後之ヲ勅裁ス

第十一章 皇族會議

第五十五條 皇族會議ハ成年以上ノ皇族男子ヲ以テ組織シ内大臣樞密院
議長宮内大臣司法大臣大審院長ヲ以テ參列セシム

第五十六條 天皇ハ皇族會議ニ親臨シ又ハ皇族中ノ一員ニ命シテ議長タ
ラシム

第十二章 補則

第五十七條 現在ノ皇族五世以下親王ノ號ヲ宣賜シタル者ハ舊ニ依ル

第五十八條 皇位繼承ノ順序ハ總テ實系ニ依ル現在皇養子皇猶子又ハ他
ノ繼承タルノ故ヲ以テ之ヲ混スルコトナシ

第五十九條 親王内親王王女王ノ品位ハ之ヲ廢ス

第六十條 親王ノ家格及其ノ他此ノ典範ニ牴觸スル例規ハ總テ之ヲ廢
ス

第六十一條 皇族ノ財産歳費及諸規則ハ別ニ之ヲ定ムヘシ

第六十二條 將來此ノ典範ノ條項ヲ改正シ又ハ増補スヘキノ必要アルニ
當テハ皇族會議及樞密顧問ニ諮詢シテ之ヲ勅定スヘシ

○皇室典範増補(明治四十年
二月十一日)

第一條 王ハ勅旨又ハ情願ニ依リ家名ヲ賜ヒ華族ニ列セシムルコトアル
ヘシ

第二條 王ハ勅許ニ依リ華族ノ家督相續人トナリ又ハ家督相續ノ目的ヲ

以テ華族ノ養子トナルコトヲ得

第三條 前二條ニ依リ臣籍ニ入りタル者ノ妻直系卑屬及其ノ妻ハ其ノ家ニ入ル但シ他ノ皇族ニ嫁シタル女子及其ノ直系卑屬ハ此ノ限ニ在ラス

第四條 特權ヲ剝奪セラレタル皇族ハ勅旨ニ由リ臣籍ニ降スコトアルヘシ
前項ニ依リ臣籍ニ降サレタル者ノ妻ハ其ノ家ニ入ル

第五條 第一條第二條第四條ノ場合ニ於テハ皇族會議及樞密顧問ノ諮詢ヲ經ヘシ

第六條 皇族ノ臣籍ニ入りタル者ハ皇族ニ復スルコトヲ得ス

第七條 皇族ノ身位其ノ他ノ權義ニ關スル規程ハ此ノ典範ニ定メタルモノノ外別ニ之ヲ定ム

皇族ト人民トニ涉ル事項ニシテ各適用スヘキ法規ヲ異ニスルトキハ前項ノ規程ニ依ル

第八條 法律命令中皇族ニ適用スヘキモノトシタル規定ハ此ノ典範又ハ之ニ基ツキ發スル規則ニ別段ノ條規ナキトキニ限り之ヲ適用ス

○皇室典範增補(大正七年十一月二十八日)

皇族女子ハ王族又ハ公族ニ嫁スルコトヲ得

○皇室儀制令(大正十五年皇室令第七號 改正昭和二年第十四號) (抄)

第六條 帝國議會ノ開院式及閉院式ハ貴族院ニ於テ之ヲ行フ

附式

帝國議會開院ノ儀

當日何時貴族院及衆議院ノ議長副議長議員各其ノ本院ニ參集ス但シ服裝大禮服正裝服制ナキ者ハ通常禮服關係諸員亦同シ

次ニ國務大臣樞密院議長樞密院副議長樞密顧問官貴族院ニ參入ス

次ニ皇太子親王王貴族院ニ參入ス

時刻天皇御正裝貴族院ニ行幸

皇太子親王王國務大臣樞密院議長樞密院副議長樞密顧問官貴族院議

皇室典範增補、皇室儀制令(抄)

長衆議院議長車寄ニ奉迎シ貴族院及衆議院ノ副議長高等官門内ニ臚列奉迎ス

次ニ便殿ニ著御

貴族院議長式部長官宮内大臣前行シ侍從長侍從侍從武官長侍從武官御後ニ候ス

次ニ國務大臣樞密院議長樞密院副議長樞密顧問官貴族院及衆議院ノ議長副議長ニ賜謁

次ニ貴族院及衆議院ノ議長副議長議員式場ニ參進本位ニ就ク

次ニ内閣總理大臣勅語書ヲ奉シテ内閣書記官兼持式場ニ參進續テ國務大臣樞密院議長樞密院副議長樞密顧問官參進本位ニ就ク

次ニ天皇出御

式部長官宮内大臣前行シ侍從長侍從侍從武官長侍從武官御後ニ候シ皇太子親王王供奉ス

次ニ天皇御座ニ著御

次ニ内閣總理大臣勅語書ヲ上ツル

次ニ勅語アリ

次ニ貴族院議長御前ニ參進勅語書ヲ拜受ス

次ニ天皇入御

供奉出御ノ時ノ如シ

次ニ還幸

皇太子親王王國務大臣樞密院議長樞密院副議長樞密顧問官貴族院議長衆議院議長車寄ニ於テ奉送シ貴族院及衆議院ノ副議長高等官門内ニ臚列奉送ス

次ニ各退下

帝國議會閉院ノ儀

當日何時貴族院及衆議院ノ議長副議長議員各其ノ本院ニ參集ス但シ服裝通常禮服禮裝關係諸員亦同シ宮内官ハ小禮服

次ニ國務大臣貴族院ニ參入ス

皇室儀制令(抄)

- 次ニ貴族院及衆議院ノ議長副議長議員式場ニ參進本位ニ就ク
- 次ニ國務大臣(内閣總理大臣ヲ除ク)式場ニ參進本位ニ就ク
- 次ニ内閣總理大臣勅語書ヲ奉シテ内閣書記官持式場ニ參進本位ニ就ク
- 次ニ内閣總理大臣勅語ヲ捧讀ス
- 次ニ貴族院議長進テ勅語書ヲ拜受ス
- 次ニ内閣總理大臣退下
- 次ニ各退下

○公式令

(明治四十年勅令第六號)
(改正大正十年勅令第四百十五號)

第一條 皇室ノ大事ヲ宣誥シ及大權ノ施行ニ關スル勅旨ヲ宣誥スルハ別段ノ形式ニ依ルモノヲ除クノ外詔書ヲ以テス

詔書ニハ親署ノ後御璽ヲ鈐シ其ノ皇室ノ大事ニ關スルモノニハ宮内大臣年月日ヲ記入シ内閣總理大臣ト俱ニ之ニ副署ス其ノ大權ノ施行ニ關スルモノニハ内閣總理大臣年月日ヲ記入シ之ニ副署シ又ハ他ノ國務大臣ト俱ニ之ニ副署ス

第二條 文書ニ由リ發スル勅旨ニシテ宣誥セサルモノハ別段ノ形式ニ依ルモノヲ除クノ外勅書ヲ以テス

勅書ニハ親署ノ後御璽ヲ鈐シ其ノ皇室ノ事務ニ關スルモノニハ宮内大臣年月日ヲ記入シ之ニ副署ス其ノ國務大臣ノ職務ニ關スルモノニハ内閣總理大臣年月日ヲ記入シ之ニ副署ス

第三條 帝國憲法ノ改正ハ上諭ヲ附シテ之ヲ公布ス

前項ノ上諭ニハ樞密顧問ノ諮詢及帝國憲法第七十三條ニ依ル帝國議會ノ議決ヲ經タル旨ヲ記載シ親署ノ後御璽ヲ鈐シ内閣總理大臣年月日ヲ記入シ他ノ國務各大臣ト俱ニ之ニ副署ス

第四條 皇室典範ノ改正ハ上諭ヲ附シテ之ヲ公布ス

前項ノ上諭ニハ皇族會議及樞密顧問ノ諮詢ヲ經タル旨ヲ記載シ親署ノ後御璽ヲ鈐シ宮内大臣年月日ヲ記入シ國務各大臣ト俱ニ之ニ副署ス

第五條 皇室典範ニ基ツク諸規則、宮内官制其ノ他皇室ノ事務ニ關シ勅

定ヲ經タル規程ニシテ發表ヲ要スルモノハ皇室令トシ上諭ヲ附シテ之ヲ公布ス

前項ノ上諭ニハ親署ノ後御璽ヲ鈐シ宮内大臣年月日ヲ記入シ之ニ副署ス國務大臣ノ職務ニ關連スル皇室令ノ上諭ニハ内閣總理大臣又ハ内閣總理大臣及主任ノ國務大臣ト俱ニ之ニ副署ス

皇族會議及樞密顧問又ハ其ノ一方ノ諮詢ヲ經タル皇室令ノ上諭ニハ其ノ旨ヲ記載ス

第六條 法律ハ上諭ヲ附シテ之ヲ公布ス

前項ノ上諭ニハ帝國議會ノ協贊ヲ經タル旨ヲ記載シ親署ノ後御璽ヲ鈐シ内閣總理大臣年月日ヲ記入シ之ニ副署シ又ハ他ノ國務各大臣若ハ主任ノ國務大臣ト俱ニ之ニ副署ス

第七條 勅令ハ上諭ヲ附シテ之ヲ公布ス

樞密顧問ノ諮詢ヲ經タル法律ノ上諭ニハ其ノ旨ヲ記載ス
前項ノ上諭ニハ親署ノ後御璽ヲ鈐シ内閣總理大臣年月日ヲ記入シ之ニ

副署シ又ハ他ノ國務各大臣若ハ主任ノ國務大臣ト俱ニ之ニ副署ス

樞密顧問ノ諮詢ヲ經タル勅令及貴族院ノ諮詢又ハ議決ヲ經タル勅令ノ上諭ニハ其ノ旨ヲ記載シ帝國憲法第八條第一項又ハ第七十條第一項ニ依リ發スル勅令ノ上諭ニハ其ノ旨ヲ記載ス

帝國議會ニ於テ帝國憲法第八條第一項ノ勅令ヲ承諾セサル場合ニ於テ其ノ效力ヲ失フコトヲ公布スル勅令ノ上諭ニハ同條第二項ニ依ル旨ヲ記載ス

第八條 國際條約ヲ發表スルトキハ上諭ヲ附シテ之ヲ公布ス

前項ノ上諭ニハ樞密顧問ノ諮詢ヲ經タル旨ヲ記載シ親署ノ後御璽ヲ鈐シ内閣總理大臣年月日ヲ記入シ主任ノ國務大臣ト俱ニ之ニ副署ス

第九條 豫算及豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スノ件ハ上諭ヲ附シテ之ニ公布ス

前項ノ上諭ニハ帝國議會ノ協贊ヲ經タル旨ヲ記載シ親署ノ後御璽ヲ鈐シ内閣總理大臣年月日ヲ記入シ主任ノ國務大臣ト俱ニ之ニ副署ス

第十條 閣令ニハ内閣總理大臣年月日ヲ記入シ之ニ署名ス

省令ニハ各省大臣年月日ヲ記入シ之ニ署名ス

宮内省令ニハ宮内大臣年月日ヲ記入シ之ニ署名ス

第十一條 皇室令、勅令、閣令及省令ハ別段ノ施行時期アル場合ノ外公布ノ日ヨリ起算シ滿二十日ヲ經テ之ヲ施行ス

第十二條 前數條ノ公文ヲ公布スルハ官報ヲ以テス

第十三條 國書其ノ他外交上ノ親書、條約批准書、全權委任狀、外國派遣官吏委任狀、名譽領事委任狀及外國領事認可狀ニハ親署ノ後國璽ヲ鈐シ主任ノ國務大臣之ニ副署ス外務大臣ニ授クル全權委任狀ニハ内閣總理大臣之ニ副署ス

第十四條 親任式ヲ以テ任スル官ノ官記ニハ親署ノ後御璽ヲ鈐シ内閣總理大臣年月日ヲ記入シ之ニ副署ス宮内官ニ付テハ宮内大臣年月日ヲ記入シ之ニ副署ス

内閣總理大臣ヲ任スルノ官記ニハ他ノ國務大臣又ハ内大臣、宮内大臣

ヲ任スルノ官記ニハ内大臣年月日ヲ記入シ之ニ副署ス

前二項ニ依ルモノノ外勅任官ノ官記ニハ御璽ヲ鈐シ内閣總理大臣年月日ヲ記入シ之ヲ奉ス宮内官ニ付テハ宮内大臣年月日ヲ記入シ之ヲ奉ス奏任官ノ官記ニハ内閣ノ印ヲ鈐シ内閣總理大臣年月日ヲ記入シ之ヲ宣ス宮内官ニ付テハ宮内省ノ印ヲ鈐シ宮内大臣年月日ヲ記入シ之ヲ宣ス

第十五條 親任式ヲ以テ任シタル官ヲ免スルノ辭令書ニハ御璽ヲ鈐シ内閣總理大臣年月日ヲ記入シ之ヲ奉ス宮内官ニ付テハ宮内大臣年月日ヲ記入シ之ヲ宣ス奏任官ヲ免スルノ辭令書ニハ内閣總理大臣年月日ヲ記入シ之ヲ宣ス宮内官ニ付テハ宮内大臣年月日ヲ記入シ之ヲ宣ス

第十六條 爵記ニハ親署ノ後御璽ヲ鈐シ宮内大臣年月日ヲ記入シ之ニ副署ス

第十七條 一位ノ位記ニハ親署ノ後御璽ヲ鈐シ宮内大臣年月日ヲ記入シ之ニ副署ス

二位以下四位以上ノ位記ニハ御璽ヲ鈐シ宮内大臣年月日ヲ記入シ之ヲ奉ス五位以下ノ位記ニハ宮内省ノ印ヲ鈐シ宮内大臣年月日ヲ記入シ之ヲ宣ス

第十八條 爵位ノ返上ヲ命シ又ハ允許スルノ辭令書ニハ宮内大臣年月日ヲ記入シ之ヲ奉ス

第十九條 勳二等功三級以上ノ勳記ニハ親署ノ後御璽ヲ鈐シ勳三等功四級以下ノ勳記ニハ國璽ヲ鈐シ内閣總理大臣旨ヲ奉シ賞勳局總裁ヲシテ年月日ヲ記入シ之ニ署名セシム

勳記ニハ勳章ノ種別ニ從ヒ號數ヲ附シ簿冊ニ記入スル旨ヲ附記シ賞勳局ノ印ヲ鈐シ賞勳局書記官之ニ署名ス

第二十條 記章ノ證狀並外國勳章及記章ノ佩用免許ノ證狀ニハ内閣總理大臣旨ヲ奉シ賞勳局總裁ヲシテ年月日ヲ記入シ賞勳局ノ印ヲ鈐シ之ニ署名セシム

證狀ニハ其ノ種別ニ從ヒ號數ヲ附シ簿冊ニ記入スル旨ヲ附記シ賞勳局ノ印ヲ鈐シ賞勳局書記官之ニ署名ス

第二十一條 勳章及記章並外國勳章及記章ノ佩用免許ノ證狀ヲ褫奪スルノ辭令書ニハ内閣總理大臣旨ヲ奉シ賞勳局總裁ヲシテ年月日ヲ記入シ之ニ署名セシム

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
公文式ハ之ヲ廢止ス

○請願令(大正六年勅令第三十七號)

第一條 請願ハ法律勅令ニ別段ノ規定アルモノヲ除クノ外本令ニ依リ之

請願令

ヲ爲スヘシ

第二條 請願ハ文書ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

請願書ニハ侮辱誹毀ニ涉リ又ハ秩序風俗ヲ紊ル文辭ヲ用ウルコトヲ得ス

第三條 請願書ノ文字ハ端正鮮明ナルコトヲ要ス

第四條 請願書ニハ請願ノ要旨、理由、年月日、請願者ノ族稱、職業、住所、年齢ヲ記載シ請願者各自之ニ署名捺印スヘシ

第五條 法人請願者ナルトキハ其ノ名稱及住所ヲ記載シ法定ノ代表者各自請願書ニ署名捺印スヘシ

第六條 法人ハ其ノ目的ノ遂行ニ關係アル事項ニ非サレハ請願ヲ爲スコトヲ得ス

第七條 未成年者及禁治産者ノ請願ハ其ノ法定代理人ニ於テモ之ヲ爲スコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ請願書ニ代理ノ事由及法定代理人ノ族稱、職業、住

所、年齢ヲ記載シ法定代理人之ニ署名捺印スヘシ

第八條 署名スルコト能ハサル者ハ他人ヲシテ代署セシムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ代署者請願書ニ其ノ事由ヲ附記シ且其ノ族稱、職業、住所、年齢ヲ記載シ之ニ署名捺印スヘシ

第九條 請願ハ第七條ノ場合ヲ除クノ外代理人ニ依リテ之ヲ爲スコトヲ得ス

第十條 天皇ニ奉呈スル請願書ハ封皮ニ請願ノ二字ヲ朱書シ内大臣府ニ宛テ其ノ他ノ請願書ハ請願ノ事項ニ付職權ヲ有スル官公署ニ宛テ郵便ヲ以テ差出スヘシ

第十一條 左ニ掲クル事項ニ付テハ請願ヲ爲スコトヲ得ス

一 皇室典範及帝國憲法ノ變更ニ關スル事項

二 裁判ニ關預スル事項

第十二條 相當ノ敬禮ヲ守ラス又ハ本令ノ規定ニ違反スル請願書ハ之ヲ却下ス但シ官公署ニ對スル請願書ハ第三條乃至第五條、第七條第二項

請願令

又ハ第八條ノ規定ニ違反スルモ之ヲ却下セサルコトヲ得

第十三條 請願ニ對シテハ指令ヲ與ヘス

第十四條 天皇ニ奉呈スル請願書ハ内大臣奏聞シ旨ヲ奉シテ之ヲ處理ス

第十五條 請願ニ關シ官公署ノ職員ニ強テ面接ヲ求メタル者ハ二月以下ノ禁錮若ハ五十圓以下ノ罰金又ハ拘留若ハ科料ニ處ス

二人以上共ニ前項ノ罪ヲ犯シタルトキハ六月以下ノ禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第十六條 行幸ノ際沿道又ハ行幸地ニ於テ直願ヲ爲サムトシタル者ハ一年以下ノ懲役ニ處ス行啓ノ際沿道又ハ行啓地ニ於テ直願ヲ爲サムトシタル者亦同シ

第十七條 請願ヲ爲サシムル爲他人ヲ誘惑若ハ煽動シ又ハ名義ノ何タルヲ問ハス請願ニ關スル運動ノ爲金錢其ノ他ノ利益ヲ收受シ要求シ若ハ其ノ收受ヲ約束シタル者ハ六月以下ノ懲役又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

○衆議院規則(大正十四年三月二十四日議決)

第一章 成立

第一條 議員ハ召集ノ詔書ニ指定シタル期日ノ午前九時衆議院ニ集會スヘシ

第二條 集會シタル議員ハ當選證書ト俱ニ名刺ヲ事務局ニ通スヘシ書記官ハ當選人名簿ニ各員ノ當選證書ヲ對照スヘシ

第三條 午前十時ニ至リ集會シタル議員總議員三分ノ一二達シタルトキハ議員ハ議長候補者ノ選舉ヲ行フヘシ

第四條 議長候補者ノ選舉ハ無名投票ヲ以テシ候補者三名ヲ連記スヘシ

第五條 議員ハ點呼ニ應シ議長席ノ前ニ設ケタル投票函ニ投票ヲ投入シ其ノ名刺ヲ名刺函ニ投入スヘシ
現在議員投票ヲ終リタルトキハ書記官長ハ投票函ノ閉鎖ヲ宣告スヘシ
閉鎖宣告ノ後ハ投票スルコトヲ許サス

第六條 投票終リタルトキハ書記官長ハ書記官ヲシテ直ニ投票ヲ計算シ

之ヲ點檢セシム投票ノ數名刺ノ數ニ超過シタルトキハ更ニ投票ヲ行ハ
シムヘシ但シ選舉ノ結果ニ異動ヲ及ホササルトキハ此ノ限ニ在ラス

第七條 投票ノ點檢終リタルトキハ書記官長各候補者ノ得點ヲ議員ニ報
告シ投票ノ過半數ヲ得タル者ヲ以テ當選人トス

第八條 投票ノ過半數ヲ得タル者ナキトキ又ハ過半數ヲ得タル者三人ニ
滿タサルトキハ最多數ノ投票ヲ得タル者ニ就キ選舉スヘキ定員ノ倍數

ヲ取り決選投票ヲ行ヒ多數ヲ得タル者ヲ以テ當選人トス
同數者二人以上アルトキハ年齡多キ者ヲ取り年齡同シキトキハ抽籤ヲ

以テ之ヲ定ム
第九條 當選人ニシテ當選ヲ辭スル者アルトキハ更ニ其ノ選舉ヲ行フヘ
シ

第十條 議長候補者ノ選舉終リタルトキハ副議長候補者ノ選舉ヲ行フヘ
シ

副議長候補者ノ選舉ハ議長候補者選舉ノ例ニ同シ

第十一條 議長候補者ハ副議長候補者ニ選舉セラルコトヲ得
第十二條 選舉ニ付疑義ヲ生スルトキハ書記官長ハ集會シタル議員ニ諮
ヒ之ヲ決スヘシ

第十三條 議長副議長ノ候補者定マリタルトキハ書記官長ハ内閣總理大
臣ヲ經由シテ之ヲ奏上スヘシ

第十四條 議長副議長任命ノ翌日午前九時議員ハ議場ニ集會スヘシ
書記官長ハ議長及副議長ヲ議院ニ紹介シ議長ヲ導キテ議長席ニ著カシ
ムヘシ

第十五條 議員ノ議席ハ每會期ノ始ニ於テ議長之ヲ定ム但シ必要ト認ム
ルトキハ之ヲ變更スルコトヲ得

議席ニハ各號數及氏名標ヲ付ス

第十六條 議長ハ議席ヲ指定シタル後書記官ヲシテ抽籤セシメ議員ノ部
屬ヲ定ム

第十七條 議員ノ部屬ハ每會期ニ之ヲ定メ各部ニ號數ヲ付ス

總議員ヲ九部ニ配分シ均分スルコト能ハサルトキハ第一部ヨリ以下每部一員ヲ加フヘシ

議長副議長ハ部員ノ中ニ入ラス

第十八條 臨時會ニ於テハ前會ノ議席及部屬ヲ繼續スヘシ

第十九條 各部ハ年長部員ヲ以テ管理者トシ無名投票ヲ以テ部員中ヨリ部長一名ヲ互選シ其ノ最多數ヲ得タル者ヲ以テ當選人トス

最多數ヲ得タル者同數者二人以上アルトキハ第八條第二項ノ例ニ依ル

第二十條 部長ハ部ノ事務ヲ整理ス

第二十一條 各部ハ部員中ヨリ理事一名ヲ互選ス

理事ノ互選ハ部長互選ノ例ニ同シ

第二十二條 理事ハ部長ヲ輔ケ部長故障アルトキハ之ヲ代理スヘシ

第二十三條 議席及部屬定マリタルトキハ議長ハ議院ノ成立シタルコトヲ政府及貴族院ニ通知スヘシ

第二十四條 議員一任期ノ第二會期以後ニ於テハ召集ノ期日午前十時ニ至リ議員總數三分ノ一ニ達シタルトキハ議席及部屬ヲ定メタル後議院ノ成立シタルコトヲ政府及貴族院ニ通知スヘシ

第二章 假議長選舉

第二十五條 假議長ノ選舉ハ無名投票ヲ以テ之ヲ行ヒ過半數ヲ得タル者ヲ以テ當選人トス

過半數ヲ得タル者ナキトキハ最多數ノ投票ヲ得タル者二人ニ就キ更ニ決選投票ヲ行ヒ多數ヲ得タル者ヲ以テ當選人トス

同數者二人以上アルトキハ第八條第二項ノ例ニ依ル

議院ハ假議長ノ選舉ヲ議長ニ委任スルコトヲ得

第二十六條 假議長ノ選舉ヲ行フ場合ニ於テ議長ノ職務ヲ行フ者ナキトキハ全院委員長議長ノ職務ヲ行フヘシ但シ全院委員長故障アルトキ又ハ其ノ選舉未タ施行セラレサルトキハ出席議員中ノ年長者ヲ以テ之ニ充ツ

第三章 委員

第一節 通則

第二十七條 委員ノ審査ハ議院ノ付託シタル事件ノ外ニ涉ルコトヲ得ス

第二十八條 委員ハ委員會ニ於テ同一事件ニ付幾回タリトモ發言スルコトヲ得

トヲ得

第二十九條 委員長ハ委員會ノ會議ヲ整理シ秩序ヲ保持ス

第三十條 委員會ノ議事ハ出席員ノ過半數ヲ以テ決ス可否同數ナルトキハ委員長ノ決スル所ニ依ル

ハ委員長ノ決スル所ニ依ル

第三十一條 委員長自ラ討議ニ與カラムトスルトキハ委員中ヨリ代理者ヲ指名シ委員長席ニ著カシムヘシ

ヲ指名シ委員長席ニ著カシムヘシ

第二節 全院委員

第三十二條 全院委員長ノ選舉ハ第二十五條第一項乃至第三項ノ例ニ依ル

ル

第三十三條 全院委員長故障アルトキハ第一部長其ノ職務ヲ行ヒ第一部長亦故障アルトキハ順次ニ第二部長以下之ヲ行フ

長亦故障アルトキハ順次ニ第二部長以下之ヲ行フ

第三十四條 全院委員會ハ議長又ハ議員二十人以上ノ發議ニ由リ討論ヲ用キス議院ノ決議ヲ以テ之ヲ開ク

用キス議院ノ決議ヲ以テ之ヲ開ク

第三十五條 全院委員會ヲ開クコトヲ議決シタルトキハ即時ニ開會スヘシ

シ

即時ニ開會セサルノ議決ヲ爲シタルトキハ議長開會ノ期日ヲ定メ議事日程ニ記載スヘシ

日程ニ記載スヘシ

第三十六條 全院委員會ヲ開クトキハ議長其ノ席ヲ退クヘシ

委員長ノ席ハ書記官長ノ席ヲ以テ之ヲ充ツ

第三十七條 全院委員會ニ於ケル動議ハ一人以上ノ贊成者ヲ待チテ議題ト爲スヘシ

ト爲スヘシ

第三十八條 全院委員會ハ自ラ其ノ規則ヲ議決スルコトヲ得ス

第三十九條 全院委員會議事ヲ終ルトキハ委員長ハ議長ノ復席ヲ求メ其ノ結果ヲ議院ニ報告スヘシ

ノ結果ヲ議院ニ報告スヘシ

第四十條 全院委員會ハ自ラ延會スルコトヲ得ス若議事終局セサルトキハ委員長ハ議長ノ復席ヲ求メ議事ノ經過ヲ議院ニ報告スヘシ

此ノ場合ニ於テハ議長ハ更ニ開會ノ期日ヲ定メ議事日程ニ記載スヘシ

第四十一條 全院委員會ニ於テ議院法若ハ議院規則ニ違ヒ議場ノ秩序ヲ紊ル者アルトキハ議長ハ委員長ノ請求ヲ待タス其ノ席ニ復シ委員會ヲ解クコトヲ得

第四十二條 全院委員會ノ議決スルコトヲ得サル事件生スルトキハ委員長ハ議長ノ復席ヲ求メ其ノ席ヲ退クヘシ

第四十三條 全院委員會ニ於テハ書記官書記官長ノ職務ヲ行フ

第三節 常任委員

第四十四條 議院ハ每會期ノ始メニ於テ左ニ列記スル常任委員ヲ選舉ス

- 一 豫算委員 六十三人
- 二 決算委員 四十五人
- 三 請願委員 四十五人

四 懲罰委員 二十七人

其ノ他議院ニ於テ必要ト認ムルモノ

第四十五條 常任委員ハ各部ニ於テ無名投票ヲ以テ總議員中ヨリ選舉シ最多數ヲ得タル者ヲ以テ當選人トス同數者二人以上アルトキハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム

各常任委員ノ選舉ハ議院ノ命スル所ニ依リ各部同時ニ之ヲ行フヘシ

第四十六條 各部ニ於テ當選人定マリタルトキハ部長ハ之ヲ議長ニ報告スヘシ

第四十七條 數部ノ選舉ニ當選シタル者ハ其ノ所屬部ノ當選人トス所屬部ノ外ニ於テ數部ノ選舉ニ當選シタル者ハ部號ノ順序ニ從ヒ其ノ當選人トス

第四十八條 前條又ハ其ノ他ノ事由ニ因リ委員ニ闕員ヲ生シタルトキハ其ノ選舉シタル部ニ於テ補闕選舉ヲ行フヘシ

第四十九條 委員ニ選舉セラレタル者ハ正當ノ事由ナクシテ其ノ任ヲ辭

スルコトヲ得ス

第五十條 委員長ハ無名投票ヲ以テ互選シ最多數ヲ得タル者ヲ以テ當選人トス

同數者二人以上アルトキハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム

第五十一條 委員會ニ一名又ハ數名ノ理事ヲ置ク理事ハ無名投票ヲ以テ委員中ヨリ之ヲ互選ス

委員長故障アルトキ理事其ノ職務ヲ代理ス

第五十二條 議院ニ於テ委員會ノ期日ヲ指定セサルトキハ委員長之ヲ定ム

第五十三條 委員會ハ議院ノ會議時間ニ於テ之ヲ開クコトヲ得ス但シ議院ノ許可ヲ得タルトキハ此ノ限ニ在ラス

第五十四條 委員會ハ其ノ付託ヲ受ケタル事件ニ關シ意見ヲ有スル議員アルトキハ其ノ意見ヲ聽クコトヲ得

第五十五條 委員會議錄及其ノ他參考文書ノ閱覽ヲ求ムル議員アルトキ

ハ委員會ハ審査ノ障礙ヲ生セサル限之ヲ許スヘシ但シ議院ノ外ニ攜帶スルコトヲ許サス

第五十六條 委員會ノ審査終ルトキハ報告書ヲ作り委員長ヨリ議長ニ提出スヘシ

委員會ノ決議ニ依リ委員長ハ口述ヲ以テ報告スルコトヲ得但シ議院ハ文書ノ報告ヲ求ムルコトヲ得

委員長ハ委員會ノ決議ヲ經テ其ノ報告ヲ他ノ委員ニ依託スルコトヲ得

議長ニ於テ特ニ祕密ト認ムルモノノ外委員會ノ報告書ハ印刷シテ豫メ之ヲ議員ニ配付スヘシ

第五十七條 議院ハ期限ヲ定メ委員會ヲシテ審査ノ報告ヲ爲サシムルコトヲ得

第五十八條 委員會故ナク其ノ報告ヲ遅延スルトキハ議院ハ改メテ他ノ委員ヲ選任スルコトヲ得

第五十九條 委員會ニ於テ少數ヲ以テ廢棄セラレタル意見ヲ議院ニ提出

セムトスル者出席委員三分ノ一ニ及フトキハ委員會ノ報告ト俱ニ其ノ意見書ヲ提出スルコトヲ得

第六十條 委員會ハ委員會會議録ヲ作り出席者ノ氏名表決ノ數決議ノ要領其ノ他重要ノ事件ヲ記載スヘシ

第六十一條 委員會會議録ハ委員長及理事之ニ署名シ事務局ニ保存スヘシ

第六十二條 豫算委員決算委員及請願委員ハ其ノ事務ヲ捷速ナラシムル爲分テ數科ト爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テ各科ニ主査ヲ互選スヘシ各科主査ハ議院ニ於テ委員長ノ報告ヲ補足スルコトヲ得

第四節 特別委員

第六十三條 特別委員ノ數ハ九名トス但シ付託事件ノ種類ニ由リ議院ノ決議ヲ以テ之ヲ増加スルコトヲ得

第六十四條 特別委員ハ議院ニ於テ無名投票ヲ以テ連記選舉シ最多數ヲ得タル者ヲ當選人トス同數者二人以上アルトキハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム

議院ハ特別委員ノ選舉ヲ議長ニ委任スルコトヲ得

第六十五條 特別委員ニ關員ヲ生シタルトキハ其ノ選舉シタル方法ニ依リ補闕選舉ヲ行フヘシ

第六十六條 議院ハ特別委員ニ付託シタル事件ニ連繫スル他ノ事件ヲ併セテ之ニ付託スルコトヲ得

第六十七條 議院ハ特別委員ノ報告ヲ受ケタル後更ニ其ノ事件ヲ同一委員ニ付託シ又ハ他ノ委員ニ付託スルコトヲ得

第六十八條 第四十九條ヨリ第六十一條ニ至ル迄ノ規定ハ本節ニ適用ス

第四章 議員資格審査

第六十九條 議員他ノ議員ノ資格ニ對シ異議アルトキハ異議申立書及其ノ副本ヲ作り署名シテ之ヲ議長ニ差出スヘシ

議長ハ異議申立書ヲ資格審査委員ニ付シ及其ノ副本ヲ被申立議員ニ送達シ期日ヲ定メ答辯書ヲ差出サシムヘシ

被申立議員天災事變又ハ疾病ニ因リ期間内ニ答辯書ヲ差出スコト能ハ

サリシコトヲ證明スルトキハ議長ハ更ニ期日ヲ定メ答辯書ヲ差出サシムルコトヲ得

第七十條 議長被申立議員ノ答辯書ヲ受取リタルトキハ資格審査委員ニ付シ時日ヲ期シテ之ヲ審査セシムヘシ

第七十一條 被申立議員期間内ニ答辯書ヲ差出ササルトキハ資格審査委員ハ直ニ審査ノ結果ヲ報告スルコトヲ得

第七十二條 資格審査委員ハ必要ト認ムルトキハ議長ヲ經由シテ異議申立議員及被申立議員ヲ召喚訊問スルコトヲ得

第七十三條 委員其ノ審査報告ヲ議長ニ提出シタルトキハ議長之ヲ各議員ニ配付シタル後院議ニ付スヘシ

第七十四條 被申立議員ハ自ラ議院ニ辯明シ又ハ他ノ議員ヲシテ代リテ辯明セシムルコトヲ得

第五章 開議散會及延會

第七十五條 會議ハ午後一時ニ始ム但シ議長必要ト認ムルトキハ此ノ限

ニ在ラス

第七十六條 議事日程ニ掲ケタル議事ヲ終リタルトキハ議長ハ散會ヲ宣告ス

議事未タ終ラサルモ午後六時ニ至ルトキハ議長ハ議院ニ諮ハスシテ延會ヲ宣告スルコトヲ得但シ緊急ノ議事ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第七十七條 議事開始ノ時刻ニ至ルトキハ議長其ノ席ニ著キ諸般ノ事項ヲ報告シテ後ニ會議ヲ開クコトヲ宣言ス

議長開議ヲ宣告セサル間ハ何人モ議事ニ付發言スルコトヲ得ス

第七十八條 出席議員若定數ニ充タサルトキハ議長ハ相當ノ時間ヲ經テ之ヲ計算セシム計算二回ニ至リ仍定數ニ充タサルトキハ延會ヲ宣告スヘシ

第七十九條 議長散會延會又ハ中止ヲ宣告シタル後ハ何人モ議事ニ付發言スルコトヲ得ス

第六章 議事日程

第八十條 議長ハ會議ノ終ニ於テ次會ノ議事日程ヲ議院ニ報告スヘシ
第八十一條 凡テ議院ノ會議ニ付スヘキ事件及次序竝開議ノ日時ハ之ヲ
議事日程ニ記載スヘシ

第八十二條 議事日程ハ官報ニ掲載シ及議員ニ配付スヘシ
第八十三條 議事日程ニ某議案ノ會議時刻ヲ定メタル場合ニ於テ其ノ時
刻ニ至リタルトキハ議長ハ會議中ノ議事ヲ中止シテ時刻ヲ定メタル事
件ノ會議ニ移ルヘシ

第八十四條 議事日程ニ記載シタル事件アルニ拘ラス他ノ緊急事件ニ付
開議ノ動議ヲ起ス者アルトキ又ハ議長自ラ緊急事件ト認ムルトキハ討
論ヲ用キスシテ議院ニ諮ヒ議事日程ヲ變更スルコトヲ得

第八十五條 議事日程ニ指定シタル日ニ於テ其ノ記載事件ノ會議ヲ開ク
コト能ハサルトキ又ハ會議終局ニ至ラサルトキハ議長ハ更ニ其ノ日程
ヲ定ムヘシ

第八十六條 貴族院ニ於テ既ニ會議ニ付シタル議案ト同一ナル事件ヲ議
事日程ニ記載スルコトヲ得ス但シ兩議院ノ議決ヲ要セサルモノハ此ノ
限ニ在ラス

第八十七條 貴族院ヨリ提出シタル議案ハ政府ヨリ提出シタル議案ニ次
キ議事日程ニ記載スヘシ

第七章 議事
第一節 發議、動議及撤回

第八十八條 議員法律案又ハ上奏案建議案ヲ發議セムトスルトキハ其ノ
案ヲ具ヘ理由ヲ付シ定規ノ贊成者ト共ニ連署シテ議長ニ提出シ議長ハ
之ヲ印刷シテ各議員ニ配付スヘシ

第八十九條 決議ノ動議ハ二十人以上ノ贊成者ヲ待チテ議題ト爲スヘシ
第九十條 議院法及此ノ規則ニ於テ特ニ規定シタル場合ヲ除クノ外凡ソ
動議ハ一人以上ノ贊成者ヲ待チテ議題ト爲スヘシ

第九十一條 議員ノ發議ニ係ル議案及動議ノ撤回ハ發議者全部ヨリ之ヲ
請求スヘシ

前項ノ議案及動議ノ撤回ハ議題ト爲リタル後ハ議院ノ許可ヲ經ルコトヲ要ス

第二節 讀會

第九十二條 第一讀會ハ議案ヲ各議員ニ配付シタル後少クトモ二日ヲ隔テ之ヲ開クヘシ但シ緊急事件ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第九十三條 第一讀會ニ於テ議案ヲ朗讀シタル後國務大臣政府委員又ハ發議者ハ其ノ趣旨ヲ辯明スルコトヲ得

議員ハ議案ニ對シ疑義アルトキハ國務大臣政府委員又ハ發議者ニ説明ヲ求ムルコトヲ得

議長ハ便宜議案ノ朗讀ヲ省略セシムルコトヲ得

第九十四條 前條ノ手續ヲ終リタルトキハ政府又ハ貴族院ヨリ提出シタル議案ハ之ヲ委員ニ付託スヘシ

議院ハ委員ノ報告ヲ待チ大體ニ付討論シタル後第二讀會ヲ開クヘキヤ否ヲ決スヘシ

議員ヨリ提出シタル議案ハ大體ニ付討論シタル後第二讀會ヲ開クヘキヤ否ヲ決スヘシ若委員ニ付託スルノ動議アリテ之ヲ可決シタルトキハ其ノ報告ヲ待チ第二讀會ヲ開クヘキヤ否ヲ決スヘシ

第二讀會ヲ開クヘカラスト決シタルトキハ其ノ議案ヲ廢棄シタルモノトス

第九十五條 第二讀會ハ第一讀會ヲ終リタル後少クトモ二日ヲ隔テ之ヲ開クヘシ但シ議長ハ議院ニ諮ヒ時日ヲ短縮シ又ハ第一讀會ト同日ニ之ヲ開クコトヲ得

第九十六條 第二讀會ニ於テハ議案ヲ逐條朗讀シテ之ヲ議決スヘシ

議長ハ便宜議案ノ朗讀ヲ省略セシムルコトヲ得

第九十七條 第二讀會ニ於テハ議案ニ對シ修正ノ動議ヲ提出スルコトヲ得

議員ハ讀會ノ前豫メ修正案ヲ議長ニ提出スルコトヲ得

第九十八條 委員ノ報告ニ係ル修正ハ贊成ヲ待タスシテ議題ト爲スヘシ

第九十九條 議長ハ逐條審議ノ順序ヲ變更シ又ハ數條ヲ連ネ又ハ一條ヲ分割シテ討論ニ付スルコトヲ得但シ議員ヨリ異議ヲ申立テ三十人以上ノ贊成者アルトキハ討論ヲ用キスシテ之ヲ決スヘシ

第一百條 第二讀會ノ終リニ於テ議院ハ修正決議ノ條項及字句ノ整理ヲ委員ニ付託シ又ハ議長ニ依託スルコトヲ得

第一百一條 第三讀會ハ第二讀會ノ後少クトモ二日ヲ隔テ之ヲ開クヘシ但シ議長ハ議院ニ諮ヒ時日ヲ短縮シ又ハ第二讀會ト同日ニ之ヲ開クコトヲ得

第一百二條 第三讀會ニ於テハ議案全體ノ可否ヲ議決スヘシ

第一百三條 第三讀會ニ於テハ文字ヲ更正スルノ外修正ノ動議ヲ爲スコトヲ得ス但シ議案中互ニ牴觸スル事項又ハ現行法律ト牴觸スル事項アルコトヲ發見シタルトキ必要ノ修正ヲ動議スルハ此ノ限ニ在ラス

第三節 討論

第一百四條 議事日程ニ記載シタル議題ニ對シ發言セムト欲スル者ハ會議

開始前豫メ其ノ氏名及反對又ハ贊成ノ旨ヲ記シテ書記官ニ通告スルコトヲ得

第一百五條 書記官ハ前條通告ノ順序ニ由リ之ヲ發言表ニ記入シ議長ニ報告スヘシ議長ハ討論ヲ始ムルニ當リ發言表ニ依リ反對者ヲシテ最初ニ發言セシメ次に贊成者及反對者ヲ可成交互ニ指名シテ發言セシムヘシ前項ノ指名ニ應セサル者ハ通告ノ效ヲ失フ

第一百六條 通告ヲ爲ササル議員ハ通告ヲ爲シタル議員總テ發言ヲ終リタル後ニ非サレハ發言ヲ求ムルコトヲ得ス

通告ヲ爲シタル甲方ノ議員未タ發言ヲ終ラスト雖乙方ノ議員既ニ發言ヲ終リタルトキハ通告ヲ爲ササル乙方ノ議員發言ヲ求ムルコトヲ得

第一百七條 通告ヲ爲サスシテ發言セムト欲スル者ハ起立シテ議長ト呼ビ自己ノ氏名ヲ告ケ議長ノ許可ヲ得テ發言スヘシ

第一百八條 二人以上起立シテ發言ヲ求ムルトキハ議長ハ先起立者ト認ムル者ヲ指名シテ發言セシム

第九條 延會又ハ議事中止ノトキ發言終ラサル議員ハ更ニ其ノ議事ヲ始ムルトキニ於テ前ノ發言ヲ繼續スルコトヲ得

第十條 凡テ發言ハ演壇ニ於テ之ヲ爲スヘシ但シ極メテ簡單ナル發言及特ニ議長ノ許可ヲ得タルモノハ此ノ限ニ在ラス

第十一條 議長ハ何時ニテモ議席ニ於テ發言スル議員ヲシテ演壇ニ登ラシムルコトヲ得

第十二條 討論ハ議題外ニ涉ルコトヲ得ス

第十三條 議員ハ同一ノ議題ニ付發言ニ回ニ及フコトヲ得ス但シ質疑應答ハ此ノ限ニ在ラス

第十四條 委員長又ハ報告者ハ其ノ報告ノ趣旨ヲ辯明スル爲ニ數回ノ發言ヲ爲スコトヲ得

國務大臣政府委員發議者及動議者ハ議案又ハ發議動議ノ趣旨ヲ辯明スル爲ニ數回ノ發言ヲ爲スコトヲ得

第十五條 資格ニ付異議ヲ申立ラレタル議員又ハ懲罰事犯アリト告ケ

ラレタル議員ハ辯明ノ爲ニ數回ノ發言ヲ爲スコトヲ得

第十六條 會議ニ於テ意見書又ハ理由書ヲ朗讀スルコトヲ得ス但シ引證若ハ報告ノ爲ニ簡單ナル文書ヲ朗讀スルハ此ノ限ニ在ラス

第十七條 議長自ラ討論ニ與カラムトスルトキハ豫メ之ヲ通告シ議席ニ著キ副議長ヲシテ議長席ニ著カシムヘシ

第十八條 議長討論ニ與カリタルトキハ其ノ問題ノ表決ヲ終ル迄議長席ニ復スルコトヲ得ス

第十九條 議長ハ討論ハ終局ヲ宣告ス

第二十條 發言者未タ盡キスト雖議員討論終局ノ動議ヲ提出シ二十人以上ノ賛成アルトキハ議長ハ議院ニ諮ヒ討論ヲ用キスシテ之ヲ決スヘシ

第二十一條 討論終局シタルトキハ質疑ハ之ヲ許サス

質疑ヲ終局セムトスルトキハ前條ノ例ニ依ル

第四節 修正

第二百二十二條 議案ニ對スル修正ノ動議ハ其ノ案ヲ具ヘ議長ニ提出スヘシ

第二百二十三條 議員ノ提出シタル修正案ハ委員會ノ提出シタル修正案ニ先チテ決ヲ採ルヘシ

第二百二十四條 同一ノ議題ニ付數箇ノ修正案提出セラレタル場合ニ於テハ議長ハ表決ノ順序ヲ定ム其ノ順序ハ原案ニ最遠キモノヨリ先ニス若シ議員異議ヲ申立テ三十人以上ノ賛成アルトキハ議長ハ討論ヲ用キスシテ議院ニ諮ヒ之ヲ決スヘシ

第二百二十五條 既ニ成立シタル修正ノ動議ハ議院ノ許可ヲ經ルニ非サレハ之ヲ撤回スルコトヲ得ス

一議員ノ撤回シタル動議ハ他ノ議員定規ノ賛成者ト共ニ之ヲ繼續スルコトヲ得

第二百二十六條 修正案總テ否決セラレタルトキハ原案ニ就テ決ヲ採ルヘシ

第二百二十七條 修正案原案共ニ過半数ノ賛成ヲ得サル場合ニ當リ議院ニ於テ廢棄スヘカラサルモノト議決スルトキハ特ニ委員ヲシテ其ノ案ヲ起サシメ會議ニ付スルコトヲ得

第五節 表決

第二百二十八條 表決ノ際議場ニ現在セサル議員ハ表決ニ加ハルコトヲ得ス

第二百二十九條 議長表決ヲ採ラムトスルトキハ表決ニ付スヘキ問題ヲ議院ニ宣告スヘシ

議長問題ヲ宣告シタル後ハ何人モ議題ニ付發言スルコトヲ得ス

第二百三十條 議長表決ヲ採ラムトスルトキハ問題ヲ可トスル者ヲ起立セシメ起立者ノ多少ヲ認定シ可否ノ結果ヲ宣告スヘシ若シ認定シ難キトキハ又ハ議員議長ノ宣告ニ對シ異議ヲ申立テ三十人以上ノ賛成アルトキハ

議長ハ記名投票ヲ以テ表決ヲ爲サシムヘシ

第二百三十一條 議長必要ト認ムルトキ又ハ議員三十人以上ノ要求アルト

キハ起立ノ方法ヲ用キスシテ記名若ハ無名投票ヲ以テ表決ヲ爲サシムヘシ

第三百二十二條 記名投票ヲ行フ場合ニ於テハ問題ヲ可トスル議員ハ白票

ニ問題ヲ否トスル議員ハ青票ニ各其ノ氏名ヲ記シ投票函ニ投入スヘシ

第三百二十三條 無名投票ヲ行フ場合ニ於テハ問題ヲ可トスル議員ハ白球

ヲ問題ヲ否トスル議員ハ黒球ヲ投票函ニ投入シ同時ニ其ノ名刺ヲ名刺

函ニ投入スヘシ若球數カ名刺ノ數ニ超過シタルトキハ再投票ヲ行フ但

シ可否ノ結果ニ異動ヲ及ホササルトキハ此ノ限ニ在ラス

第三百二十四條 記名又ハ無名投票ヲ行フトキハ議場ノ入口ヲ閉鎖スヘシ

第三百二十五條 總テ投票ヲ終リタルトキハ議長ハ其ノ結果ヲ宣告スヘシ

第三百二十六條 議員ハ自己表決ノ更正ヲ求ムルコトヲ得ス

第六節 豫算會議

第三百二十七條 豫算委員豫算案ヲ數部ニ分割シタルトキハ每部ノ審査終

ルニ從ヒ會議ヲ開クコトヲ得

豫算各部ノ議事ヲ終リタルトキハ總額ニ付確定ノ議決ヲ爲スヘシ

第三百二十八條 豫算ノ會議ニ於テ更ニ審査ヲ必要トスル事項ヲ發見シタ

ルトキハ其ノ事項ヲ限リ再ヒ豫算委員ニ付託シ之ヲ審査セシムルコト

ヲ得

第八章 議事録及速記録

第一節 議事録

第三百二十九條 議事録ハ左ノ事項ヲ記載ス

一 議院成立及開會閉會停會ニ關スル事項及其ノ年月日時

二 開議延會中止及散會ノ月日時

三 出席國務大臣及政府委員ノ氏名

四 勅語及勅旨

五 議長及委員長ノ報告

六 會議ニ付シタル議案ノ題目

七 議題ト爲リタル動議及動議者ノ氏名

衆議院規則

八 決議ノ事項

九 表決及可否ノ數ヲ計算シタルトキハ其ノ數

十 議院ニ於テ必要ト認メタル事項

第四百十條 議員議事録ニ記載シタル事實ニ對シテ異議アルトキハ議長

ハ書記官長ヲシテ答辯セシムヘシ議員其ノ答辯ニ服セス又ハ議長ノ處

置ニ對シ不服ナルトキハ議長ハ討論ヲ用キスシテ議院ノ決ヲ採ルヘシ

第四百十一條 議事録ハ議長又ハ當日ノ會議ヲ整理シタル副議長若ハ假

議長及書記官長又ハ其ノ代理タル書記官之ニ署名スヘシ

第二節 速記録

第四百十二條 議事速記録ハ議事日程議案議事投票者氏名及諸般ノ報告

其ノ他必要ナル事項ヲ掲載ス

議事ハ速記法ニ依リ速記ス

第四百十三條 議員其ノ演說ノ參考トシテ簡單ナル文書ヲ速記録ニ掲載

セムトスルトキハ議長ノ許可ヲ請フヘシ

第四百十四條 議院法第八十七條ニ依リ議長取消ヲ命シタル發言ハ速記

録ニ記載セス

第四百十五條 演說シタル議員ハ速記録配付ノ當日午後七時迄ニ訂正ヲ

求ムルコトヲ得但シ訂正ハ字句ニ止マリ演說ノ趣旨ヲ變更スルコトヲ

得ス

速記録ノ訂正ニ對シ異議ヲ申立ツル者アルトキハ議長ハ贊成者アルヲ

待チ討論ヲ用キスシテ議院ノ決ヲ採ルヘシ

第九章 質問

第四百十六條 議員政府ニ對スル質問ニ付國務大臣ノ答辯其ノ要領ヲ得ス

ト認ムルトキハ議場ニ出席ヲ求メ更ニ精細ノ質問ヲ爲スコトヲ得

第四百十七條 質問ニ對スル答辯若ハ答辯ヲ爲ササル理由ニ付動議ヲ提

出スルモノアリ三十人以上ノ贊成アルトキハ之ヲ議題ト爲スコトヲ得

第十章 上奏建議及議案ノ奏上

第四百十八條 議院上奏シ又ハ勅語及勅旨ニ對シ奉答ノ敬禮ヲ表セムト

スルトキハ議長ハ宮内大臣ニ依リ謁見ヲ請ヒ勅許ヲ經テ後參内スヘシ
第四百四十九條 議院ノ建議書ハ議長ヨリ内閣總理大臣ニ呈出スヘシ
第四百五十條 議案ヲ奏上スル場合ハ内閣總理大臣ヲ經由スヘシ

第十一章 請願

第五百一十一條 議院ハ請願者ノ住所職業年齢ヲ記シ各自署名捺印シタル
請願書ニ非サレハ受理セス請願者自ラ署名スルコト能ハス他人ヲシテ
代書セシムルトキハ代書シタル人其ノ由ヲ附記シ之ニ署名捺印スヘシ
第五百一十二條 法人ノ請願書ハ代表者之ニ署名シ法人ノ印章ヲ捺スヘシ
第五百一十三條 請願書ハ普通ノ邦文ヲ用ウヘシ若外國語ヲ用キサルヲ得
サルトキハ之ニ註解ヲ附スヘシ
第五百一十四條 請願ヲ紹介スル議員ハ請願書ノ表紙ニ紹介議員某ト書ス
ヘシ

第五百一十五條 請願委員ハ請願呈出ノ順序ニ依リ之ヲ審査スヘシ
第五百一十六條 議員簡單ナル説明書ヲ以テ一ノ請願ニ對シ至急ノ審査ヲ

議院ニ請求スルトキハ議長ハ討論ヲ用キスシテ議院ノ決ヲ採リ時日ヲ
限リ請願委員ニ付託スヘシ

第五百一十七條 請願文書表ニハ請願ノ趣旨呈出ノ年月日請願者ノ住所職
業氏名紹介議員ノ氏名ヲ記スヘシ

請願者數名アルトキハ請願者某外幾名ト記スヘシ
第五百一十八條 請願文書表ハ議長之ヲ印刷セシメテ毎週一回議員ニ配付
スヘシ

請願書ハ議院ノ決議ニ依ルニ非サレハ印刷配付セス

第五百一十九條 請願委員ハ審査ノ結果ニ從ヒ左ノ區別ヲ爲スヘシ

一 議院ノ會議ニ付スヘシトスルモノ

二 議院ノ會議ニ付スルヲ要セストスルモノ

第六十條 請願委員ハ議院ノ會議ニ付スヘシトスルノ請願ニ付テハ意
見書案ヲ付シタル特別ノ報告ヲ爲スヘシ

前項ノ請願中法律ノ制定ニ關スル請願ハ法律案ヲ具シテ報告スルコト

ヲ得此ノ場合ニ於テハ請願委員長ヲ以テ提出者トス

第六十一條 請願委員ハ議院ノ會議ニ付スルヲ要セストスルノ請願ニ付テハ其ノ大要ヲ記シタル特種ノ報告ヲ爲スヘシ

前項ノ報告ニ係ル請願ニ對シ一週間内ニ議員ヨリ會議ニ付スルノ要求ヲ爲ス者ナキトキハ委員會ノ決議ヲ以テ確定トス

第六十二條 請願書ハ會議ニ付スルモ之ヲ朗讀セス但シ議員朗讀ヲ要求スル者アルトキハ議長ハ討論ヲ用キスシテ議院ノ決ヲ採ルヘシ

第十二章 請暇及辭職

第一節 請暇

第六十三條 議員事故ノ爲ニ數日間議院ニ出席スルコト能ハサルトキハ其ノ理由ヲ具ヘ日數ヲ定メテ豫メ請暇書ヲ差出シ許可ヲ受クヘシ公務又ハ疾病若ハ一時已ムヲ得サル事故アリテ議院ニ出席スルコトヲ得サルトキハ其ノ理由ヲ具ヘ闕席届書ヲ差出スヘシ

第六十四條 請暇ノ許可ヲ得議院所在ノ地ヲ離ルル者ハ其ノ出發及歸

著ノ時ニ於テ議長ニ届出ヘシ

第六十五條 議員請暇ノ許可ヲ得タル日限ニ至リ事故ニ由リ仍議院ニ出席スルコトヲ得サルトキハ其ノ理由ヲ具ヘ日數ヲ定メテ更ニ請暇書

ヲ差出シ許可ヲ受クヘシ但シ臨時事變ノ爲ニ此ノ手續ヲ爲ス能ハサルトキハ後日其ノ理由ヲ申告シ承認ヲ受クヘシ

第六十六條 請暇ノ許可ヲ得タル議員其ノ請暇ノ期間内ニ議院ニ出席スルトキハ請暇許可ノ效ヲ失フ

第二節 辭職

第六十七條 議員辭職セムトスルトキハ辭表ヲ議長ニ差出スヘシ

第六十八條 議長ハ辭表ヲ朗讀セシメ討論ヲ用キスシテ其ノ許否ヲ議決セシムヘシ若閉會中ナルトキハ議長之ヲ處分スルコトヲ得

第六十九條 辭表中不敬又ハ無禮ノ文辭アリト認ムルトキハ議長ハ朗讀ヲ禁止シテ其ノ要領ヲ議院ニ報告スルコトヲ得

第七十條 前條ノ場合ニ於テハ議長ハ其ノ辭表ヲ懲罰委員ニ付シテ審

查セシムルコトヲ得

第十三章 警察及秩序

第一節 警察

第七十一條 議長ハ守衛及警察官吏ヲ指揮シテ議院内部ノ警察權ヲ施行ス

第七十二條 守衛ハ議事堂内警察官吏ハ議事堂外ノ警察ヲ爲ス但シ議長ノ特ニ命シタル場合ニ於テハ警察官吏議事堂内ノ警察ヲ行フコトアルヘシ

第七十三條 議院内部ノ防火點燈導水煖爐及衛生ニ關スル事項ハ守衛之ヲ監督ス

第七十四條 議院内部ニ於テ禁錮以上ノ刑ニ該ル罪ノ現行犯人アルトキハ守衛又ハ警察官吏ハ之ヲ逮捕シテ議長ノ命令ヲ請フヘシ但シ議場ニ於テハ議長ノ命令ヲ待タスシテ逮捕スルコトヲ得ス

第二節 議場内ノ秩序

第七十五條 議場ニ入ルモノハ羽織袴「フロックコート」「モーニングコート」ノ外總テ略服ヲ著シ又ハ異様ノ服裝ヲ爲スヘカラス但シ無地又ハ之ニ準スヘキ折襟背廣服ノ著用ヲ妨ケス

第七十六條 議場ニ入ルモノハ帽子外套傘杖ノ類ヲ著用携帯スヘカラス

第七十七條 議場内ニ於テ喫煙スヘカラス

第七十八條 議事中心ハ參考ノ爲ニスルモノヲ除ク外新聞紙及書籍等ヲ閱讀スルコトヲ得ス

第七十九條 何人モ議事中心贊聲否聲ヲ發シ又ハ喧噪シテ他人ノ演說及朗讀ヲ妨クルコトヲ得ス

第八十條 何人モ議長ノ許可ナクシテ演壇ニ登ルコトヲ得ス

第八十一條 議長號鈴ヲ鳴ラストキハ何人モ總テ沈黙スヘシ

第八十二條 散會ニ際シ議員ハ議長退席ノ後ニ非サレハ退席スルコトヲ得ス

第八十三條 凡ソ秩序ノ問題ハ議長之ヲ決ス但シ議長ハ議院ニ諮ヒ之ヲ決スルコトヲ得

第十四章 傍聽

第八十四條 傍聽席ヲ分テ皇族席外國交際官席貴族院議員席官吏席公衆席及新聞記者席トス

第八十五條 外國交際官ノ傍聽ヲ求ムル者アルトキハ外務省ノ照會ニ依リ書記官長ハ議長ノ指揮ヲ受ケ其ノ員數ヲ限リ傍聽券ヲ該省ニ送付スヘシ

第八十六條 官吏ノ傍聽ヲ求ムル者アルトキハ所屬官廳ノ照會ニ依リ書記官長ハ議長ノ指揮ヲ受ケ其ノ員數ニ限リ傍聽券ヲ其ノ官廳ニ送付スヘシ

第八十七條 公衆ノ傍聽ヲ求ムル者ハ議員ノ紹介ニ依ルヘシ
書記官長ハ議長ノ指揮ヲ受ケ豫メ公衆傍聽券ノ員數ヲ定メ之ヲ各議員ニ配付ス

第八十八條 新聞社及通信社ノ爲ニ一會期ニ通スル傍聽章ヲ交付ス
前項傍聽章ノ員數ハ每會期ノ始ニ於テ書記官長ハ議長ノ指揮ヲ受ケ之ヲ定ム

第八十九條 議事開始ノ後一時間ヲ經過シ仍傍聽席ニ空位アリテ議員ノ紹介アルトキハ書記官長ハ議長ノ指揮ヲ受ケ傍聽券ヲ交付スルコトヲ得

第九十條 議員傍聽人ヲ紹介スルトキハ傍聽人紹介人トモ其ノ氏名ヲ各傍聽券ニ記入スヘシ

第九十一條 議長必要ト認ムルトキハ守衛又ハ警察官吏ヲシテ傍聽人ノ身體搜查ヲ爲サシムルコトヲ得

第九十二條 戎器兇器ヲ携持シタル者酩酊シタル者十二歳未滿ノ者其ノ他議長ニ於テ取締上必要アリト認ムル者ハ傍聽券ヲ有スト雖傍聽席ニ入ルコトヲ許サス

第九十三條 議長ニ於テ取締上必要アリト認ムルトキハ傍聽人ノ員數

ヲ制限スルコトヲ得

第百九十四條 傍聽人ハ傍聽券又ハ傍聽章ヲ守衛ニ示シ其ノ指示スル所ノ席ニ著クヘシ

第百九十五條 凡ソ傍聽席ニ在ル者ハ左ノ事項ヲ遵守スヘシ

- 一 羽織若ハ袴又ハ洋服ヲ著スヘシ
 - 二 帽子又ハ外套ヲ著スヘカラス
 - 三 傘杖鞆包物ノ類ヲ携帯スヘカラス
 - 四 飲食又ハ喫煙スヘカラス
 - 五 議員ノ言論ニ對シ可否ヲ表スヘカラス
 - 六 喧擾ニ涉リ議事ヲ妨害スヘカラス
- 第百九十六條 何等ノ事由アルモ傍聽人ハ議場ニ入ルコトヲ得ス
- 第百九十七條 祕密會議ヲ開クノ決議アリタルトキ又ハ傍聽席騷擾ナルニ由リ總テノ傍聽人ヲ退場セシムルトキハ議長ハ守衛ヲシテ其ノ命令ヲ執行セシムヘシ

第十五章 懲罰

第百九十八條 會議ニ於テ懲罰事犯アルトキハ議長ハ會議ヲ中止シ又ハ事犯者ヲ退場セシムルコトヲ得

第百九十九條 委員會ニ於テ懲罰事犯アルトキハ委員長ハ委員會ヲ中止スルコトヲ得

第二百條 部ニ於テ懲罰事犯アルトキハ部長ノ處分ハ委員長ノ例ニ同シ

第二百一條 會議委員會部ノ外議院内部ニ於テ懲罰事犯アルトキハ議長ハ之ヲ懲罰委員ニ付スヘシ

第二百二條 議長委員長又ハ部長ニ於テ懲罰事犯ト認メサル事件ニ付テモ議員ハ議院法第九十八條ニ依リ懲罰ノ動議ヲ議院ニ提出スルノ權ヲ

失ハス

第二百三條 懲罰ノ動議ヲ提出セラレタルトキハ直ニ之ヲ會議ニ付スヘシ散會後提出セラレタルトキハ最近ノ會議ニ於テ之ヲ議題ト爲スヘシ

第二百四條 議院法第九十八條第一項ノ場合ニ於テハ議長ハ討論ヲ用キ

スシテ議院ノ決ヲ採リ之ヲ懲罰委員ニ付スヘシ
第二百五條 議長ノ制止又ハ取消ノ命ニ從ハサル者ハ議長ハ議院法第八十七條ニ依リ之ヲ處スルノ外仍懲罰事犯トシテ懲罰委員ニ付スルコトヲ得

第二百六條 懲罰事犯ノ議事ハ祕密會議ヲ以テス

第二百七條 議員ハ自己ノ懲罰事犯ノ會議ニ列席スルコトヲ得ス但シ議長ノ許可ヲ經テ自ラ辯明シ又ハ他ノ議員ヲシテ代リテ辯明セシムルコトヲ得

第二百八條 懲罰委員ハ議長ヲ經由シテ本人及關係議員ヲ召喚訊問スルコトヲ得

第二百九條 公開議場ニ於テ謝辭ヲ表セシメムトスルトキハ懲罰委員ハ謝辭ノ要領ヲ起草シ其ノ報告ト共ニ之ヲ議長ニ提出スヘシ

第二百十條 出席停止ハ三十日ヲ超ユルコトヲ得ス
數箇ノ懲罰事犯併發シタル場合ニ於テモ出席停止ハ前項ノ期間ヲ超ユ

ルコトヲ得ス

第二百十一條 出席ヲ停止セラレタル者委員ナルトキハ其ノ任ハ解ケタルモノトス

第二百十二條 出席ヲ停止セラレタル者其ノ停止期間内ニ議場ニ入ルトキハ議長ハ直ニ退去ヲ命シ其ノ命ニ從ハサルトキハ必要ノ處分ヲ爲シ

更ニ懲罰委員ニ付スヘシ

第二百十三條 凡ソ議院ノ騷擾ヲ醸シ又ハ議院ノ體面ヲ汚スヘキ所行ニシテ其ノ情重キ者ハ出席ヲ停止シ又ハ除名スルコトヲ得

第二百十四條 議院懲罰ヲ議決シタルトキハ議長ハ公開議場ニ於テ之ヲ宣告ス

第二百十五條 議長ハ懲罰事犯ト認ムル所ノ言論ノ一部又ハ全部ヲ公布スルコトヲ禁スルコトヲ得

議院ニ於テ懲罰事犯ナシト議決シタルトキハ議長ノ命令ハ自ラ消滅ス
第十六章 貴族院ニ對スル關係

第二百十六條 議案ヲ貴族院ニ移ストキハ議長ハ書記官長ヲシテ之ヲ貴族院議長ニ傳達セシム

第二百十七條 貴族院ヨリ議案ヲ受取リタルトキハ議長ハ之ヲ議院ニ報告スヘシ

第二百十八條 協議委員ノ選舉ハ第六十四條ノ例ニ依ル

第二百十九條 議院法第五十五條ニ依リ貴族院ヨリ回付シタル修正案ヲ議シ及協議會ノ報告ヲ議スルニハ三讀會ヲ經ルヲ要セス

第二百二十條 協議會ニ於ケル衆議院ノ委員ハ其ノ報告委員ヲ互選スルコトヲ得

第二百二十一條 協議委員ノ數協議會ノ定數及決議ノ方法並協議會議長ノ權限ハ議院法第六十一條ニ依リ委員ヲ派シ兩院協議シテ之ヲ定ムヘシ

第十七章 補則

第二百二十二條 議院規則ノ疑義ハ議長之ヲ決ス但シ議長ハ議院ニ諮ヒ之ヲ決スルコトヲ得

附則

明治三十九年三月二十二日議決法律ノ制定ニ關スル請願取扱規則及明治四十二年十二月二十五日議決投票ニ關スル規則ハ之ヲ廢止ス

○衆議院議員選舉法

(大正十四年法律第四十七號○改正大正十五年法律第八十二號、昭和九年法律第四十九號、同二十年法律第三十四號)

第一章 選舉ニ關スル區域

第一條 衆議院議員ハ各選舉區ニ於テ之ヲ選舉ス

選舉區及各選舉區ニ於テ選舉スヘキ議員ノ數ハ別表ヲ以テ之ヲ定ム

第二條 投票區ハ市町村ノ區域ニ依ル

地方長官必要アリト認ムルトキハ市町村ノ區域ヲ分チテ數投票區ヲ設ケ又ハ數町村ノ區域ヲ合セテ一投票區ヲ設クルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ投票區ヲ設ケタルトキハ地方長官ハ直ニ之ヲ告示スヘシ

第二項ノ規定ニ依リ設クル投票區ノ投票ニ關シ本法ノ規定ヲ適用シ難キ事項ニ付テハ勅令ヲ以テ特別ノ規定ヲ設クルコトヲ得

第三條 開票區ハ都市ノ區域ニ依ル

地方長官特別ノ事情アリト認ムルトキハ都市ノ區域ヲ分チテ數開票區ヲ設ケ又ハ數都市ノ區域ヲ合セテ一開票區ヲ設クルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ開票區ヲ設ケタルトキハ地方長官ハ直ニ之ヲ告示スヘシ

第二項ノ規定ニ依リ設クル開票區ノ開票ニ關シ本法ノ規定ヲ適用シ難キ事項ニ付テハ勅令ヲ以テ特別ノ規定ヲ設クルコトヲ得

第四條 行政區畫ノ變更ニ因リ選舉區ニ異動ヲ生スルモ現任議員ハ其ノ職ヲ失フコトナシ

第二章 選舉權及被選舉權

第五條 帝國臣民タル男子ニシテ年齡二十五年以上ノ者ハ選舉權ヲ有ス

帝國臣民タル男子ニシテ年齡三十年以上ノ者ハ被選舉權ヲ有ス

第六條 左ニ掲クル者ハ選舉權及被選舉權ヲ有セス

- 一 禁治產者及準禁治產者
- 二 破產者ニシテ復權ヲ得サル者
- 三 貧困ニ因リ生活ノ爲公私ノ救助ヲ受ケ又ハ扶助ヲ受クル者
- 四 一定ノ住居ヲ有セサル者
- 五 六年ノ懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者
- 六 刑法(朝鮮刑事令及臺灣刑事令ニ於テ依ル場合ヲ含ム)第二編第一章、第三章、第九章、第十六章乃至第二十一章、第二十五章又ハ第三十六章乃至第三十九章ニ掲クル罪ヲ犯シ六年未滿ノ懲役ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受クルコトナキニ至リタル後其ノ刑期ノ二倍ニ相當スル期間ヲ經過スルニ至ル迄ノ者但シ其ノ期間五年ヨリ短キトキハ五年トス
- 七 六年未滿ノ禁錮ノ刑ニ處セラレ又ハ前號ニ掲クル罪以外ノ罪ヲ犯シ六年未滿ノ懲役ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受クルコトナキニ至ル迄ノ者

第七條 華族ノ戶主ハ選舉權及被選舉權ヲ有セス

陸海軍軍人ニシテ現役中ノ者（未タ入營セサル者及歸休下士官兵ヲ除ク）及戰時若ハ事變ニ際シ又ハ兵役法第五十五條第二項ノ規定（志願ニ依リ兵籍ニ編入セラレタル者ニ付テハ之ニ該當スル勅令ノ規定ヲ含ム）ニ依リ召集中ノ者ハ選舉權及被選舉權ヲ有セス兵籍ニ編入セラレタル學生生徒（勅令ヲ以テ定ムル者ヲ除ク）亦同シ

第八條 選舉事務ニ關係アル官吏及吏員ハ其ノ關係區域内ニ於テ被選舉權ヲ有セス

第九條 在職ノ宮内官、判事、朝鮮總督府判事、臺灣總督府法院判官、關東法院判官、南洋廳判事、檢事、朝鮮總督府檢事、臺灣總督府法院檢察官、關東法院檢察官、南洋廳檢事、行政裁判所長官、行政裁判所評定官、會計檢查官、收稅官吏及警察官吏ハ被選舉權ヲ有セス

第十條 官吏及待遇官吏ハ左ニ掲クル者ヲ除クノ外在職中議員ト相兼ヌルコトヲ得ス

- 一 國務大臣
- 二 内閣書記官長
- 三 法制局長官
- 四 各省政務次官
- 五 各省參與官
- 六 内閣總理大臣秘書官
- 七 各省秘書官
- 第十一條 東京都議會議員、北海道會議員、府縣會議員、道會議員及州會議員ハ衆議院議員ト相兼ヌルコトヲ得ズ

第三章 選舉人名簿

第十二條 市町村長ハ毎年九月十五日ノ現在ニ依リ其ノ日迄引續キ六月以上其ノ市町村内ニ住居ヲ有スル者ノ選舉資格ヲ調査シ十月三十一日迄ニ選舉人名簿ヲ調製スヘシ
選舉人ノ年齡ハ選舉人名簿確定ノ期日ニ依リ之ヲ算定ス

第一項ノ住居ニ關スル要件ヲ具備セサル選舉人名簿ニ登録セラルルコトヲ得ス

選舉人名簿ニハ選舉人ノ氏名、住居及生年月日等ヲ記載スヘシ

第一項ノ住居ニ關スル期間ハ行政區畫變更ノ爲中斷セラルルコトナシ

第十三條 市町村長ハ十一月五日ヨリ十五日間市役所、町村役場又ハ其ノ指定シタル場所ニ於テ選舉人名簿ヲ縦覽ニ供スヘシ

市町村長ハ縦覽開始ノ日ヨリ少クトモ三日前ニ縦覽ノ場所ヲ告示スヘシ

第十四條 選舉人名簿ニ脱漏又ハ誤載アリト認ムルトキハ選舉人ハ理由書及證據ヲ具ヘ其ノ修正ヲ市町村長ニ申立ツルコトヲ得

縦覽期限ヲ經過シタルトキハ前項ノ申立ヲ爲スコトヲ得ス

第十五條 市町村長ニ於テ前條ノ申立ヲ受ケタルトキハ其ノ理由及證據ヲ審査シ申立ヲ受ケタル日ヨリ二十日以内ニ之ヲ決定スヘシ其ノ申立ヲ正當ナリト決定シタルトキハ直ニ選舉人名簿ヲ修正シ其ノ旨ヲ申立

人及關係人ニ通知シ併セテ之ヲ告示スヘシ其ノ申立ヲ正當ナラスト決定シタルトキハ其ノ旨ヲ申立人ニ通知スヘシ

第十六條 前條市町村長ノ決定ニ不服アル申立人又ハ關係人ハ市町村長ヲ被告トシ決定ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ七日以内ニ地方裁判所ニ出訴スルコトヲ得

前項裁判所ノ判決ニ對シテハ控訴スルコトヲ得ス但シ大審院ニ上告スルコトヲ得

第十七條 選舉人名簿ハ十二月二十日ヲ以テ確定ス

選舉人名簿ハ次年ノ十二月十九日迄之ヲ据置クヘシ但シ確定判決ニ依リ修正スヘキモノハ市町村長ニ於テ直ニ之ヲ修正シ其ノ旨ヲ告示スヘシ

天災事變其ノ他ノ事故ニ因リ必要アルトキハ更ニ選舉人名簿ヲ調製スヘシ
前項選舉人名簿ノ調製及其ノ期日、縦覽確定ニ關スル期日、期間等ハ

命令ノ定ムル所ニ依ル

第四章 選舉、投票及投票所

第十八條 總選舉ハ議員ノ任期終リタル日ノ翌日之ヲ行フヲ例トス但シ特別ノ事情アル場合ニ於テハ議員ノ任期終リタル日ヨリ五日以内ニ之ヲ行フコトヲ妨ケス

議會開會中又ハ議會閉會ノ日ヨリ二十五日以内ニ議員ノ任期終ル場合ニ於テハ總選舉ハ議會閉會ノ日ヨリ二十六日以後三十日以内ニ之ヲ行フ

衆議院解散ヲ命セラレタル場合ニ於テハ總選舉ハ解散ノ日ヨリ三十日以内ニ之ヲ行フ

總選舉ノ期日ハ勅命ヲ以テ之ヲ定メ少クトモ二十五日前ニ之ヲ公布ス

第十九條 選舉ハ投票ニ依リ之ヲ行フ

投票ハ一人一票ニ限ル

第二十條 市町村長ハ投票管理者ト爲リ投票ニ關スル事務ヲ擔任ス

第二十一條 投票所ハ市役所、町村役場又ハ投票管理者ノ指定シタル場合ニ之ヲ設ク

第二十二條 投票管理者ハ選舉ノ期日ヨリ少クトモ五日前ニ投票所ヲ告示スヘシ

第二十三條 投票所ハ午前七時ニ開キ午後六時ニ閉ツ

第二十四條 議員候補者ハ各投票區ニ於ケル選舉人名簿ニ記載セラレタル者ノ中ヨリ本人ノ承諾ヲ得テ投票立會人一人ヲ定メ選舉ノ期日前二日迄ニ投票管理者ニ届出ツルコトヲ得但シ議員候補者死亡シ又ハ議員候補者タルコトヲ辭シタルトキハ其ノ届出テタル投票立會人ハ其ノ職ヲ失フ

前項ノ規定ニ依ル投票立會人三人ニ達セサルトキ若ハ三人ニ達セサルニ至リタルトキ又ハ投票立會人ニシテ參會スル者投票所ヲ開クヘキ時刻ニ至リ三人ニ達セサルトキ若ハ其ノ後三人ニ達セサルニ至リタルトキハ投票管理者ハ其ノ投票區ニ於ケル選舉人名簿ニ記載セラレタル

者ノ中ヨリ三人ニ達スル迄ノ投票立會人ヲ選任シ直ニ之ヲ本人ニ通知シ投票ニ立會ハシムヘシ

投票立會人ハ正當ノ事故ナクシテ其ノ職ヲ辭スルコトヲ得ス

第二十五條 選舉人ハ選舉ノ當日自ラ投票所ニ到リ選舉人名簿ノ對照ヲ經テ投票ヲ爲スヘシ

投票管理者ハ投票ヲ爲サムトスル選舉人ノ本人ナリヤ否ヤヲ確認スルコト能ハサルトキハ其ノ本人ナル旨ヲ宣言セシムヘシ其ノ宣言ヲ爲サル者ハ投票ヲ爲スコトヲ得ス

第二十六條 投票用紙ハ選舉ノ當日投票所ニ於テ之ヲ選舉人ニ交付スヘシ

第二十七條 選舉人ハ投票所ニ於テ投票用紙ニ自ラ議員候補者一人ノ氏名ヲ記載シテ投函スヘシ

投票用紙ニハ選舉人ノ氏名ヲ記載スルコトヲ得ス

第二十八條 投票ニ關スル記載ニ付テハ勅令ヲ以テ定ムル點字ハ之ヲ文字ト看做ス

第二十九條 選舉人名簿ニ登録セラレサル者ハ投票ヲ爲スコトヲ得ス但シ選舉人名簿ニ登録セラルヘキ確定判決書ヲ所持シ選舉ノ當日投票所

ニ到ル者アルトキハ投票管理者ハ之ヲシテ投票ヲ爲サシムヘシ

第三十條 選舉人名簿ニ登録セラレタル者選舉人名簿ニ登録セラルルコトヲ得サル者ナルトキハ投票ヲ爲スコトヲ得ス選舉ノ當日選舉權ヲ有セサル者ナルトキ亦同シ

自ラ議員候補者ノ氏名ヲ書スルコト能ハサル者ハ投票ヲ爲スコトヲ得ス

第三十一條 投票ノ拒否ハ投票立會人ノ意見ヲ聽キ投票管理者之ヲ決定スヘシ

前項ノ決定ヲ受ケタル選舉人不服アルトキハ投票管理者ハ假ニ投票ヲ爲サシムヘシ

前項ノ投票ハ選舉人ヲシテ之ヲ封筒ニ入レ封緘シ表面ニ自ラ其ノ氏名ヲ記載シ投函セシムヘシ

投票立會人ニ於テ異議アル選舉人ニ對シテモ亦前二項ニ同シ

第三十二條 投票所ヲ閉ツヘキ時刻ニ至リタルトキハ投票管理者ハ其ノ旨ヲ告ケテ投票所ノ入口ヲ鎖シ投票所ニ在ル選舉人ノ投票結了スルヲ待チテ投票函ヲ閉鎖スヘシ

投票函閉鎖後ハ投票ヲ爲スコトヲ得ス

第三十三條 選舉人ニシテ勅令ノ定ムル事由ニ因リ選舉ノ當日自ラ投票所ニ到リ投票ヲ爲シ能ハサルヘキコトヲ證スル者ノ投票ニ關シテハ第二十五條、第二十六條、第二十七條第一項、第二十九條但書及第三十一條ノ規定ニ拘ラス勅令ヲ以テ特別ノ規定ヲ設クルコトヲ得

第三十四條 投票管理者ハ投票録ヲ作り投票ニ關スル顛末ヲ記載シ投票立會人ト共ニ之ニ署名スヘシ

第三十五條 投票管理者ハ一人又ハ數人ノ投票立會人ト共ニ町村ノ投票區ニ於テハ投票ノ翌日迄ニ、市ノ投票區ニ於テハ投票ノ當日投票函、投票録及選舉人名簿ヲ開票管理者ニ送致スヘシ

第三十六條 島嶼其ノ他交通不便ノ地ニシテ前條ノ期日ニ投票函ヲ送致スルコト能ハサル情況アリト認ムルトキハ地方長官ハ適宜ニ其ノ投票ノ期日ヲ定メ開票ノ期日迄ニ其ノ投票函、投票録及選舉人名簿ヲ送致セシムルコトヲ得

第三十七條 天災其ノ他避クヘカラサル事故ニ因リ投票ヲ行フコトヲ得サルトキ又ハ更ニ投票ヲ行フノ必要アルトキハ投票管理者ハ選舉長ヲ經テ地方長官ニ其ノ旨ヲ届出ツヘシ此ノ場合ニ於テハ地方長官ハ更ニ期日ヲ定メ投票ヲ行ハシムヘシ但シ其ノ期日ハ少クトモ五日前ニ之ヲ告示セシムヘシ

第三十八條 第七十五條又ハ第七十九條ノ選舉ヲ同時ニ行フ場合ニ於テハ一ノ選舉ヲ以テ合併シテ之ヲ行フ

第三十九條 何人ト雖選舉人ノ投票シタル被選舉人ノ氏名ヲ陳述スルノ義務ナシ

第四十條 投票管理者ハ投票所ノ秩序ヲ保持シ必要ナル場合ニ於テハ警察官吏ノ處分ヲ請求スルコトヲ得

第四十一條 選舉人、投票所ノ事務ニ從事スル者、投票所ヲ監視スル職權ヲ有スル者及警察官吏ニ非サレハ投票所ニ入ルコトヲ得ス

第四十二條 投票所ニ於テ演説討論ヲ爲シ若ハ喧騒ニ涉リ又ハ投票ニ關シ協議若ハ勸誘ヲ爲シ其ノ他投票所ノ秩序ヲ紊ル者アルトキハ投票管理
者ハ之ヲ制止シ命ニ從ハサルトキハ投票所外ニ退出セシムヘシ

第四十三條 前條ノ規定ニ依リ投票所外ニ退出セシメラレタル者ハ最後ニ至リ投票ヲ爲スコトヲ得但シ投票管理者ハ投票所ノ秩序ヲ紊ルノ虞ナシト認ムル場合ニ於テ投票ヲ爲サシムルコトヲ妨ケス

第五章 開票及開票所

第四十四條 市長又ハ地方長官ノ指定シタル官吏ハ開票管理者ト爲リ開票ニ關スル事務ヲ擔任ス

第四十五條 開票所ハ支廳、市役所又ハ開票管理者ノ指定シタル場所ニ之ヲ設ク

第四十六條 開票管理者ハ豫メ開票ノ場所及日時ヲ告示スヘシ

第四十七條 第二十四條ノ規定ハ開票立會人ニ之ヲ準用ス

第四十八條 開票管理者ハ總テノ投票函ノ送致ヲ受ケタル日ノ翌日開票所ニ於テ開票立會人立會ノ上投票函ヲ開キ投票ノ總數ト投票人ノ總數トヲ計算スヘシ但シ場合ニ依リ總テノ投票函ノ送致ヲ受ケタル日其ノ手續ヲ行フコトヲ得

第四十九條 前條ノ計算終リタルトキハ開票管理者ハ先ツ第三十一條第二項及第四項ノ投票ヲ調査シ開票立會人ノ意見ヲ聽キ其ノ受理如何ヲ決定スヘシ

開票管理者ハ開票立會人ト共ニ市町村其ノ他地方長官ノ定ムル區域毎ニ投票ヲ點檢スヘシ
投票ノ點檢終リタルトキハ開票管理者ハ直ニ其ノ結果ヲ選舉長ニ報告スヘシ

第五十條 選舉人ハ其ノ開票所ニ就キ開票ノ參觀ヲ求ムルコトヲ得

第五十一條 投票ノ效力ハ開票立會人ノ意見ヲ聽キ開票管理者之ヲ決定

スヘシ

第五十二條 左ノ投票ハ之ヲ無効トス

- 一 成規ノ用紙ヲ用ヒサルモノ
 - 二 議員候補者ニ非サル者ノ氏名ヲ記載シタルモノ
 - 三 一投票中二人以上ノ議員候補者ノ氏名ヲ記載シタルモノ
 - 四 被選舉權ナキ議員候補者ノ氏名ヲ記載シタルモノ
 - 五 議員候補者ノ氏名ノ外他事ヲ記載シタルモノ但シ官位、職業、身分、住居又ハ敬稱ノ類ヲ記入シタルモノハ此ノ限ニ在ラス
 - 六 議員候補者ノ氏名ヲ自書セサルモノ
 - 七 議員候補者ノ何人ヲ記載シタルカヲ確認シ難キモノ
 - 八 衆議院議員ノ職ニ在ル者ノ氏名ヲ記載シタルモノ
- 前項第八號ノ規定ハ第七十五條又ハ第七十九條ノ規定ニ依ル選舉ノ場合ニ限り之ヲ適用ス

第五十三條 投票ハ有效無効ヲ區別シ議員ノ任期間開票管理者ニ於テ之

ヲ保存スヘシ但シ第四十四條ノ規定ニ依リ地方長官ノ指定シタル官吏

開票管理者タル場合ニ於テハ地方長官ニ於テ之ヲ保存スヘシ

第五十四條 開票管理者ハ開票録ヲ作り開票ニ關スル顛末ヲ記載シ開票立會人ト共ニ署名シ投票録ト併セテ議員ノ任期間之ヲ保存スヘシ但シ

前條但書ノ規定ハ開票録及投票録ノ保存ニ之ヲ準用ス

第五十五條 選舉ノ一部無効ト爲リ更ニ選舉ヲ行ヒタル場合ノ開票ニ於

テハ其ノ投票ノ效力ヲ決定スヘシ

第五十六條 第三十七條ノ規定ハ但書ヲ除キ開票ニ之ヲ準用ス

第五十七條 開票所ノ取締ニ付テハ第四十條乃至第四十二條ノ規定ヲ準

用ス

第六章 選舉會

第五十八條 左ニ掲クル者ヲ以テ選舉長トス

- 一 樺太ニ於テハ樺太廳長官
- 二 一縣又ハ一市一選舉區タル場合ニ於テハ其ノ地方長官又ハ市長

衆議院議員選舉法

三 一選舉區數市又ハ支廳管内及市ニ涉ル場合ニ於テハ關係支廳長又ハ市長ノ中ニ就キ地方長官ノ指定スル者

四 其ノ他ノ選舉區ニ於テハ官吏又ハ關係市長ノ中ニ就キ地方長官ノ指定スル者

選舉長ハ選舉會ニ關スル事務ヲ擔任ス

第五十九條 選舉會ハ樺太廳、選舉長ノ屬スル縣廳、支廳若ハ市役所又ハ選舉長ノ指定シタル場所ニ之ヲ開ク

第六十條 選舉長ハ豫メ選舉會ノ場所及日時ヲ告示スヘシ

第六十一條 第二十四條ノ規定ハ選舉立會人ニ之ヲ準用ス

第六十二條 選舉長ハ總テノ開票管理者ヨリ第四十九條第三項ノ報告ヲ受ケタル日又ハ其ノ翌日選舉會ヲ開キ選舉立會人立會ノ上其ノ報告ヲ調査スヘシ

選舉ノ一部無効ト爲リ更ニ選舉ヲ行ヒタル場合ニ於テ第四十九條第三項ノ報告ヲ受ケタルトキハ選舉長ハ前項ノ例ニ依リ選舉會ヲ開キ他ノ

部分ノ報告ト共ニ更ニ之ヲ調査スヘシ

第六十三條 選舉人ハ其ノ選舉會ノ參觀ヲ求ムルコトヲ得

第六十四條 選舉長ハ選舉錄ヲ作り選舉會ニ關スル書類ト併セテ議員

會人ト共ニ署名シ第四十九條第三項ノ報告ニ關スル書類ト併セテ議員ノ任期間之ヲ保存スヘシ但シ第五十八條第一項第四號ノ規定ニ依リ地方長官ノ指定シタル官吏(支廳長ヲ除ク)選舉長タル場合ニ於テハ地方長官ニ於テ選舉錄及第四十九條第三項ノ報告ニ關スル書類ヲ保存スヘシ

第六十五條 第三十七條ノ規定ハ但書ヲ除キ選舉會ニ之ヲ準用ス

第六十六條 選舉會場ノ取締ニ付テハ第四十條乃至第四十二條ノ規定ヲ準用ス

第七章 議員候補者及當選人

第六十七條 議員候補者タラムトスル者ハ選舉ノ期日ノ公布又ハ告示アリタル日ヨリ選舉ノ期日前七日迄ニ其ノ旨ヲ選舉長ニ届出ツヘシ

選舉人名簿ニ記載セラレタル者他人ヲ議員候補者ト爲サムトスルトキハ前項ノ期間内ニ其ノ推薦ノ届出ヲ爲スコトヲ得

前二項ノ期間内ニ届出アリタル議員候補者其ノ選舉ニ於ケル議員ノ定數ヲ超ユル場合ニ於テ其ノ期間ヲ經過シタル後議員候補者死亡シ又ハ議員候補者タルコトヲ辭シタルトキハ前二項ノ例ニ依リ選舉ノ期日前二日迄議員候補者ノ届出又ハ推薦届出ヲ爲スコトヲ得

議員候補者ハ選舉長ニ届出ヲ爲スニ非サレハ議員候補者タルコトヲ辭スルコトヲ得ス

前四項ノ届出アリタルトキ又ハ議員候補者ノ死亡シタルコトヲ知リタルトキハ選舉長ハ直ニ其ノ旨ヲ告示スヘシ

第六十八條 議員候補者ノ届出又ハ推薦届出ヲ爲サムトスル者ハ議員候補者一人ニ付二千圓又ハ之ニ相當スル額面ノ國債證書ヲ供託スルコトヲ要ス

議員候補者ノ得票數其ノ選舉區内ノ議員ノ定數ヲ以テ有效投票ノ總數

ヲ除シテ得タル數ノ十分ノ一二達セサルトキハ前項ノ供託物ハ政府ニ歸屬ス

議員候補者選舉ノ期日前十日以内ニ議員候補者タルコトヲ辭シタルトキハ前項ノ規定ヲ準用ス但シ被選舉權ヲ有セサルニ至リタル爲議員候補者タルコトヲ辭シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第六十九條 有效投票ノ最多數ヲ得タル者ヲ以テ當選人トス但シ其ノ選舉區内ノ議員ノ定數ヲ以テ有效投票ノ總數ヲ除シテ得タル數ノ四分ノ

一以上ノ得票アルコトヲ要ス

當選人ヲ定ムルニ當リ得票數同シキトキハ年齢多キ者ヲ取り年齢モ亦同シキトキハ選舉會ニ於テ選舉長抽籤シテ之ヲ定ム

第八十一條又ハ第八十三條ノ規定ニ依ル訴訟ノ結果更ニ選舉ヲ行フコトナクシテ當選人ヲ定メ得ル場合ニ於テハ選舉會ヲ開キ之ヲ定ムヘシ
當選人當選ヲ辭シタルトキ、死亡者ナルトキ又ハ第七十條ノ規定ニ依リ當選ヲ失ヒタルトキハ直ニ選舉會ヲ開キ第一項但書ノ得票者ニシテ

當選人ト爲ラサリシ者ノ中ニ就キ當選人ヲ定ムヘシ

當選人第八十四條ノ規定ニ依ル訴訟ノ結果又ハ第三百三十六條ノ規定ニ依リ當選無効ト爲リタルトキハ選舉會ヲ開キ其ノ選舉ノ期日ヨリ一年以内ナル場合ニ於テハ前項ノ例ニ依リ其ノ選舉ノ期日ヨリ一年經過後ナル場合ニ於テハ第二項ノ規定ノ適用ヲ受ケタル得票者ニシテ當選人ト爲ラサリシ者ノ中ニ就キ當選人ヲ定ムヘシ

前三項ノ場合ニ於テ第一項但書ノ得票者ニシテ當選人ト爲ラサリシ者選舉ノ期日後ニ於テ被選舉權ヲ有セサルニ至リタルトキハ之ヲ當選人ト定ムルコトヲ得ス

第七十條 當選人選舉ノ期日後ニ於テ被選舉權ヲ有セサルニ至リタルトキハ當選ヲ失フ

第七十一條 第六十七條第一項乃至第三項ノ規定ニ依ル届出アリタル議員候補者其ノ選舉ニ於ケル議員ノ定數ヲ超エサルトキハ其ノ選舉區ニ於テハ投票ヲ行ハス

前項ノ規定ニ依リ投票ヲ行フコトヲ要セサルトキハ選舉長ハ直ニ其ノ旨ヲ投票管理者ニ通知シ併セテ之ヲ告示シ且地方長官ニ報告スヘシ

投票管理者前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ直ニ其ノ旨ヲ告示スヘシ

第一項ノ場合ニ於テハ選舉長ハ選舉ノ期日ヨリ五日以内ニ選舉會ヲ開キ議員候補者ヲ以テ當選人ヲ定ムヘシ

前項ノ場合ニ於テ議員候補者ノ被選舉權ノ有無ハ選舉立會人ノ意見ヲ聽キ選舉長之ヲ決定スヘシ

七十二條 當選人定リタルトキハ選舉長ハ直ニ當選人ニ當選ノ旨ヲ告知シ同時ニ當選人ノ氏名ヲ告示シ且當選人ノ氏名、得票數及其ノ選舉ニ於ケル有效投票ノ總數其ノ他選舉ノ顛末ヲ地方長官ニ報告スヘシ

當選人ナキトキ又ハ當選人其ノ選舉ニ於ケル議員ノ定數ニ達セサルトキハ選舉長ハ直ニ其ノ旨ヲ告示シ且之ヲ地方長官ニ報告スヘシ

七十三條 當選人當選ノ告知ヲ受ケタルトキハ其ノ當選ヲ承諾スルヤ否ヤヲ選舉長ニ届出ツヘシ

一人ニシテ數選舉區ノ當選ヲ承諾スルコトヲ得ス
選舉長第一項ノ規定ニ依ル届出ヲ受ケタルトキハ直ニ其ノ旨ヲ地方長
官ニ報告スヘシ

第七十四條 當選人當選ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ二十日以内ニ當選承諾
ノ届出ヲ爲ササルトキハ其ノ當選ヲ辭シタルモノト看做ス

第七十五條 左ニ掲クル事由ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ更ニ選舉ヲ行
フコトナクシテ當選人ヲ定メ得ルトキヲ除クノ外地方長官ハ選舉ノ期
日ヲ定メ少クトモ十四日前ニ之ヲ告示シ更ニ選舉ヲ行ハシムヘシ但シ
同一人ニ關シ左ニ掲クル其ノ他ノ事由ニ依リ又ハ第七十九條第八項ノ
規定ニ依リ選舉ノ期日ヲ告示シタルトキハ此ノ限ニ在ラス
一 當選人ナキトキ又ハ當選人其ノ選舉ニ於ケル議員ノ定數ニ達セサ
ルトキ

二 當選人當選ヲ辭シタルトキ又ハ死亡者ナルトキ
三 當選人第七十條ノ規定ニ依リ當選ヲ失ヒタルトキ

四 第八十一條又ハ第八十三條ノ規定ニ依ル訴訟ノ結果當選人ナキニ
至リ又ハ當選人其ノ選舉ニ於ケル議員ノ定數ニ達セサルニ至リタル
トキ

五 當選人第八十四條ノ規定ニ依ル訴訟ノ結果當選無効ト爲リタルト
キ

六 當選人第三百三十六條ノ規定ニ依リ當選無効ト爲リタルトキ
第八十一條又ハ第八十三條ノ規定ニ依ル訴訟ノ出訴期間ハ前項ノ規定
ニ依ル選舉ヲ行フコトヲ得ス其ノ出訴アリタル場合ニ於テ訴訟繫屬中
亦同シ

第一項ノ選舉ノ期日ハ第八十一條又ハ第八十三條ノ規定ニ依ル訴訟ノ
出訴期間滿了ノ日、其ノ出訴アリタル場合ニ於テハ地方長官第八十六
條第一項ノ規定ニ依リ訴訟繫屬セサルニ至リタル旨ノ大審院長ノ通知
ヲ受ケタル日又ハ第八十六條第二項若ハ第四百十三條ノ規定ニ依ル通
知ヲ受ケタル日ヨリ二十日ヲ超ユルコトヲ得ス

第一項各號ノ一ニ該當スル事由議員ノ任期ノ終ル前六月以内ニ生シタルトキハ第一項ノ選舉ハ之ヲ行ハス

第七十六條 當選人當選ヲ承諾シタルトキハ地方長官ハ直ニ當選證書ヲ付與シ其ノ氏名ヲ告示シ且之ヲ内務大臣ニ報告スヘシ

第七十七條 第九章ノ規定ニ依ル訴訟ノ結果選舉若ハ當選無効ト爲リタルトキ又ハ當選人第三百三十六條ノ規定ニ依リ當選無効ト爲リタルトキハ地方長官ハ直ニ其ノ旨ヲ告示スヘシ

第八章 議員ノ任期及補闕

第七十八條 議員ノ任期ハ四年トシ總選舉ノ期日ヨリ之ヲ起算ス但シ議會開會中ニ任期終ルモ閉會ニ至ル迄在任ス

第七十九條 議員ニ闕員ヲ生スルモ其ノ闕員ノ數同一選舉區ニ於テ二人ニ達スル迄ハ補闕選舉ハ之ヲ行ハス

議員ニ闕員ヲ生シタルトキハ内務大臣ハ議院法第八十四條ノ規定ニ依ル衆議院議長ノ通牒ヲ受ケタル日ヨリ五日以内ニ地方長官ニ對シ其ノ

旨ヲ通知スヘシ

地方長官ハ前項ノ規定ニ依ル通知ヲ受ケタルトキハ其ノ闕員ト爲リタル議員カ選舉ノ期日ヨリ一年以内ニ闕員ト爲リタル者ナル場合ニ於テ第六十九條第一項但書ノ得票者ニシテ當選人ト爲ラサリシ者アルトキ又ハ選舉ノ期日ヨリ一年經過後ニ於テ闕員ト爲リタル者ナル場合ニ於テ第六十九條第二項ノ規定ノ適用ヲ受ケタル得票者ニシテ當選人ト爲ラサリシ者アルトキハ直ニ議員闕員ト爲リタル旨ヲ選舉長ニ通知スヘシ

選舉長ハ前項ノ規定ニ依ル通知ヲ受ケタル日ヨリ二十日以内ニ第六十九條第四項乃至第六項ノ規定ヲ準用シ當選人ヲ定ムヘシ
地方長官ハ第二項ノ規定ニ依ル通知ヲ受ケタル場合ニ於テ第三項ノ規定ノ適用アルトキ及同一人ニ關シ第七十五條ノ規定ニ依リ選舉ノ期日ヲ告示シタルトキヲ除クノ外其ノ闕員ノ數同一選舉區ニ於テ二人ニ達スルヲ待チ最後ニ第二項ノ規定ニ依ル通知ヲ受ケタル日ヨリ二十日以

内ニ補闕選舉ヲ行ハシムヘシ

議員ノ闕員ノ數同一選舉區ニ於テ二人ニ達セザルモ其ノ選舉區ニ於テ
第七十五條ノ選舉ノ行ハルル場合ニ於テハ第一項及前項ノ規定ニ拘ラ
ズ其ノ選舉ト同時ニ補闕選舉ヲ行フ但シ第七十五條ノ規定ニ依ル選舉
ノ期日ノ告示アリタル後地方長官第二項ノ規定ニ依ル通知ヲ受ケタル
トキハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ補闕選舉ノ期日ハ第七十五條ノ選舉ノ期日ニ依ル

補闕選舉ノ期日ハ地方長官少クトモ十四日前ニ之ヲ告示スヘシ

第七十五條第二項乃至第四項ノ規定ハ補闕選舉ニ之ヲ準用ス

第八十條 補闕議員ハ其ノ前任者ノ殘任期間在任ス

第九章 訴訟

第八十一條 選舉ノ效力ニ關シ異議アル選舉人又ハ議員候補者ハ選舉長

ヲ被告トシ選舉ノ日ヨリ三十日以内ニ大審院ニ出訴スルコトヲ得

第八十二條 選舉ノ規定ニ違反スルコトアルトキハ選舉ノ結果ニ異動ヲ

及ホスノ虞アル場合ニ限り裁判所ハ其ノ選舉ノ全部又ハ一部ノ無効ヲ

判決スヘシ

第八十三條ノ規定ニ依ル訴訟ニ於テモ其ノ選舉前項ノ場合ニ該當スル

トキハ裁判所ハ其ノ全部又ハ一部ノ無効ヲ判決スヘシ

第八十三條 當選ヲ失ヒタル者當選ノ效力ニ關シ異議アルトキハ當選人

ヲ被告トシ七十二條第一項及第二項ノ告示ノ日ヨリ三十日以内ニ大

審院ニ出訴スルコトヲ得但シ第六十九條第一項但書ニ定メタル得票ニ

達シタリトノ理由、第六十九條第六項若ハ第七十條ノ規定ニ該當セス

トノ理由又ハ第七十一條第五項ノ決定違法ナリトノ理由ニ因リ出訴ス

ル場合ニ於テハ選舉長ヲ被告トスヘシ

前項ノ規定ニ依ル訴訟ノ裁判確定前當選人死亡シタルトキハ檢察ヲ被

告トス

第八十四條 第一百條ノ規定ニ依リ當選ヲ無効ナリト認ムル選舉人又ハ

議員候補者ハ當選人ヲ被告トシ七十二條第一項ノ告示ノ日ヨリ三十

日以内ニ大審院ニ出訴スルコトヲ得

檢察ハ第一百十二條乃至第一百十三條ノ罪ニ該ル事件ノ被告人ガ選舉事務長又ハ選舉事務長ニ非ズシテ事實上選舉運動ヲ總括主宰シタル者ナルニ因リ第三百三十六條ノ規定ニ依リ當選ヲ無効ナリト認ムルトキハ公訴ニ附帶シ當選人ヲ被告トシテ訴訟ヲ提起スルコトヲ要ス

第八十五條 裁判所ハ第八十一條、第八十三條又ハ前條第一項ノ規定ニ依ル訴訟ヲ裁判スルニ當リ檢察ヲシテ口頭辯論ニ立會ハシムヘシ

第八十六條 第八十一條又ハ第八十三條ノ規定ニ依ル訴訟ノ提起アリタルトキハ大審院長ハ其ノ旨ヲ內務大臣及關係地方長官ニ通知スヘシ訴訟ノ繫屬セサルニ至リタルトキ亦同シ

第八十四條第一項ノ規定ニ依ル訴訟ニ付判決アリタルトキ又ハ同條第二項ノ規定ニ依ル訴訟ニ付判決確定シ効力ヲ生ジタルトキハ裁判所ノ長ハ其ノ旨ヲ內務大臣及關係地方長官ニ通知スベシ

第八十一條若ハ第八十四條第一項ノ規定ニ依ル訴訟ニ付判決アリタルトキ又ハ第八十四條第二項ノ規定ニ依ル訴訟ニ付判決確定シ効力ヲ生シタルトキハ裁判所ノ長ハ其ノ判決書ノ謄本ヲ內務大臣ニ送付スヘシ帝國議會開會中ナルトキハ併セテ之ヲ衆議院議長ニ送付スヘシ

第八十七條 第八十一條、第八十三條又ハ第八十四條第一項ノ規定ニ依ル訴訟ヲ提起セムトスル者ハ保證金トシテ三百圓又ハ之ニ相當スル額面ノ國債證書ヲ供託スルコトヲ要ス原告敗訴ノ場合ニ於テ裁判確定ノ日ヨリ七日以内ニ裁判費用ヲ完納セサルトキハ保證金ヲ以テ之ニ充當シ仍足ラサルトキハ之ヲ追徴ス

第十章 選舉運動

第八十八條 議員候補者ハ選舉事務長一人ヲ選任スヘシ但シ議員候補者自ラ選舉事務長ト爲リ又ハ推薦届出者(推薦届出者數人アルトキハ其ノ代表者)議員候補者ノ承諾ヲ得テ選舉事務長ヲ選任シ若ハ自ラ選舉事務長ト爲ルコトヲ妨ケス

議員候補者ノ承諾ヲ得スシテ其ノ推薦ノ届出ヲ爲シタル者ハ前項但書ノ承諾ヲ得ルコトヲ要セス

議員候補者ハ文書ヲ以テ通知スルコトニ依リ選舉事務長ヲ解任スルコトヲ得選舉事務長ヲ選任シタル推薦届出者ニ於テ議員候補者ノ承諾ヲ得タルトキ亦同シ

選舉事務長ハ文書ヲ以テ議員候補者及選任者ニ通知スルコトニ依リ辭任スルコトヲ得

選舉事務長ノ選任者（自ラ選舉事務長ト爲リタル者ヲ含ム以下之ニ同シ）ハ直ニ其ノ旨ヲ選舉區内警察官署ノ一ニ届出ツヘシ

選舉事務長ニ異動アリタルトキハ前項ノ規定ニ依リ届出ヲ爲シタル者直ニ其ノ届出ヲ爲シタル警察官署ニ其ノ旨ヲ届出ツヘシ

第九十五條ノ規定ニ依リ選舉事務長ニ代リテ其ノ職務ヲ行フ者ハ前項ノ例ニ依リ届出ツヘシ其ノ之ヲ罷メタルトキ亦同シ

第八十九條 選舉事務長ニ非サレハ選舉事務所ヲ設置シ又ハ選舉委員若

ハ選舉運動ノ爲使用スル勞務者ヲ選任スルコトヲ得ス

選舉事務長ハ文書ヲ以テ通知スルコトニ依リ選舉委員ヲ解任スルコトヲ得

選舉委員ハ文書ヲ以テ選舉事務長ニ通知スルコトニ依リ辭任スルコトヲ得
選舉事務長選舉事務所ヲ設置シ又ハ選舉委員ヲ選任シタルトキハ直ニ其ノ旨ヲ前條第五項ノ届出アリタル警察官署ニ届出ツヘシ選舉事務所又ハ選舉委員ニ異動アリタルトキ亦同シ

第九十條 選舉事務所ハ議員候補者一人ニ付一箇所ニ限ル但シ命令ノ定

ムル所ニ依リ三箇所迄之ヲ設置スルコトヲ得

第九十一條 選舉事務所ハ選舉ノ當日ニ限り投票所ヲ設ケタル場所ノ入

口ヨリ三町以内ノ區域ニ之ヲ置クコトヲ得ス

第九十二條 休憩所其ノ他之ニ類似スル設備ハ選舉運動ノ爲之ヲ設クルコトヲ得ス

第九十三條 選舉委員ハ議員候補者一人ニ付二十人ヲ超ユルコトヲ得ズ其ノ異動アリタル場合ト雖モ通ジテ五十人ヲ超ユルコトヲ得ズ選舉ノ一部無効ト爲リ更ニ選舉ヲ行フ場合又ハ第三十七條ノ規定ニ依リ投票ヲ行フ場合ニ於テハ選舉委員ハ前項ノ規定ニ依ル定數ヲ超エザル範圍内ニ於テ地方長官(東京都ニ在リテハ警視總監)ノ定メタル數ヲ超ユルコトヲ得ズ

地方長官(東京都ニ在リテハ警視總監)前項ノ規定ニ依リ選舉委員ノ數ヲ定メタル場合ニ於テハ選舉ノ期日ノ告示アリタル後直ニ之ヲ告示スベシ

第九十三條ノ二 第八十九條第一項ノ規定ニ依リ選任スル勞務者ハ議員候補者一人一日ニ付三十人ヲ超ユルコトヲ得ズ

前條第二項及第三項ノ規定ハ前項ノ勞務者ニ關シ之ヲ準用ス

第九十四條 選舉事務長選舉權ヲ有セサル者ナルトキ又ハ第九十九條第二項ノ規定ニ依リ選舉運動ヲ爲スコトヲ得サル者ナルトキハ地方長官

(東京都ニ在リテハ警視總監)ハ直ニ其ノ解任又ハ退任ヲ命スヘシ
第八十九條第一項ノ規定ニ違反シテ選舉事務所ノ設置アリト認ムルトキハ地方長官(東京都ニ在リテハ警視總監)ハ直ニ其ノ選舉事務所ノ閉鎖ヲ命スヘシ第九十條ノ規定ニ依ル定數ヲ超エテ選舉事務所ノ設置アリト認ムルトキハ其ノ超過シタル數ノ選舉事務所ニ付亦同シ

第九十三條第一項又ハ第二項ノ規定ニ依ル定數ヲ超エテ選舉委員ノ選任アリト認ムルトキハ地方長官(東京都ニ在リテハ警視總監)ハ直ニ其ノ超過シタル數ノ選舉委員ノ解任ヲ命スヘシ選舉委員選舉權ヲ有セサル者ナルトキ又ハ第九十九條第二項ノ規定ニ依リ選舉運動ヲ爲スコトヲ得サル者ナルトキハ其ノ選舉委員ニ付亦同シ

前條ノ規定ニ依ル定數ヲ超エテ選舉運動ノ爲勞務者ノ選任アリト認ムルトキハ地方長官(東京都ニ在リテハ警視總監)ハ直ニ其ノ超過シタル數ノ勞務者ノ解任ヲ命スヘシ

第九十五條 選舉事務長故障アルトキハ選任者代リテ其ノ職務ヲ行フ

推薦届出者タル選任者モ亦故障アルトキハ議員候補者ノ承諾ヲ得スシテ其ノ推薦ノ届出ヲ爲シタル場合ヲ除クノ外議員候補者代リテ其ノ職務ヲ行フ

第九十五條ノ二 選舉運動ハ第六十七條第一項乃至第三項ノ届出アリタル後ニ非ザレバ之ヲ爲スコトヲ得ズ

第九十六條 議員候補者、選舉事務長又ハ選舉委員ニ非ザレバ選舉運動ヲ爲スコトヲ得ズ但シ命令ノ定ムル所ニ依リ演説又ハ推薦狀ニ依ル選舉運動ヲ爲スハ此ノ限ニ在ラズ

第八十九條第一項ノ規定ニ依リ選任セラレタル勞務者ニ非ザレバ選舉運動ノ爲勞務ヲ提供スルコトヲ得ズ但シ議員候補者ト同居スル親族、家族及常備ノ使用人ハ此ノ限ニ在ラズ

第九十七條 選舉事務長又ハ選舉委員ハ選舉運動ノ爲ニ要スル飲食物、船車馬等ノ供給又ハ旅費、休泊料其ノ他ノ實費ノ辨償ヲ受クルコトヲ得演説又ハ推薦狀ニ依リ選舉運動ヲ爲ス者豫メ議員候補者又ハ選舉事

務長ノ文書ニ依ル承諾ヲ得テ其ノ運動ヲ爲スニ付亦同ジ

第九十八條 何人ト雖投票ヲ得若ハ得シメ又ハ得シメサルノ目的ヲ以テ戸別訪問ヲ爲スコトヲ得ス

何人ト雖前項ノ目的ヲ以テ連續シテ個個ノ選舉人ニ對シ面接シ又ハ電話ニ依リ選舉運動ヲ爲スコトヲ得ス

第九十八條ノ二 何人ト雖モ第四百四十條第四項ノ文書ヲ發行スル區域ニ關シテハ演説會告知ノ爲ニスル文書及第九十六條第一項但書ノ規定ニ依ル推薦狀ヲ除クノ外選舉運動ノ爲文書圖書ヲ頒布スルコトヲ得ズ但シ第四百四十條第一項ノ規定ニ依リ通常郵便物ヲ差出ス場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第九十八條ノ三 選舉演説會ニ出演シ得ベキ者ハ一ノ演説會ニ付四人ヲ超ユルコトヲ得ズ議員候補者又ハ其ノ代理者出演セザルトキハ三人ヲ超ユルコトヲ得ズ

第九十九條 選舉權ヲ有セサル者ハ選舉事務長又ハ選舉委員ト爲ルコトヲ得ス

選舉事務ニ關係アル官吏及吏員ハ其ノ關係區域内ニ於ケル選舉運動ヲ爲スコトヲ得ス

第百條 内務大臣ハ選舉運動ノ爲頒布シ又ハ揭示スル文書圖畫ニ關シ命令ヲ以テ制限ヲ設クルコトヲ得

第百條ノ二 内務大臣ハ選舉ノ期日後ニ於テ當選又ハ落選ニ關シ選舉人ニ挨拶スルノ目的ヲ以テ爲ス行爲ニ關シ命令ヲ以テ制限ヲ設クルコトヲ得

第十一章 選舉運動ノ費用

第百一條 立候補準備ノ爲ニ要スル費用ヲ除クノ外選舉運動ノ費用ハ選舉事務長ニ非サレハ之ヲ支出スルコトヲ得ス但シ議員候補者又ハ選舉委員ハ選舉事務長ノ文書ニ依ル承諾ヲ得テ之ヲ支出スルコトヲ妨ケス
議員候補者、選舉事務長、選舉委員又ハ選舉事務員ニ非サル者ハ選舉運動ノ費用ヲ支出スルコトヲ得ス但シ演說又ハ推薦狀ニ依ル選舉運動ノ費用ハ此ノ限ニ在ラス

第百二條 選舉運動ノ費用ハ議員候補者一人ニ付左ノ各號ノ額ヲ超ユル

コトヲ得ス

- 一 選舉區内ノ議員ノ定數ヲ以テ選舉人名簿確定ノ日ニ於テ之ニ記載セラレタル者ノ總數ヲ除シテ得タル數ヲ三十錢ニ乘シテ得タル額
- 二 選舉ノ一部無効ト爲リ更ニ選舉ヲ行フ場合ニ於テハ選舉區内ノ議員ノ定數ヲ以テ選舉人名簿確定ノ日ニ於テ關係區域ノ選舉人名簿ニ記載セラレタル者ノ總數ヲ除シテ得タル數ヲ三十錢ニ乘シテ得タル額

三 第三十七條ノ規定ニ依リ投票ヲ行フ場合ニ於テハ前號ノ規定ニ準シテ算出シタル額但シ地方長官(東京都ニ在リテハ警視總監)必要アリト認ムルトキハ之ヲ減額スルコトヲ得

地方長官(東京都ニ在リテハ警視總監)ハ選舉ノ期日ノ公布又ハ告示アリタル後直ニ前項ノ規定ニ依ル額ヲ告示スヘシ

第百三條 選舉運動ノ爲財産上ノ義務ヲ負擔シ又ハ建物、船車馬、印刷物、飲食物其ノ他ノ金錢以外ノ財産上ノ利益ヲ使用シ若ハ費消シタル

場合ニ於テハ其ノ義務又ハ利益ヲ時價ニ見積リタル金額ヲ以テ選舉運動ノ費用ト看做ス

第四百條 左ノ各號ニ掲クル費用ハ之ヲ選舉運動ノ費用ニ非サルモノト看做ス

- 一 議員候補者カ乗用スル船車馬等ノ爲ニ要シタル費用
- 二 選舉ノ期日後ニ於テ選舉運動ノ殘務整理ノ爲ニ要シタル費用
- 三 選舉委員ノ支出シタル費用ニシテ議員候補者又ハ選舉事務長ト意思ヲ通シテ支出シタル費用以外ノモノ但シ第百一條第一項ノ規定ノ適用ニ付テハ此ノ限ニ在ラス
- 四 第六十七條第一項乃至第三項ノ届出アリタル後議員候補者、選舉事務長又ハ選舉委員ニ非サル者ノ支出シタル費用ニシテ議員候補者又ハ選舉事務長ト意思ヲ通シテ支出シタル費用以外ノモノ但シ第百一條第二項ノ規定ノ適用ニ付テハ此ノ限ニ在ラス
- 五 立候補準備ノ爲ニ要シタル費用ニシテ議員候補者若ハ選舉事務長

ト爲リタル者ノ支出シタル費用又ハ其ノ者ト意思ヲ通シテ支出シタル費用以外ノモノ

第二百五條 選舉事務長ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ帳簿ヲ備ヘ之ニ選舉運動ノ費用ヲ記載スヘシ

第二百六條 選舉事務長ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ選舉運動ノ費用ヲ精算シ選舉ノ期日ヨリ十四日以内ニ第八十八條第五項ノ届出アリタル警察官署ヲ經テ之ヲ地方長官(東京都ニ在リテハ警視總監)ニ届出ツヘシ

地方長官(東京都ニ在リテハ警視總監)ハ前項ノ規定ニ依リ届出アリタル選舉運動ノ費用ヲ告示スヘシ

第二百七條 選舉事務長ハ前條第一項ノ届出ヲ爲シタル日ヨリ一年間選舉運動ノ費用ニ關スル帳簿及書類ヲ保存スヘシ

前項ノ帳簿及書類ノ種類ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第二百八條 警察官吏ハ選舉ノ期日後何時ニテモ選舉事務長ニ對シ選舉運動ノ費用ニ關スル帳簿又ハ書類ノ提出ヲ命シ、之ヲ検査シ又ハ之ニ關

スル説明ヲ求ムルコトヲ得

第九條 選舉事務長辭任シ又ハ解任セラレタル場合ニ於テハ遲滯ナク
選舉運動ノ費用ノ計算ヲ爲シ新ニ選舉事務長ト爲リタル者ニ對シ、新
ニ選舉事務長ト爲リタル者ナキトキハ第九十五條ノ規定ニ依リ選舉事
務長ノ職務ヲ行フ者ニ對シ選舉事務所、選舉委員、選舉運動ノ爲使用
スル勞務者其ノ他ニ關スル事務ト共ニ其ノ引繼ヲ爲スヘシ第九十五條
ノ規定ニ依リ選舉事務長ノ職務ヲ行フ者事務ノ引繼ヲ受ケタル後新ニ
選舉事務長定リタルトキ亦同シ

第十條 議員候補者ノ爲支出セラレタル選舉運動ノ費用カ第二百二條第
二項ノ規定ニ依リ告示セラレタル額ヲ超エタルトキハ其ノ議員候補者
ノ當選ヲ無効トス但シ議員候補者及推薦届出者カ選舉事務長又ハ之ニ
代リテ其ノ職務ヲ行フ者ノ選任及監督ニ付相當ノ注意ヲ爲シ且選舉事
務長又ハ之ニ代リテ其ノ職務ヲ行フ者ニ於テ選舉運動ノ費用ノ支出ニ
付過失ナカリシトキハ此ノ限ニ在ラス

第十二章 罰則

第十一條 詐偽ノ方法ヲ以テ選舉人名簿ニ登録セラレタル者又ハ第二
十五條第二項ノ場合ニ於テ虛偽ノ宣言ヲ爲シタル者ハ百圓以下ノ罰金
ニ處ス

第十二條 左ノ各號ニ掲クル行爲ヲ爲シタル者ハ三年以下ノ懲役若ハ

禁錮又ハ二千圓以下ノ罰金ニ處ス

一 當選ヲ得若ハ得シメ又ハ得シメサル目的ヲ以テ選舉人又ハ選舉運
動者ニ對シ金錢、物品其ノ他ノ財産上ノ利益若ハ公私ノ職務ノ供與、
其ノ供與ノ申込若ハ約束ヲ爲シ又ハ饗應接待、其ノ申込若ハ約束ヲ
爲シタルトキ

二 當選ヲ得若ハ得シメ又ハ得シメサル目的ヲ以テ選舉人又ハ選舉運
動者ニ對シ其ノ者又ハ其ノ者ノ關係アル社寺、學校、會社、組合、
市町村等ニ對スル用水、小作、債權、寄附其ノ他特殊ノ直接利害關
係ヲ利用シテ誘導ヲ爲シタルトキ

- 三 投票ヲ爲シ若ハ爲ササルコト、選舉運動ヲ爲シ若ハ止メタルコト又ハ其ノ周旋勸誘ヲ爲シタルコトノ報酬ト爲ス目的ヲ以テ選舉人又ハ選舉運動者ニ對シ第一號ニ掲クル行爲ヲ爲シタルトキ
 - 四 第一號若ハ前號ノ供與、響應接待ヲ受ケ若ハ要求シ、第一號若ハ前號ノ申込ヲ承諾シ又ハ第二號ノ誘導ニ應シ若ハ之ヲ促シタルトキ
 - 五 第一號乃至第三號ニ掲グル行爲ヲ爲サシムル目的ヲ以テ選舉運動者ニ對シ金錢若ハ物品ノ交付、交付ノ申込若ハ約束ヲ爲シ又ハ選舉運動者其ノ交付ヲ受ケ若ハ要求シ若ハ其ノ申込ヲ承諾シタルトキ
 - 六 前各號ニ掲タル行爲ニ關シ周旋又ハ勸誘ヲ爲シタルトキ
- 選舉事務ニ關係アル官吏又ハ吏員當該選舉ニ關シ前項ノ罪ヲ犯シタルトキハ四年以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ三千圓以下ノ罰金ニ處ス警察官吏其ノ關係ノ都道府縣又ハ樺太内ノ選舉ニ關シ前項ノ罪ヲ犯シタルトキ亦同ジ

第百十二條ノ二 左ノ各號ニ掲グル行爲ヲ爲シタル者ハ五年以下ノ懲役

又ハ禁錮ニ處ス

- 一 財産上ノ利益ヲ圖ル目的ヲ以テ議員候補者ノ爲多數ノ選舉人又ハ選舉運動者ニ對シ前條第一項第一號乃至第三號、第五號又ハ第六號ニ掲グル行爲ヲ爲シ又ハ爲サシメタルトキ
 - 二 財産上ノ利益ヲ圖ル目的ヲ以テ議員候補者ノ爲多數ノ選舉人又ハ選舉運動者ニ對シ前條第一項第一號乃至第三號、第五號又ハ第六號ニ掲グル行爲ヲ爲スコトヲ請負ヒ若ハ請負ハシメ又ハ其ノ申込ヲ爲シタルトキ
- 前條第一項第一號乃至第三號、第五號又ハ第六號ノ罪ヲ犯シタル者常習者ナルトキ亦前項ニ同ジ
- 第百十三條 左ノ各號ニ掲クル行爲ヲ爲シタル者ハ四年以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ三千圓以下ノ罰金ニ處ス
- 一 議員候補者タルコト若ハ議員候補者タラムトスルコトヲ止メシムル目的ヲ以テ議員候補者若ハ議員候補者タラムトスル者ニ對シ又ハ

當選ヲ辭セシムル目的ヲ以テ當選人ニ對シ第百十二條第一項第一號又ハ第二號ニ掲クル行爲ヲ爲シタルトキ

二 議員候補者タルコト若ハ議員候補者タラムトスルコトヲ止メタルコト、當選ヲ辭シタルコト又ハ其ノ周旋勸誘ヲ爲シタルコトノ報酬ト爲ス目的ヲ以テ議員候補者タリシ者、議員候補者タラムトシタル者又ハ當選人タリシ者ニ對シ第百十二條第一項第一號ニ掲クル行爲ヲ爲シタルトキ

三 前二號ノ供與、響應接待ヲ受ケ若ハ要求シ、前二號ノ申込ヲ承諾シ又ハ第一號ノ誘導ニ應シ若ハ之ヲ促シタルトキ

四 前各號ニ掲クル行爲ニ關シ周旋又ハ勸誘ヲ爲シタルトキ
選舉事務ニ關係アル官吏又ハ吏員當該選舉ニ關シ前項ノ罪ヲ犯シタルトキハ五年以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ四千圓以下ノ罰金ニ處ス警察官吏其ノ關係ノ都道府縣又ハ樺太内ノ選舉ニ關シ前項ノ罪ヲ犯シタルトキ亦同シ

第百十四條 前三條ノ場合ニ於テ收受シ又ハ交付ヲ受ケタル利益ハ之ヲ沒收ス其ノ全部又ハ一部ヲ沒收スルコト能ハサルトキハ其ノ價額ヲ追徵ス

第百十五條 選舉ニ關シ左ノ各號ニ掲クル行爲ヲ爲シタル者ハ四年以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ三千圓以下ノ罰金ニ處ス

- 一 選舉人、議員候補者、議員候補者タラムトスル者、選舉運動者又ハ當選人ニ對シ暴行若ハ威力ヲ加ヘ又ハ之ヲ拐引シタルトキ
- 二 交通若ハ集會ノ便ヲ妨ケ又ハ演說ヲ妨害シ其ノ他偽計詐術等不正ノ方法ヲ以テ選舉ノ自由ヲ妨害シタルトキ
- 三 選舉人、議員候補者、議員候補者タラムトスル者、選舉運動者若ハ當選人又ハ其ノ關係アル社寺、學校、會社、組合、市町村等ニ對スル用水、小作、債權、寄附其ノ他特殊ノ利害關係ヲ利用シテ選舉人、議員候補者、議員候補者タラムトスル者、選舉運動者又ハ當選人ヲ威逼シタルトキ

第一百十六條 選舉ニ關シ官吏又ハ吏員故意ニ其ノ職務ノ執行ヲ怠リ又ハ正當ノ事由ナクシテ議員候補者、選舉事務長若ハ選舉委員ニ追隨シ、其ノ居宅若ハ選舉事務所ニ立入ル等其ノ職權ヲ濫用シテ選舉ノ自由ヲ妨害シタルトキハ四年以下ノ禁錮ニ處ス

官吏又ハ吏員選舉人ニ對シ其ノ投票セムトシ又ハ投票シタル被選舉人ノ氏名ノ表示ヲ求メタルトキハ六月以下ノ禁錮又ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

第一百十七條 選舉事務ニ關係アル官吏、吏員、立會人又ハ監視者選舉人ノ投票シタル被選舉人ノ氏名ヲ表示シタルトキハ二年以下ノ禁錮又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス其ノ表示シタル事實虛偽ナルトキ亦同シ

第一百十八條 投票所又ハ開票所ニ於テ正當ノ事由ナクシテ選舉人ノ投票ニ關涉シ又ハ被選舉人ノ氏名ヲ認知スルノ方法ヲ行ヒタル者ハ一年以下ノ禁錮又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

法令ノ規定ニ依ラスシテ投票函ヲ開キ又ハ投票函中ノ投票ヲ取出シタル者ハ三年以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ二千圓以下ノ罰金ニ處ス

第一百十九條 投票管理者、開票管理者、選舉長、立會人若ハ選舉監視者ニ暴行若ハ脅迫ヲ加ヘ、選舉會場、開票所若ハ投票所ヲ騷擾シ又ハ投票、投票函其ノ他關係書類ヲ抑留、毀壞若ハ奪取シタル者ハ四年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第一百二十條 多衆聚合シテ第一百五條第一號又ハ前條ノ罪ヲ犯シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

- 一 首魁ハ一年以上七年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス
- 二 他人ヲ指揮シ又ハ他人ニ率先シテ勢ヲ助ケタル者ハ六月以上五年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス
- 三 附和隨行シタル者ハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第一百五條第一號又ハ前條ノ罪ヲ犯ス爲多衆聚合シ當該公務員ヨリ解散ノ命ヲ受クルコト三回以上ニ及フモ仍解散セサルトキハ首魁ハ二年以下ノ禁錮ニ處シ其ノ他ノ者ハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第二百一十一條 選舉ニ關シ銃砲、刀劍、棍棒其ノ他人ヲ殺傷スルニ足ルヘキ物件ヲ携帯シタル者ハ二年以下ノ禁錮又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス
警察官吏又ハ憲兵ハ必要ト認ムル場合ニ於テ前項ノ物件ヲ領置スルコトヲ得

第二百一十二條 前條ノ物件ヲ携帯シテ選舉會場、開票所又ハ投票所ニ入リタル者ハ三年以下ノ禁錮又ハ二千圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百一十三條 前二條ノ罪ヲ犯シタル場合ニ於テハ其ノ携帯シタル物件ヲ沒收ス

第二百一十四條 選舉ニ關シ多衆集合シ若ハ隊伍ヲ組ミテ往來シ又ハ煙火、松明ノ類ヲ用ヒ若ハ鐘鼓、喇叭ノ類ヲ鳴ラシ旗幟其ノ他ノ標章ヲ用フル等氣勢ヲ張ルノ行爲ヲ爲シ警察官吏ノ制止ヲ受クルモ仍其ノ命ニ從ハサル者ハ六月以下ノ禁錮又ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百一十五條 演說又ハ新聞紙、雜誌、引札、張札其ノ他何等ノ方法ヲ以テスルニ拘ラス第二百一十二條乃至第二百一十三條、第二百一十五條、第二百一十八

條乃至第二百二十二條及前條ノ罪ヲ犯サシムル目的ヲ以テ人ヲ煽動シタル者ハ一年以下ノ禁錮又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス但シ新聞紙及雜誌ニ在リテハ仍其ノ編輯人及實際編輯ヲ擔當シタル者ヲ罰ス

第二百一十六條 演說又ハ新聞紙、雜誌、引札、張札其ノ他何等ノ方法ヲ以テスルニ拘ラス左ノ各號ニ掲クル行爲ヲ爲シタル者ハ二年以下ノ禁錮又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス新聞紙及雜誌ニ在リテハ前條但書ノ例ニ依ル

- 一 當選ヲ得又ハ得シムル目的ヲ以テ議員候補者ノ身分、職業又ハ經歷ニ關シ虛偽ノ事項ヲ公ニシタルトキ
- 二 當選ヲ得シメサル目的ヲ以テ議員候補者ニ關シ虛偽ノ事項ヲ公ニシタルトキ

第二百一十七條 選舉人ニ非サル者投票ヲ爲シタルトキハ一年以下ノ禁錮又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス
氏名ヲ詐稱シ其ノ他詐僞ノ方法ヲ以テ投票ヲ爲シタル者ハ二年以下ノ

禁錮又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

投票ヲ偽造シ又ハ其ノ數ヲ増減シタル者ハ三年以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ二千圓以下ノ罰金ニ處ス

選舉事務ニ關係アル官吏、吏員、立會人又ハ監視者前項ノ罪ヲ犯シタルトキハ五年以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ二千圓以下ノ罰金ニ處ス

第百二十八條 立會人正當ノ事故ナクシテ本法ニ定メタル義務ヲ缺クトキハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百二十九條 第九十五條ノ二、第九十六條第一項、第九十八條若ハ第九十八條ノ二ノ規定ニ違反シタル者又ハ第九十四條ノ規定ニ依ル命令ニ從ハサル者ハ一年以下ノ禁錮又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百三十條 第九十條ノ規定ニ依ル定數ヲ超エ若ハ第九十一條ノ規定ニ違反シテ選舉事務所ヲ設置シタル者又ハ第九十二條ノ規定ニ違反シテ休憩所其ノ他之ニ類似スル設備ヲ設ケタル者ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

第九十三條第一項若ハ第二項ノ規定ニ依ル定數ヲ超エテ選舉委員ノ選任ヲ爲シタル者、第九十三條ノ二ノ規定ニ依ル定數ヲ超エテ選舉運動ノ爲使用スル勞務者ノ選任ヲ爲シタル者又ハ第九十六條第二項若ハ第九十八條ノ三ノ規定ニ違反シタル者亦前項ニ同ジ

第百三十一條 第八十九條第一項、第九十九條又ハ第百九條ノ規定ニ違反シタル者ハ六月以下ノ禁錮又ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百三十二條 第八十八條第五項乃至第七項又ハ第八十九條第四項ノ届出ヲ怠リタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百三十三條 選舉事務長又ハ選舉事務長ニ代リ其ノ職務ヲ行フ者第百二條第二項ノ規定ニ依リ告示セラレタル額ヲ超エ選舉運動ノ費用ヲ支出シ又ハ第百一條第一項但書ノ規定ニ依ル承諾ヲ與ヘテ支出セシメタルトキハ一年以下ノ禁錮又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百三十四條 第百一條ノ規定ニ違反シテ選舉運動ノ費用ヲ支出シタル者ハ一年以下ノ禁錮ニ處ス

第三百三十五條 左ノ各號ニ掲クル行爲ヲ爲シタル者ハ六月以下ノ禁錮又ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

一 第三百五條ノ規定ニ違反シテ帳簿ヲ備ヘス又ハ帳簿ニ記載ヲ爲サス若ハ之ニ虚偽ノ記入ヲ爲シタルトキ

二 第三百六條第一項ノ届出ヲ忘リ又ハ虚偽ノ届出ヲ爲シタルトキ

三 第三百七條第一項ノ規定ニ違反シテ帳簿又ハ書類ヲ保存セサルトキ

四 第三百七條第一項ノ規定ニ依リ保存スヘキ帳簿又ハ書類ニ虚偽ノ記入ヲ爲シタルトキ

五 第三百八條ノ規定ニ依ル帳簿若ハ書類ノ提出若ハ検査ヲ拒ミ若ハ之ヲ妨ケ又ハ説明ノ求ニ應セサルトキ

第三百三十六條 當選人其ノ選舉ニ關シ本章ニ掲グル罪ヲ犯シ刑ニ處セラレタルトキハ其ノ當選ヲ無効トス選舉事務長又ハ選舉事務長ニ非ズシテ事實上選舉運動ヲ總括主宰シタル者第三百十二條乃至第三百十三條ノ罪

ヲ犯シ刑ニ處セラレタルトキ亦同ジ但シ選舉事務長ガ刑ニ處セラレタル場合ニ於テ當選人ガ選舉事務長ノ選任及監督ニ付相當ノ注意ヲ爲シタルトキ又ハ選舉事務長ニ非ズシテ事實上選舉運動ヲ總括主宰シタル者ナルコトヲ知ラザリシトキ若ハ其ノ者ガ當選人ノ制止ニ拘ラズ事實上選舉運動ヲ總括主宰シタル者ナルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第三百三十七條 本章ニ掲クル罪(第三百三十條及第三百三十二條ノ罪ヲ除ク)ヲ犯シタル者ニシテ罰金ノ刑ニ處セラレタル者ニ在リテハ其ノ裁判確定ノ後五年間、禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者ニ在リテハ其ノ裁判確定ノ後五年間衆議院議員及選舉ニ付本章ノ規定ヲ受クル迄ノ間及後五年間衆議院議員及選舉ニ付本章ノ規定ヲ受クル迄ノ間亦同シ

定ノ後五年間、禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者ニ在リテハ其ノ裁判確定ノ後五年間衆議院議員及選舉ニ付本章ノ規定ヲ受クル迄ノ間及後五年間衆議院議員及選舉ニ付本章ノ規定ヲ受クル迄ノ間亦同シ

第三百十二條乃至第三百十三條ノ罪又ハ此等ノ規定ノ準用ニ依ル罪ニ付刑

ニ處セラレタル者ニシテ更ニ第百十二條乃至第百十三條ノ罪ニ付刑ニ處セララル者ニ在リテハ前項ノ五年間ハ之ヲ十年間トス

裁判所ハ情狀ニ因リ刑ノ言渡ト同時ニ第一項ニ規定スル者ニ對シ同項五年間選舉權及被選舉權ヲ有セザル旨ノ規定ヲ適用セズ若ハ其ノ期間ヲ短縮スル旨ノ宣告ヲ爲シ又ハ前項ニ規定スル者ニ對シ同項ノ十年間ヲ短縮スル旨ノ宣告ヲ爲スコトヲ得

前三項ノ規定ハ第六條第五號ノ規定ニ該當スル者ニハ之ヲ適用セズ

第百三十八條 第百二十七條第三項及第四項ノ罪ノ時効ハ一年ヲ經過スルニ因リテ完成ス

前項ニ掲クル罪以外ノ本章ノ罪ノ時効ハ六月ヲ經過スルニ因リテ完成ス但シ犯人逃亡シタルトキハ其ノ期間ハ一年トス

第十三章 補則

第百三十九條 選舉ニ關スル費用ニ付テハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第百四十條 議員候補者又ハ選舉事務長ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ選

舉區内ニ在ル選舉人ニ對シ選舉運動ノ爲ニスル通常郵便物ヲ選舉人一
人ニ付一通ヲ限り無料ヲ以テ差出スコトヲ得

公立學校其ノ他勅令ヲ以テ定ムル營造物ノ設備ハ勅令ノ定ムル所ニ依
リ演說ニ依ル選舉運動ノ爲其ノ使用ヲ許可スヘシ

前項ノ營造物ノ管理者ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ演說會開催ノ爲ニ必要
ナル施設ヲ爲スベシ

地方長官ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ議員候補者ノ政見等ヲ掲載シタル文
書ヲ發行スベシ

第百四十條ノ二 第十六條及第八十四條第二項ノ規定ニ依ル訴訟竝ニ第
十二章ニ掲グル罪ニ關スル訴訟ニ付上告裁判所ガ大審院ニ非ザル場合
ニ於テ法律ノ同一ノ點ニ付曾テ大審院其ノ他ノ上告裁判所ノ爲シタル
判決ト相反スル意見アルトキハ決定ヲ以テ事件ヲ大審院ニ移送スルコ
トヲ要ス

前項ノ決定アリタルトキハ訴訟ハ上告ヲ爲シタル時ヨリ大審院ニ繫屬

シタルモノト看做ス

二九〇

第四百十一條 第十六條、第八十一條、第八十三條又ハ第八十四條第一項ノ規定ニ依ル訴訟ニ付テハ本法ニ規定シタルモノヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

第四百十一條ノ二 第八十四條第二項ノ規定ニ依ル訴訟ニ付テハ刑事訴訟法中第五百七十二條第二號第三號第五號乃至第八號第十號乃至第十三號、第五百七十四條、第五百八十二條、第五百八十八條、第五百八十九條、第五百九十一條、第六百五條乃至第六百十條及第六百十二條ノ規定ヲ除クノ外私訴ニ關スル規定ヲ準用ス但シ同法第五百七十六條中民事訴訟法トアルハ刑事訴訟法トシ民事部トアルハ刑事部トス
第八十四條第二項ノ規定ニ依ル訴訟ニ付當選無効ノ判決確定スト雖モ其ノ判決ハ公訴ニ付有罪ノ判決確定スルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生セス

第四百十一條ノ三 選舉ニ關スル訴訟ニ付テハ裁判所ハ他ノ訴訟ノ順序

ニ拘ラズ速ニ其ノ裁判ヲ爲スベシ

第四百十二條 第十二章ニ掲クル罪ニ關スル刑事訴訟ニ付テハ上告裁判

所ハ刑事訴訟法第四百二十二條第一項ノ期間ニ依ラサルコトヲ得

第四百十三條 當選人其ノ選舉ニ關シ第十二章ニ掲クル罪ヲ犯シ刑ニ處

セラレタルトキ又ハ選舉事務長第四百十二條乃至第四百十三條ノ罪ヲ犯シ

刑ニ處セラレタルトキハ裁判所ノ長ハ其ノ旨ヲ內務大臣及關係地方長

官ニ通知スヘシ

第四百十四條 町村組合ニシテ町村ノ事務ノ全部又ハ役場事務ヲ共同處

理スルモノハ本法ノ適用ニ付テハ之ヲ一町村、其ノ組合管理者ハ之ヲ

町村長、其ノ組合役場ハ之ヲ町村役場ト看做ス

第四百十四條ノ二 本法中郡トアルハ從前郡長ノ管轄シタル區域ヲ謂

フ

從前郡長ノ管轄シタル區域内ニ於テ市ノ設置アリタルトキ又ハ其ノ區域ノ境界ニ涉リテ市町村ノ境界ノ變更アリタルトキハ其ノ區域モ亦自

ラ變更シタルモノト看做ス

從前郡長ノ管轄シタル區域ノ境界ニ涉リテ町村ノ設置アリタル場合ニ於テハ本法ノ適用ニ付其ノ町村ノ屬スヘキ區域ハ内務大臣之ヲ定ム

二九二

第四百四十四條ノ三 北海道廳支廳長ノ管轄區域ニ變更アルモ選舉區ニ關シテハ仍從前ノ管轄區域ニ依ル但シ市町村ノ境界ノ變更アリタル爲北海道廳支廳長ノ管轄區域ニ變更アリタルトキハ此ノ限ニ在ラス
前項ノ規定ニ依ル選舉ニ關シ本法ノ規定ヲ適用シ難キ事項ニ付テハ勅令ヲ以テ特別ノ規定ヲ設クルコトヲ得

第四百四十五條 第四百四十四條ノ二ノ規定ヲ除クノ外本法中郡ニ關スル規定ハ支廳長ノ管轄區域ニ之ヲ適用ス

東京都ノ區ノ存スル區域及市制第六條ノ市ニ於テハ本法中市ニ關スル規定ハ區ニ、市長ニ關スル規定ハ區長ニ、市役所ニ關スル規定ハ區役所ニ之ヲ適用ス但シ第十二條ノ規定ノ適用ニ付テハ其ノ日迄引續キ六

月以上其ノ市町村内ニ住居ヲ有スル者トアルハ其ノ日迄引續キ六月以上東京都ノ區ノ存スル區域及市制第六條ノ市内ニ住居ヲ有シ且其ノ日ニ於テ其ノ區内ニ住居ヲ有スル者トス

町村制ヲ施行セサル地ニ於テハ本法中町村ニ關スル規定ハ町村ニ準スヘキモノニ、町村長ニ關スル規定ハ町村長ニ準スヘキ者ニ、町村役場

ニ關スル規定ハ町村役場ニ準スヘキモノニ之ヲ適用ス

第四百四十六條 交通至難ノ島嶼其ノ他ノ地ニ於テ本法ノ規定ヲ適用シ難キ事項ニ付テハ勅令ヲ以テ特別ノ規定ヲ設クルコトヲ得

第四百四十七條 第三十三條ノ規定ニ依ル投票ニ付テハ其ノ投票ヲ管理スヘキ者ハ之ヲ投票管理者、其ノ投票ヲ記載スヘキ場所ハ之ヲ投票所、其ノ投票ニ立會フヘキ者ハ之ヲ投票立會人ト看做シ第十二章ノ規定ヲ適用ス

第四百四十八條 本法ノ適用ニ付テハ明治十三年第三十六號布告刑法ノ重罪ノ刑ニ處セラレタル者ハ之ヲ六年ノ懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラ

レタル者、同法ノ禁錮ノ刑ニ處セラレタル者ハ之ヲ六年未滿ノ懲役又ハ禁錮ノ刑ニ處セラレタル者ト看做ス

第四百四十九條 明治十三年第三十六號布告刑法第二編第四章第九節ノ規定ハ衆議院議員ノ選舉ニ關シテハ之ヲ適用セス

第五百十條 本法ハ東京都小笠原島、北海道廳根室支廳管内占守郡、新
知郡及得撫郡並ニ高雄州高雄市新南群島ニハ當分ノ内之ヲ施行セズ

第十四章 朝鮮及臺灣ニ於ケル特例

第五百十一條 朝鮮及臺灣ニ於テハ第五條第一項ノ規定ニ拘ラズ帝國臣民タル年齡二十五年以上ノ男子ニシテ選舉人名簿調製ノ期日迄引續キ一年以上直接國稅十五圓以上ヲ納ムル者ハ選舉權ヲ有ス

法令ニ依リ輕減又ハ免除セララル直接國稅ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ前項ノ規定ニ依ル納稅資格要件ニ關シテハ輕減又ハ免除セラレザルモノト看做ス

前二項ノ直接國稅ノ種類及計算ニ關シテハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第五百十二條 朝鮮及臺灣ニ於テハ選舉人其ノ住居ヲ有スル府邑面又ハ市街庄外ニ於テ前條ノ直接國稅ヲ納ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ

九月二十日迄ニ其ノ住居地ノ府尹、邑面長又ハ市街庄長ニ其ノ旨ヲ届出ヅベシ其ノ期日迄ニ届出ヲ爲サザルトキハ其ノ納稅ハ選舉人名簿ニ登録セララルベキ要件ニ算入セズ

朝鮮及臺灣ニ於テハ第十二條第四項ノ規定ニ拘ラズ選舉人名簿ニハ選舉人ノ氏名、住居、生年月日及納稅額等ヲ記載スベシ

第五百十三條 朝鮮及臺灣ニ於テハ第七十九條第一項、第六項及第七項ノ規定ハ議員ノ定數一人ノ選舉區ニ付テハ之ヲ適用セズ

前項ノ選舉區ニ付テハ第七十九條第五項中其ノ闕員ノ數同一選舉區ニ於テ二人ニ達スルヲ待チ最後ニ第二項ノ規定ニ依ル通知ヲ受ケタル日トアルハ第二項ノ規定ニ依ル通知ヲ受ケタル日トス

第五百十四條 朝鮮及臺灣ニ於テハ選舉委員、選舉運動ノ爲使用スル勞務者又ハ選舉運動ノ費用ニ付第九十三條第一項、第九十三條ノ二第一

項又ハ第百二條第一項ノ規定ニ拘ラズ勅令ヲ以テ特別ノ規定ヲ設クルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ選舉委員若ハ勞務者ノ數又ハ選舉運動ノ費用ノ額ヲ定メタル場合ニ於テハ本法ノ適用ニ付テハ之ヲ第九十三條第一項若ハ第九十三條ノ二第一項又ハ第百二條第一項ノ規定ニ依ル定數又ハ額ト看做ス

第百五十五條 臺灣ニ於テ一選舉區州及廳ノ區域ニ涉ル場合ニ於テハ本法中地方長官ノ職務權限ハ關係州知事之ヲ行フ

前項ノ場合ニ於テハ第五十八條第一項第四號ノ規定ニ拘ラズ州知事ヲ以テ選舉長トス

第百五十六條 第七十六條中內務大臣トアルハ朝鮮ニ於テハ朝鮮總督ヲ經テ內務大臣、臺灣ニ於テハ臺灣總督ヲ經テ內務大臣、第八十六條第一項及第二項並ニ第百四十三條中內務大臣及關係地方長官トアルハ朝鮮ニ於テハ內務大臣、朝鮮總督及關係道知事、臺灣ニ於テハ內務大

臣、臺灣總督及關係州知事トス

第七十九條第二項中地方長官トアルハ朝鮮ニ於テハ朝鮮總督ヲ經テ道知事、臺灣ニ於テハ臺灣總督ヲ經テ州知事トス此ノ場合ニ於テハ朝鮮總督又ハ臺灣總督ハ道知事又ハ州知事ニ對スル內務大臣ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ五日以内ニ道知事又ハ州知事ニ對シ之ヲ發スベシ

第百五十七條 本法中縣ニ關スル規定ハ朝鮮ニ於テハ道ニ、臺灣ニ於テハ州ニ、縣廳ニ關スル規定ハ朝鮮ニ於テハ道廳ニ、臺灣ニ於テハ州廳ニ、郡ニ關スル規定ハ朝鮮ニ於テハ郡又ハ島ニ、澎湖廳ニ於テハ廳ニ、支廳長ニ關スル規定ハ朝鮮ニ於テハ郡守又ハ島司ニ、臺灣ニ於テハ澎湖廳長又ハ郡守ニ、支廳ニ關スル規定ハ朝鮮ニ於テハ郡廳又ハ島廳ニ、臺灣ニ於テハ澎湖廳又ハ郡役所ニ之ヲ適用ス

朝鮮ニ於テハ本法中市ニ關スル規定ハ府ニ、市長ニ關スル規定ハ府尹ニ、市役所ニ關スル規定ハ府廳ニ之ヲ適用ス

長ニ關スル規定ハ區長ニ、市役所ニ關スル規定ハ區役所ニ之ヲ適用ス
但シ第十二條ノ規定ノ適用ニ付テハ其ノ日迄引續キ六月以上其ノ市町
村内ニ住居ヲ有スル者トアルハ其ノ日迄引續キ六月以上其ノ府内ニ住
居ヲ有シ且其ノ日ニ於テ其ノ區内ニ住居ヲ有スル者トス

本法中町村ニ關スル規定ハ朝鮮ニ於テハ邑面ニ、臺灣ニ於テハ街庄
ニ、町村長ニ關スル規定ハ朝鮮ニ於テハ邑面長ニ、臺灣ニ於テハ街庄
長ニ、町村役場ニ關スル規定ハ朝鮮ニ於テハ邑面事務所ニ、臺灣ニ於
テハ街庄役場ニ之ヲ適用ス

第四百四十四條ノ二ノ規定ハ朝鮮ニ、同條及第四百四十五條第一項ノ規定
ハ臺灣ニ之ヲ適用セズ

第五十八條 第十條ノ規定ヲ除クノ外本法中官吏トアルハ朝鮮ニ於テ
ハ邑面長ヲ、臺灣ニ於テハ街庄長ヲ含ムモノトス

第五十九條 第十六條第一項中地方裁判所ニ關スル規定ハ朝鮮及臺灣
ニ於テハ地方法院合議部ニ、同條第二項中大審院ニ關スル規定ハ朝鮮

ニ於テハ高等法院ニ、臺灣ニ於テハ高等法院上告部ニ、第八十四條第
二項中檢察官ニ關スル規定ハ朝鮮ニ於テハ朝鮮總督府檢察官ニ、臺灣ニ於
テハ臺灣總督府法院檢察官ニ之ヲ適用ス

本法中刑事訴訟法トアルハ朝鮮ニ於テハ朝鮮刑事令ニ於テ依ルコトヲ
定メタル刑事訴訟法トス

附 則

本法ハ次ノ總選舉ヨリ之ヲ施行ス

本法ニ依リ初テ議員ヲ選舉スル場合ニ於テ第十八條ノ規定ニ依リ難キト
キハ勅令ヲ以テ別ニ總選舉ノ期日ヲ定ムルコトヲ得
前項ノ規定ニ依ル總選舉ニ必要ナル選舉人名簿ニ關シ第十二條、第十三
條、第十五條又ハ第十七條ニ規定スル期日又ハ期間ニ依リ難キトキハ勅
令ヲ以テ別ニ其ノ期日又ハ期間ヲ定ム但シ其ノ選舉人名簿ハ次ノ選舉人
名簿確定迄其ノ效力ヲ有ス

附 則 (大正十五年法律第八十二號)

本法ハ郡長及島司廢止ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附則 (昭和九年法律第四十九號)

本法ハ次ノ總選舉ヨリ之ヲ施行ス

本法ニ依リ初テ議員ヲ選舉スル場合ニ於テ第十八條ノ規定ニ依リ難キトキハ勅令ヲ以テ別ニ總選舉ノ期日ヲ定ムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル總選舉ニ必要ナル選舉人名簿ニ關シ第十二條、第十三條、第十五條又ハ第十七條ニ規定スル期日又ハ期間ニ依リ難キトキハ勅令ヲ以テ別ニ其ノ期日又ハ期間ヲ定ム但シ其ノ選舉人名簿ハ次ノ選舉人名簿確定迄其ノ效力ヲ有ス

第三百三十七條第二項ノ規定ハ第一百二十二條乃至第一百三條ノ改正規定ニ依リ又ハ此等ノ規定ノ準用ニ依リ刑ニ處セラレタル者ニシテ更ニ第一百二十二條乃至第一百三條ノ規定ニ依リ刑ニ處セララルル者ニ之ヲ適用ス

附則 (昭和二十年法律第二十四號)

本法中第六條及第四百十條ノ二ノ改正規定、附則第三項ノ規定並ニ樺太、

朝鮮及臺灣ニ關スル改正規定ノ施行ノ期日ハ各規定ニ付勅令ヲ以テ之ヲ定メ其ノ他ノ規定ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本法施行ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

裁判所構成法戰時特例中左ノ通改正ス

第六條ニ左ノ一項ヲ加フ

前二條ノ規定ハ衆議院議員選舉法第四百十條ノ二ノ規定ノ適用ヲ妨グズ

別表

選舉區

議員數

東京都

第一區

麴町區 芝布區 麻坂區 赤坂區 四谷區 牛込區

五人

第二區

神田區 小石川區 本郷區 下谷區

五人

第三區

日本橋區 京橋區 淺草區

四人

第四區

本所區 深川區

四人

衆議院議員選舉法

第一區	第三區	第二區
大阪府 大港西 正區	熊野郡 竹野郡 中野郡 與謝郡 加佐郡 何鹿郡 天田郡 舞鶴市 福知山市 船井郡 北桑田郡 南桑田郡 相樂郡 綴喜郡 久喜郡 宇治郡	宇治郡 久喜郡 綴喜郡 相樂郡 南桑田郡 北桑田郡 船井郡 福知山市 舞鶴市 天田郡 何鹿郡 加佐郡 與謝郡 中野郡 竹野郡 熊野郡
三人	三人	三人

第四區	第三區	第二區
西成區 東住吉區 住吉區 倍野區 阿倍區 城東區 旭野區 生野區 東成區 東淀川區 西淀川區 大淀區	東花區 此島區 福島區 都島區 北島區	浪速區 南王寺區 天王寺區
四人	四人	三人

第六區	第五區
向島區 足立區 板橋區 王子區 荒川區 瀧野川區 豐島區 八丈支應管內 三宅支應管內 大島支應管內 杉並區 中野區 淀橋區 澁谷區 世田谷區 蒲田區 大森區 荏原區 目黒區 品川區	品川區 目黒區 荏原區 大森區 蒲田區 世田谷區 澁谷區 淀橋區 中野區 杉並區 大島支應管內 三宅支應管內 八丈支應管內 豐島區 瀧野川區 荒川區 王子區 板橋區 足立區 向島區
五人	五人

第一區	京都府	第七區
乙訓郡 葛野郡 愛宕區 伏見區 右京區 東山區 左京區 下京區 中京區 上京區	京都府 北多摩郡 南多摩郡 西多摩郡 立川市 八王子市 江戶川區 葛飾區 城東區	城東區 葛飾區 江戶川區 八王子市 立川市 西多摩郡 南多摩郡 北多摩郡
五人	三人	三人

	第三區	第二區
相飾姫 生磨路 市市市	印加加多 南古西可 郡郡郡郡 郡郡郡郡	三津有川武伊芦洲 原名馬邊庫丹屋本 郡郡郡郡郡市市市
	三 人	四 人

	長 崎 縣	第五區	第四區
第一區	多冰美朝養出城 紀上方來父石崎 郡郡郡郡郡郡	赤揖神 穂保崎磨 郡郡郡郡郡郡	六佐赤揖神 粟用穂保崎磨 郡郡郡郡郡郡
北西諫島長 高彼早原崎 來杵市市市 郡郡市市市	三 人	四 人	四 人

	神奈川縣	第六區	第五區
第一區	泉泉貝泉岸堺 南北塚大和 郡郡市市市市	北中南豐三 河河河能島 內內內郡郡郡	高吹池布豐 槻田田施中 郡市市市市
橫濱市	三 人	四 人	四 人

	兵庫縣	第三區	第二區
第一區	津愛足足中 久柄柄座 甲下上 井郡郡郡郡	高小藤平 座原澤塚 郡市市市	鎌三錄川橫 倉浦倉崎須 郡郡市市市
尼西神 崎宮戶 市市市	四 人	四 人	四 人

群馬縣				
第一區				
前橋市	桐生市	伊勢崎	勢多郡	利根郡
佐田郡	新田郡	山田郡	邑樂郡	
五人				
第二區				
熊谷市	比企郡	秩父郡	兒玉郡	大里郡
北谷郡	北碓郡	南碓郡	北碓郡	北碓郡
四人				
第三區				
北碓郡	碓冰郡	北碓郡	南碓郡	北碓郡
三人				

千葉縣				
第一區				
千葉市	船橋市	木更津市	松戸市	千原市
東葛飾郡	市原郡	君津郡	銚子郡	印旛郡
海上郡				
四人				
第二區				
高野郡	群馬郡	多野郡	北甘樂郡	碓氷郡
吾妻郡				
四人				
第三區				
千葉市	船橋市	木更津市	松戸市	千原市
東葛飾郡	市原郡	君津郡	銚子郡	印旛郡
海上郡				
三人				

新潟縣				
第一區				
新潟市	西蒲原郡	佐渡郡	中蒲原郡	東蒲原郡
岩船郡	長岡市	三條市		
三人				
第二區				
高來郡	南高來郡	對馬島廳管內	佐世保市	大村市
東彼杵郡	北松浦郡	南松浦郡	壹岐郡	
四人				
第三區				
柏崎	南蒲原	三島	古志	北魚沼
南魚沼	北魚沼	南魚沼	北魚沼	南魚沼
刈羽郡				
五人				

埼玉縣				
第一區				
川口市	川口市	浦和市	大宮市	北足立郡
入間郡				
四人				
第二區				
高田市	中魚沼郡	東魚沼郡	中魚沼郡	西魚沼郡
高田郡				
三人				
第三區				
南浦原	南浦原	南浦原	南浦原	南浦原
南浦原	南浦原	南浦原	南浦原	南浦原
南浦原	南浦原	南浦原	南浦原	南浦原
五人				

衆議院議員選舉法

奈良縣
三重縣

第一區

津市 四日市 桑名市 上野市 鈴鹿市 桑名市 員辨郡 三重郡 鈴鹿郡 河內郡 安濃郡 一志郡 阿賀郡 名賀郡 宇治山田市 飯南郡

五人

五人

愛知縣

第二區

第三區

第二區

第一區

瀨戶市 半田市 春日井市 愛知郡 東春日井郡 西春日井郡 知多郡 一宮市 丹羽郡 葉栗郡 中島郡 海部郡

三人

三人

五人

四人

三〇九

茨城縣

第三區

第一區

第二區

水戸市 東茨城郡 西茨城郡 鹿島郡 行方郡 稻敷郡 北相馬郡 日立市 那珂市 久慈郡 多賀郡

四人

四人

三人

栃木縣

第三區

第一區

第二區

宇都宮市 河內郡 上野郡 鹽谷郡 那須郡 足利市 栃木市 佐野市 芳賀郡 下都賀郡 安都郡 足利郡

四人

五人

四人

三〇八

岐阜縣

第三區	第二區	第一區
益惠土可加 田那岐兒茂 郡郡郡郡郡	本揖安不養海羽大 巢斐八破老津島垣 郡郡郡郡郡郡郡	郡武山稻岐 上儀縣葉阜 郡郡郡郡市
三人	三人	三人

長野縣

第三區	第二區	第一區
諏諏飯岡 訪訪田谷 郡市市市	埴小北南上 科縣佐佐田 郡郡郡郡市	下上下上更長 水水高高級野 內內井井郡市
四人	三人	三人

静岡縣

第一區	第五區	第四區
志安庵清靜 太倍原水岡 郡郡郡市市	八渥寶南北豐豐 名美飯設設川橋 郡郡郡郡市市	東西額幡碧岡 加加田豆海崎 郡郡郡郡市
五人	三人	三人

滋賀縣

第三區	第二區
引濱周磐濱 佐名智田松 郡郡郡郡市	富駿田賀多高富三熱沼小 士東方茂治山土島海律笠原 郡郡郡郡市市市市市市郡
五人	四人

岩手縣			第二區
第一區	第三區		
盛岡市	平城市	大河沼郡	五人
宮古市	石川郡	西白河郡	
巖手郡	雙葉郡	東白河郡	
紫波郡	相馬郡	田村郡	
下閉伊郡			
九戸郡			
二戸郡			
三人	三人		

青森縣			第二區
第二區	第一區		
青森市	八戸市	和賀郡	四人
八戸市	東津輕郡	膽澤郡	
上北郡	上北郡	江刺郡	
下北郡	下北郡	西磐井郡	
三戸郡	三戸郡	東磐井郡	
弘前市		氣仙郡	
西津輕郡		上閉伊郡	
中津輕郡			
三人	三人		

宮城縣			第四區
第一區			
仙臺市	松本	下伊那郡	三人
塩竈市	西筑摩郡	上伊那郡	
刈田郡	東筑摩郡		
柴田郡	南筑摩郡		
伊具郡	北筑摩郡		
伊達郡			
名取郡			
宮城郡			
黒川郡			
加美郡			
志田郡			
遠田郡			
五人			

福島縣			第二區
第一區			
福島市	登米郡	玉造市	三人
郡山	栗原郡	石卷市	
信夫郡	桃生郡		
伊達郡	鹿島郡		
安達郡	本吉郡		
安積郡			
若松市			
若瀨郡			
南會津郡			
北會津郡			
耶麻郡			
三人			

鳥取縣

第二區	第一區	富山縣	第二區
西東氷射高 礪礪見水岡 波波郡郡市	婦下中上富 負新新新山 川川川市	珠鳳鹿羽河七 洲至島咋北尾 郡郡郡郡市	
四人	三人	三人	三人

岡山縣

第二區	第一區	島根縣
鹿美那邑邇安飯濱 足濃賀智摩濃石田 郡郡郡郡郡市	隱簸大仁能八出松 岐川原多義束雲江 島廳管內郡郡郡郡市	
三人	三人	

山形縣

第二區	第一區	山形縣
飽西東最北酒鶴 海田田上村田岡 郡郡郡郡市市	西東南西東南米山 置置置村村村澤形 賜賜賜山山山市市	北南 津津 輕輕 郡郡
四人	四人	

秋田縣

第一區	第二區	第一區	秋田縣
石能江小 川美沼松澤 郡郡郡市	石福 川井 縣縣	雄平仙由 勝鹿北利邊 郡郡郡郡	河南山北鹿能秋 秋秋 田本 郡郡郡郡市市
三人	五人	三人	四人

山口縣

第一區

下防 阿大 美豐 厚小 萩宇 下
松府 武津 瀨浦 狹野 部關
市市 郡郡 郡郡 郡市 市市 市市

四人

第三區

比雙 甲神 蘆深 沼
婆三 奴石 品安 隈
郡郡 郡郡 郡郡 郡郡

五人

和歌山縣

第一區

有田 新伊 那海 海和
田邊 宮都 賀草 南
郡市 市郡 郡市 市市 市市

三人

三人

第二區

吉佐 都熊 玖大 德山 光岩
敷波 濃毛 珂島 山口 國
郡郡 郡郡 郡郡 市市 市市

五人

第二區

吉後 小淺 都兒 玉倉
備月 田口 窪島 野敷
郡郡 郡郡 郡市 市市

五人

第一區

久英 勝苦 真上 邑和 赤御 津岡
米田 田田 庭道 久氣 磐津 山山
郡郡 郡郡 郡郡 郡郡 郡部 郡市 市市

五人

廣島縣

第一區

高山 安佐 廣
田縣 佐伯 島
郡郡 郡郡 市市

四人

第二區

豐賀 安吳
田茂 藝
郡郡 郡市

四人

阿川 上
哲上 房
郡郡 郡

福岡縣	高知縣		
第二區	第一區	第三區	
幡高吾 多岡川 郡郡郡	土長香安高 佐岡美藝知 郡郡郡郡市	南東西宇 字字字和 和和和島 郡郡郡市	宇新 摩居 郡郡
三人	三人	三人	

第三區	第二區	第一區	
八三三浮大久 女瀦井羽牟留 郡郡郡郡市市	嘉鞍遠戶八若 穗手賀畑幡松 郡郡郡市市市	糸早筑朝宗糟福 島良紫倉像屋岡 郡郡郡郡郡市	
五人	五人	四人	

香川縣	德島縣		
第二區	第一區		
大高 川松 郡市	三美麻阿板 好馬植波野 郡郡郡郡郡	名海那勝名德 西部賀浦東島 郡郡郡郡市	東西日 牟牟高 婁婁郡郡
	三人	三人	

		愛媛縣	
第二區	第一區	第二區	第一區
周越西新今 桑智條居治 郡郡市市市	喜上伊溫松 多浮穴豫泉山 郡郡郡郡市	三仲綾坂丸 豐多歌出龜 郡郡郡市市	香小本 川豆田 郡郡郡
三人	三人	三人	三人

衆議院議員選舉法

宮崎縣

第二區	第一區	熊本縣
天球草八下上宇人八 草磨北代益益土吉代 郡郡郡郡郡郡市市	阿菊鹿玉飽荒熊 蘇池本名託尾本 郡郡郡郡郡市	
五人	五人	

三二一

鹿兒島縣

沖繩縣	第三區	第二區	第一區	鹿兒島縣
北海	大肝鹿 島屬屋 島廳管內	贈始伊出薩川 啖良佐水摩內	日熊川揖鹿鹿 置毛邊宿兒兒 郡郡郡郡郡市	
	五人	三人	四人	五人

大分縣

第一區	第四區
日玖直大南北大佐日大 田珠入野海海分伯田分 郡郡郡郡郡郡市市	筑京田企門小三山 上都川救司倉池門 郡郡郡郡市市郡郡
四人	四人

佐賀縣

第二區	第一區	第二區
藤杵西東唐 津島松松津 郡郡郡郡市	小三神佐佐 城養埼賀賀 郡郡郡郡市	宇下速東西中別 佐毛見國國津府 郡郡郡郡郡市
三人	三人	三人

三二〇

- 三 有期徒刑
- 四 無期流刑
- 五 有期流刑
- 六 重懲役
- 七 輕懲役
- 八 重禁獄
- 九 輕禁獄

第八條 左ニ記載シタル者ヲ以テ輕罪ノ主刑ト爲ス

- 一 重禁錮
- 二 輕禁錮
- 三 罰金

第二編 公益ニ關スル重輕罪

第四章 信用ヲ害スル罪

第九節 公選ノ投票ヲ偽造スル罪

第二百三十三條 公選ノ投票ヲ偽造シ又ハ其數ヲ増減シタル者ハ一月以

上一年以下ノ輕禁錮ニ處シ二十圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百三十四條 賄賂ヲ以テ投票ヲ爲サシメ又ハ賄賂ヲ受ケテ投票ヲ爲

シタル者ハ二月以上二年以下ノ輕禁錮ニ處シ三十圓以上三十圓以下ノ罰

金ヲ附加ス

第二百三十五條 投票ヲ検査シ及ヒ其數ヲ計算スル者其投票ヲ偽造シ又

ハ増減シタル時ハ六月以上三年以下ノ輕禁錮ニ處シ四十圓以上四十圓以

下ノ罰金ヲ附加ス

第二百三十六條 調書ヲ造リ投票ノ結局ヲ報告スル者其數ヲ増減シ其他

詐僞ノ所爲アル時ハ一年以上五年以下ノ輕禁錮ニ處シ五十圓以上五十圓

以下ノ罰金ヲ附加ス

○刑法施行法

明治四十一年法律第二十九號○改正明治四十二年第四號、第三十九號、同四十二年第五十三號、大正五年第十五號、第十七號、同十三年第六十八號、同十一年第七十一號、昭和二年第四十七號

(抄)

明治十三年第二十六號布告刑法(抄)

刑法施行法(抄)

第一條 本法ニ於テ舊刑法ト稱スルハ明治十三年第三十六號布告刑法ヲ謂ヒ他ノ法律ト稱スルハ刑法施行前ニ公布シタル法律及ヒ勅令、布告ニシテ法律ト同一ノ效力ヲ有スルモノヲ謂フ

第二十五條 左ニ記載シタル舊刑法ノ規定ハ當分ノ内刑法施行前ト同一ノ效力ヲ有ス

一 第二編第四章第九節

二 第二編第五章第三節

刑法第八條ノ規定及ヒ本法中他ノ法律ニ關スル規定ハ之ヲ前項ノ規定ニ準用ス

○衆議院議員選舉法施行令

(大正十五年勅令第三號○改正十五年第二百三十八號、昭和三年第二百六十四號、同九年第三百二十五號)

第一章 選舉區、選舉權及被選舉權

第一條 衆議院議員選舉法ノ別表ニ掲クル以外ノ市ハ其ノ設置前屬シタル

ル郡市ノ屬スル選舉區ニ包含スルモノトス

第二條 被選舉人ノ年齢ハ選舉ノ期日ニ依リ之ヲ算定ス

第三條 衆議院議員選舉法第七條第二項ノ規定ニ依リ除外スヘキ學生生徒左ノ如シ

一 陸軍各部依託學生生徒

二 海軍軍醫學生藥劑學生主計學生造船學生造機學生造兵學生並海軍航空豫備學生海軍豫備生徒及海軍豫備練習生

第二章 選舉人名簿

第四條 市町村ノ境界變更アリタル爲選舉人名簿ニ異動ヲ生シタルトキハ市町村長ハ其ノ管理ニ屬スル選舉人名簿中異動ニ係ル部分ヲ新ニ屬シタル市町村ノ市町村長ニ送付スヘシ

市町村ノ廢置分合アリタル爲選舉人名簿ノ引繼ヲ要スルトキハ前項ノ例ニ依ル

第五條 衆議院議員選舉法第十二條又ハ第十七條第三項ノ規定ニ依リ選

衆議院議員選舉法施行令

舉人名簿ヲ調製シタルトキハ市町村長ハ直ニ其ノ寫ニ通テ地方長官ニ提出スベシ

衆議院議員選舉法第十五條又ハ第十七條第二項但書ノ規定ニ依リ選舉人名簿ヲ修正シタルトキハ市町村長ハ直ニ其ノ旨ヲ地方長官ニ報告スベシ

第六條 選舉人名簿ハ市町村長ニ於テ議員ノ任期間之ヲ保存スヘシ

第三章 投票

第七條 市町村ノ區域ヲ分チテ數投票區ヲ設ケタル場合ニ於テハ左ノ規定ニ依ル

- 一 選舉人名簿ハ投票區毎ニ之ヲ調製スヘシ
- 二 各投票區ニ於ケル投票管理者ハ地方長官ニ於テ官吏又ハ吏員ノ中ニ就キ之ヲ定ム此ノ場合ニ於テハ投票管理者ノ内一名ハ市町村長ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ要ス
- 三 市町村長ハ選舉ノ期日ノ公布又ハ告示アリタルトキハ直ニ選舉人名簿(投票區ノ區域ト同一ノ區域ニ依リ調製セラレタル選舉人名簿ナキ場合ニ於テハ選舉人名簿投票區ノ區域ニ係ル部分)ヲ各投票管理者ニ送付スヘシ

第八條 數町村ノ區域ヲ合セテ一投票區ヲ設ケタル場合ニ於テハ左ノ規定ニ依ル

- 一 投票管理者ハ地方長官ニ於テ關係町村長ノ中ニ就キ之ヲ定ム
- 二 町村長ノ選舉ノ期日ノ公布又ハ告示アリタルトキハ直ニ選舉人名簿ヲ投票管理者ニ送付スヘシ

第九條 地方長官必要アリト認ムルトキハ官吏又ハ吏員ノ中ニ就キ投票管理者及其ノ代理者故障アルトキ之ヲ代理スヘキ者ヲ豫メ定ムルコトヲ得

投票管理者及其ノ代理者(前項ノ規定ニ依リ地方長官ノ定メタル者ヲ含ム)故障アルトキハ地方長官ハ臨時ニ官吏又ハ吏員ヲシテ其ノ事務ヲ管掌セシムルコトヲ得

第十條 投票立會人ノ届出ハ文書ヲ以テ之ヲ爲シ投票立會人ノ氏名、住居及生年月日ヲ記載シ且本人ノ承諾書ヲ添附スヘシ

第十一條 選舉人選舉人名簿調製期日後其ノ投票區域外ニ住居ヲ移シタル場合ニ於テハ名簿調製期日ニ於テ住居ヲ有シタル地ノ投票區ノ投票所ニ到リ投票ヲ爲スヘシ

第十二條 投票管理者必要アリト認ムルトキハ投票所入場券及到着番號札ヲ選舉人ニ交付スルコトヲ得

第十三條 投票記載ノ場所ハ選舉人ノ投票ヲ視ヒ又ハ投票ノ交換其ノ他不正ノ手段ヲ用フルコト能ハサラシムル爲相當ノ設備ヲ爲スヘシ

第十四條 投票函ハ二重ノ蓋ヲ造リ各別ニ鎖鑰ヲ設クヘシ

第十五條 投票管理者ハ投票ヲ爲サシムルニ先チ投票所ニ參會シタル選舉人ノ面前ニ於テ投票函ヲ開キ其ノ空虛ナルコトヲ示シタル後内蓋ヲ鎖スヘシ

第十六條 投票管理者ハ投票立會人ノ面前ニ於テ選舉人ヲ選舉人名簿ニ

對照シタル後投票用紙ヲ交付スヘシ

第十七條 選舉人誤リテ投票ノ用紙又ハ封筒ヲ汚損シタルトキハ其ノ引換ヲ請求スルコトヲ得

第十八條 投票ハ投票管理者及投票立會人ノ面前ニ於テ選舉人自ラ之ヲ投函スヘシ

第十九條 投票ヲ爲サムトスル選舉人ヲシテ本人ナル旨ノ宣言ヲ爲サシムル必要アルトキハ投票管理者ハ投票立會人ノ面前ニ於テ之ヲ宣言セシメ投票所ノ事務ニ從事スル者ヲシテ之ヲ筆記セシメ選舉人ニ讀聞カセ選舉人ヲシテ之ニ署名セシムヘシ

第二十條 前項ノ規定ニ依ル宣言書ハ之ヲ投票録ニ添附スヘシ
第二十一條 選舉人投票前投票所外ニ退出シ又ハ退出ヲ命セラレタルトキハ投票管理者ハ投票用紙ヲ返付セシムヘシ

第二十二條 衆議院議員選舉法第二十八條ノ規定ニ依リ盲人カ投票ニ關スル記載ニ使用スルコトヲ得ル點字ハ別表ヲ以テ之ヲ定ム

點字ニ依リ投票ヲ爲サムトスル選舉人ハ投票管理者ニ對シ其ノ旨ヲ申立ツヘシ此ノ場合ニ於テハ投票管理者ハ投票用紙ニ點字投票ナル旨ノ印ヲ押捺シテ交付スヘシ

點字ニ依ル投票ノ拒否ニ付テハ衆議院議員選舉法第三十一條ノ例ニ依ル此ノ場合ニ於テハ封筒ニ點字投票ナル旨ノ印ヲ押捺シテ交付スヘシ

前項ノ規定ニ依リ假ニ爲サシメタル投票ハ衆議院議員選舉法第四十九條ノ規定ノ適用ニ付テハ同法第三十一條第二項及第四項ノ投票ト看做ス

第二十二條 投票ヲ終リタルトキハ投票管理者ハ投票函ノ内蓋ノ投票口及外蓋ヲ鎖シ其ノ内蓋ノ鑰ハ投票函ヲ送致スヘキ投票立會人之ヲ保管シ外蓋ノ鑰ハ投票管理者之ヲ保管スヘシ

第二十三條 投票ニ關スル種類ハ投票管理者ニ於テ議員ノ任期間之ヲ保存スヘシ但シ市町村ノ區域ヲ分チテ數投票區ヲ設ケタル場合ニ於テハ

市町村長タル投票管理者ハ其ノ他ノ投票管理者ノ保存スヘキ書類ヲ併セテ保存スヘシ

第二十四條 地方長官衆議院議員選舉法第三十六條ノ規定ニ依リ投票ノ期日ヲ定メタルトキハ直ニ之ヲ告示シ併セテ投票管理者及開票管理者ニ通知スヘシ

第二十五條 地方長官衆議院議員選舉法第三十七條ノ規定ニ依リ投票ノ期日ヲ定メタルトキハ直ニ之ヲ投票管理者、開票管理者及選舉長ニ通知スヘシ

第四章 衆議院議員選舉法第三十三條ノ投票

第二十六條 衆議院議員選舉法第三十三條ノ事由ヲ定ムルコト左ノ如シ
一 湖川、港灣ノミヲ航行スル船舶、總噸數二十噸未滿又ハ積石數二百石未滿ノ船舶及端舟其ノ他櫓ノミヲ以テ運轉シ又ハ主トシテ櫓ノミヲ以テ運轉スル舟ヲ除ク外日本船舶（内地以外ニ船籍港ヲ定ムルモノヲ含ム以下之ニ同シ）ノ船員又ハ其ノ船舶ニ乗務スルノ常況

衆議院議員選舉法施行令

- ニ在ル者船内從事中ナルヘキコト
- 二 前號ノ船舶ヲ除クノ外日本船舶ニシテ總噸數五噸以上又ハ積石數五十石以上ノモノノ船員又ハ其ノ船舶ニ乗務スルノ常況ニ在ル者船内從事中ナルヘキコト
- 三 鐵道列車ニ乗務スルノ常況ニ在ル鐵道係員、郵便取扱員其ノ他ノ者鐵道列車ニ乗務中ナルヘキコト
- 四 選舉事務、投票所監視、選舉取締其ノ他選舉ニ關係アル職務ニ從事スル者其ノ投票區域外ニ於テ職務ニ從事中ナルベキコト
- 五 陸海軍軍人演習召集中又ハ教育召集中ナルヘキコト
- 六 艦船乗員タル軍屬海上勤務中ナルベキコト
- 七 引續キ十日以上其ノ屬スル投票區所在ノ郡市外ニ於テ職務又ハ業務ニ從事スルヲ例トスル者其ノ屬スル投票區所在ノ郡市外ニ於テ職務又ハ業務ニ從事中ナルベキコト
- 八 選舉人名簿調製期日後其ノ屬スル投票區所在ノ郡市外ニ住居ヲ移

シタル者其ノ屬スル投票區所在ノ郡市外ニ於テ職務又ハ業務ニ從事中ナルベキコト

第二十七條 選舉人前條第一號又ハ第五號乃至第八號ニ掲クル事由ニ因リ選舉ノ當日自ラ投票所ニ到リ投票ヲ爲シ能ハサルヘキトキハ選舉ノ期日ノ公布又ハ告示アリタル日ヨリ選舉ノ期日ノ前日迄ニ自ラ其ノ屬スル投票區ノ投票管理者ニ就キ又ハ之ニ對シ郵便ヲ以テ其ノ旨ヲ證シテ投票用紙及投票用封筒ノ交付ヲ請求スルコトヲ得

前條第七號又ハ第八號ニ掲グル事由ニ關シ前項ノ請求ヲ爲ス者其ノ屬スル投票區以外ニ於テ投票ヲ爲サントスルトキハ前項ノ請求ヲ爲スト同時ニ其ノ屬スル投票區ノ投票管理者ニ對シ其ノ旨ヲ申立ツベシ

選舉人前條第二號乃至第四號ニ掲クル事由ニ因リ選舉ノ當日自ラ投票所ニ到リ投票ヲ爲シ能ハサルヘキトキハ選舉ノ期日前十日ヨリ選舉ノ期日迄ニ自ラ其ノ屬スル投票區ノ投票管理者ニ就キ其ノ旨ヲ證シテ投票用紙及投票用封筒ノ交付ヲ請求スルコトヲ得

衆議院議員選舉法施行令

點字ニ依リ投票ヲ爲サムトスル選舉人ハ第一項又ハ前項ノ請求ヲ爲ス
ト同時ニ投票管理者ニ對シ其ノ旨ヲ申立ツヘシ

第二十八條 選舉人前條ノ請求ヲ爲ス場合ニ於テハ併セテ其ノ證スル事
項ニ付各左ニ掲クル者ノ證明書ヲ提出スヘシ但シ第二十六條第五號ニ
掲クル事由ニ基ク事項ニ付テハ選舉ノ期日カ召集期間中ナル場合ニ於
テ選舉人自ラ其ノ屬スル投票區ノ投票管理者ニ就キ請求ヲ爲ストキニ
限リ召集令狀ノ提示ヲ以テ證明書ノ提出ニ代フルコトヲ得

一 第二十六條第一號ニ掲クル事由ニ關シテハ船員ニ在リテハ管海官
廳(管海官廳ニ準スヘキモノヲ含ム)、領事館又ハ船長(船長ノ職務
ヲ行フ者ヲ含ム以下之ニ同シ)、其ノ他ノ者ニ在リテハ各所屬ノ官署
ノ長又ハ其ノ業務主

二 第二十六條第二項ニ掲クル事由ニ關シテハ各所屬ノ官署ノ長又ハ
其ノ者ノ業務主

三 第二十六條第三號ニ掲クル事由ニ關シテハ鐵道係員ニ在リテハ各

所屬ノ車掌所主任機關庫主任電車庫主任(地方鐵道ニ在リテハ各之
ニ該當スル者)、郵便取扱員ニ在リテハ各所屬ノ郵便局長、其ノ他ノ
者ニ在リテハ各所屬ノ官署ノ長又ハ其ノ業務主

四 第二十六條第四號ニ掲クル事由ニ關シテハ各所屬ノ官公署ノ長

五 第二十六條第五號ニ掲クル事由ニ關シテハ其ノ者ノ所屬ノ部隊若
ハ陸上海軍各部(陸軍大臣又ハ海軍大臣ノ定ムル所ニ依ル以下之ニ
同シ)ノ長又ハ所屬ノ艦船ノ長

六 第二十六條第六號ニ掲クル事由ニ關シテハ其ノ者ノ所屬ノ艦船ノ長

七 第二十六條第七號ニ掲クル事由ニ關シテハ各所屬ノ官公署若ハ議
會ノ長又ハ其ノ業務主

八 第二十六條第八號ニ掲クル事由ニ關シテハ住居ヲ移シタル者ナル
コトニ付テハ其ノ者ガ現ニ住居ヲ有スル地ノ市町村長、職務又ハ業
務ニ從事中ナルニ因リ選舉ノ當日自ラ投票所ニ到リ投票ヲ爲シ能ハザ
ルベキコトニ付テハ各所屬ノ官公署若ハ議會ノ長又ハ其ノ者ノ業務主

前項ノ規定ニ依ル證明者前項ノ證明書ノ交付ノ請求ヲ受ケタル場合ニ於テ該當事項アリト認ムルトキハ直ニ證明書ヲ交付スヘシ
選舉人正當ノ事由ニ因リ第一項ノ證明書ヲ提出スルコト能ハサルトキハ其ノ旨ヲ投票管理者ニ疏明スヘシ

第二十九條 投票管理者第二十七條及前條第一項又ハ第三項ノ規定ニ依ル投票用紙及投票用封筒ノ交付ノ請求ヲ受ケタル場合ニ於テハ直ニ其ノ選舉ニ用フヘキ選舉人名簿ニ對照シ當該選舉人カ第二十六條ニ掲クル事由ノ一ニ因リ選舉ノ當日自ラ投票所ニ到リ投票ヲ爲シ能ハスト認ムルトキハ投票用紙及投票用封筒ヲ直ニ選舉人ニ直接ニ交付シ又ハ郵便ヲ以テ發送スヘシ

投票管理者第二十七條第二項ノ申立ヲ受ケタル場合ニ於テハ當該選舉人ノ氏名、選舉人名簿調製期日ニ於ケル住居及生年月日竝ニ其ノ職務若ハ業務及其ノ職務若ハ職務ニ從事中ナルベキ地等ヲ記載シタル特別投票者證明書ヲ作製シ之ヲ封筒ニ入レ封緘シ封筒ノ表面ニ特別投票者

證明書在中ノ旨ヲ表示シ其ノ裏面ニ署名捺印シ之ヲ前項ノ投票用紙及投票用封筒ト共ニ選舉人ニ交付シ又ハ發送スベシ

第一項ノ場合ニ於テ第二十七條第四項ノ申立ヲ爲シタル選舉人ニ交付シ又ハ發送スル投票用紙ニハ點字投票ナル旨ノ印ヲ押捺スヘシ

第三十條 衆議院議員選舉法第三十三條ノ規定ニ依ル投票ニ付テハ當該選舉人カ第二十六條ニ掲クル事由ノ何レニ關シ投票用紙及投票用封筒ノ交付ヲ受ケタルカニ依リ各左ニ掲クル者之ヲ管理ス（之ヲ特別投票管理者ト稱ス）

- 一 第二十六條第一號ニ掲クル事由ニ關スルトキハ選舉人ノ屬スル投票區ノ投票管理者又ハ其ノ乗務スル船舶ノ船長
- 二 第二十六條第二號乃至第四號ニ掲クル事由ニ關スルトキハ選舉人ノ屬スル投票區ノ投票管理者
- 三 第二十六條第五號ニ掲クル事由ニ關スルトキハ選舉人ノ屬スル投票區ノ投票管理者、其ノ所屬ノ部隊若ハ陸上海軍各部ノ所在地ノ投票區ノ投票管理者、其ノ所屬ノ部隊若ハ陸上海軍各部ノ所在地ノ投票區ノ投票管理者

衆議院議員選舉法施行令

票管理者（當該所在地二以上ノ投票區ニ涉ルトキハ關係投票管理者ノ中ニ就キ地方長官ノ指定スル者）又ハ所屬ノ艦船ノ長

四 第二十六條第六號ニ掲クル事由ニ關スルトキハ選舉人ノ屬スル投票區ノ投票管理者又ハ其ノ所屬ノ艦船ノ長

五 第二十六條第七號ニ掲グル事由ニ關スルトキハ選舉人ノ屬スル投票區ノ投票管理者又ハ其ノ現ニ職務若ハ業務ニ従事スル地ノ投票管理者

六 第二十六條第八號ニ掲グル事由ニ關スルトキハ選舉人ノ屬スル投票區ノ投票管理者又ハ其ノ現ニ住居ヲ有スル地ノ投票管理者

第三十一條 第二十六條第一號又ハ第五號乃至第八號ニ掲クル事由ニ關シ投票用紙及投票用封筒ノ交付ヲ受ケタル選舉人ノ選舉ノ期日迄ニ其ノ投票用紙及投票用封筒ヲ特別投票管理者ニ揭示シ點檢ヲ受ケ當該管理者ノ管理スル投票記載ノ場所ニ於テ自ラ投票用紙ニ被選舉人一人ノ氏名ヲ記載シ之ヲ投票用封筒ニ入レ封緘シ投票用封筒ノ表面ニ其ノ氏

名ヲ記載シ直ニ之ヲ當該管理者ニ提出スヘシ
第二十六條第七號又ハ第八號ニ掲グル事由ニ關シ投票用紙及投票用封筒ノ交付ヲ受ケタル選舉人其ノ屬スル投票區以外ニ於テ投票ヲ爲サントスル場合ニ於テハ前項ノ規定ニ依リ投票用紙及投票用封筒ヲ提示スルト同時ニ特別投票者證明書ヲ封筒ノ儘特別投票管理者ニ提示スベシ
特別投票管理者特別投票者證明書ノ提出ヲ受ケタルトキハ直ニ其ノ封筒ヲ開披シ之ヲ調査シタル上投票ヲ爲サシムベシ
第二十六條第二號乃至第四號ニ掲クル事由ニ關シ投票用紙及投票用封筒ノ交付ヲ受ケタル選舉人ハ其ノ交付ヲ受ケタル後直ニ特別投票管理者ノ管理スル投票記載ノ場所ニ於テ自ラ投票用紙ニ被選舉人一人ノ氏名ヲ記載シ之ヲ投票用封筒ニ入レ封緘シ投票用封筒ノ表面ニ其ノ氏名ヲ記載シ直ニ之ヲ當該管理者ニ提出スヘシ
前三項ノ場合ニ於テ特別投票管理者ハ各關係市町村吏員、船員若ハ海軍軍人又ハ之ニ準スヘキ者ヲシテ之ニ立會ハシムヘシ

第十三條ノ規定ハ第一項及第三項ノ投票記載ノ場所ニ之ヲ準用ス

第三十二條 特別投票管理者前條第一項又ハ第三項ノ規定ニ依ル投票ヲ受領シタルトキハ投票用封筒ノ裏面ニ投票ノ年月日及場所ヲ記載シ前條第四項ノ規定ニ依ル立會人ト共ニ之ニ署名スヘシ

前項ノ特別投票管理者選舉人ノ屬スル投票區ノ投票管理者ナルトキハ其ノ投票ヲ其ノ儘保管スヘシ

第一項ノ特別投票管理者選舉人ノ屬スル投票區ノ投票管理者以外ノ者ナルトキハ更ニ其ノ投票ヲ他ノ封筒ニ入レ封緘シ其ノ表面ニ投票在中ノ旨ヲ明記シ其ノ裏面ニ署名捺印シ之ヲ選舉人ノ屬スル投票區ノ投票管理者ニ送致スヘシ

投票用紙及投票用封筒ヲ交付シタル後投票區ニ異動アリタルニ因リ投票管理者ノ管理ニ依ル投票區ニ屬スルコトナキニ至リタル選舉人ノ投票ハ投票管理者ニ於テ直ニ之ヲ新ニ選舉人ノ屬スル投票區ノ投票管理者ニ送致スヘシ

投票管理者投票所ヲ閉ツヘキ時刻迄ニ前二項ノ規定ニ依ル投票ノ送致ヲ受ケタルトキハ送致ニ用ヒラレタル封筒ヲ開披シ投票ハ其ノ儘之ヲ保管スヘシ

第三十三條 投票管理者ハ第二十七條乃至第二十九條及前二條ノ規定ニ依ル手續ニ關スル顛末書ヲ作成シ之ニ署名シ投票録ニ添附スヘシ

第三十四條 投票管理者ハ投票函閉鎖前投票立會人ノ意見ヲ聽キ第三十二條第二項又ハ第五項ノ規定ニ依リ保管スル投票ノ受理如何ヲ決定スヘシ

前項ノ決定アリタルトキハ投票管理者ハ直ニ投票用封筒ヲ開披シ其ノ點字投票ナル旨ノ印ヲ押捺シタル投票用紙ヲ用ヒタル投票ニ付衆議院議員選舉法第三十一條ノ例ニ依リ其ノ拒否ヲ決定スヘシ

第一項ノ規定ニ依リ受理スヘシト決定セラレ且前項ノ規定ニ依ル拒否ノ決定ヲ受ケサル投票ハ投票管理者ニ於テ直ニ之ヲ投函シ第一項ノ規定ニ依リ受理スヘカラスト決定セラレタル投票又ハ前項ノ規定ニ依ル

拒否ノ決定ヲ受ケタル投票ハ投票管理者ニ於テ更ニ之ヲ其ノ投票用封筒ニ入レ假ニ封緘ヲ施シ其ノ表面ニ第一項ノ規定ニ依ル不受理ノ決定又ハ前項ノ規定ニ依ル拒否ノ決定アリタル旨ヲ記載シテ之ヲ投函スヘシ

第一項ノ規定ニ依ル不受理ノ決定又ハ第二項ノ規定ニ依ル拒否ノ決定アリタル投票ハ衆議院議員選舉法第四十九條ノ規定ノ適用ニ付テハ同法第三十一條第二項及第四項ノ投票ト看做ス

第三十五條 第二十九條第一項及第三項ノ規定ニ依リ交付ヲ受ケタル投票用紙及投票用封筒ハ選舉ノ當日投票所ニ於テ之ヲ使用スルコトヲ得ス

選舉人第二十九條第一項及第三項ノ規定ニ依リ投票用紙及投票用封筒ノ交付ヲ受ケタルトキハ之ヲ投票管理者ニ返還スルニ非サレハ衆議院議員選舉法第二十五條第一項ノ規定ニ依ル投票ヲ爲スコトヲ得ス
選舉人第二十九條第二項ノ規定ニ依リ特別投票者證明書ノ交付ヲ受ケ

タル場合ニ於テ其ノ屬スル投票區ニ於テ衆議院議員選舉法第二十五條

第一項又ハ本令第三十一條第一項ノ規定ニ依ル投票ヲ爲サントスルト

キハ之ヲ投票管理者又ハ特別投票管理者ニ返還スベシ

第三十六條 投票管理者投票所ヲ閉ツヘキ時刻後第三十二條第三項又ハ

第四項ノ規定ニ依ル投票ノ送致ヲ受ケタルトキハ送致ニ用ヒラレタル

封筒ヲ開披シ投票用封筒ノ裏面ニ受領ノ年月日時ヲ記載シ之ヲ開票管

理者ニ送致スヘシ

第五章 開票

第三十七條 郡市ノ區域ヲ分チテ數開票區ヲ設ケタル場合ニ於テハ各開

票區ニ於ケル開票管理者ハ地方長官ニ於テ官吏又ハ吏員ノ中ニ就キ之

ヲ定ム但シ支廳長ノ管轄區域又ハ市ノ區域ヲ分チテ數開票區ヲ設ケタ

ル場合ニ於テハ開票管理者ノ内一人ハ支廳長又ハ市長ヲ以テ之ニ充ツ

ルコトヲ要ス

第三十七條ノ二 數郡市ノ區域ヲ合セテ一開票區ヲ設ケタル場合ニ於テ

衆議院議員選舉法施行令

ハ開票管理者ハ地方長官ニ於テ官吏又ハ關係市長ノ中ニ就キ之ヲ定ム
第三十八條 第九條ノ規定ハ開票管理者及其ノ代理者ニ、第十條ノ規定
ハ開票立會人ニ之ヲ準用ス

第三十八條ノ二 地方長官衆議院議員選舉法第四十九條第二項ノ規定ニ
依リ投票點檢ノ區域ヲ定メタルトキハ直ニ之ヲ告示スベシ

第三十九條 投票ヲ點檢スルトキハ開票管理者ハ開票事務ニ從事スル者

二人ヲシテ各別ニ同一議員候補者ノ得票數ヲ計算セシムヘシ

第四十條 前條ノ計算終リタルトキハ開票管理者ハ衆議院議員選舉法第
四十九條第二項ノ區域毎ニ各議員候補者ノ得票數ヲ朗讀シ終リニ各議
員候補者ノ得票總數ヲ朗讀スヘシ

第四十一條 開票管理者衆議院議員選舉法第四十九條第三項ノ報告ヲ爲
ストキハ同時ニ開票錄ノ謄本ヲ送付スヘシ

開票管理者ハ前項ノ報告ヲ爲シタル後直ニ投票管理者ヨリ送付シタル
選舉人名簿ヲ關係市町村長ニ返付スヘシ

第四十二條 開票管理者ハ衆議院議員選舉法第四十九條第二項ノ區域毎
ニ點檢濟ニ係ル投票ノ有效無效ヲ區別シ各之ヲ封筒ニ入レ開票立會人

ト共ニ封印ヲ施シ之ヲ保存スヘシ

受理スヘカラスト決定シタル投票ハ其ノ封筒ヲ開披セス前項ノ例ニ依
リ議員ノ任期間之ヲ保存スヘシ

第三十六條ノ規定ニ依リ送致ヲ受ケタル投票ハ開票管理者ニ於テ其ノ

封筒ヲ開披セス議員ノ任期間之ヲ保存スヘシ
地方長官ノ指定シタル官吏(支廳長ヲ除ク)又ハ吏員(市長ヲ除ク)開票
管理者タル場合ニ於テハ開票管理者ノ保存スヘキ投票ハ地方長官若ハ
支廳長又ハ市長ニ於テ之ヲ保存スヘシ

第四十三條 開票ニ關スル書類ハ開票管理者ニ於テ議員ノ任期間之ヲ保
存スヘシ此ノ場合ニ於テハ前條第四項ノ規定ヲ準用ス

第四十四條 地方長官衆議院議員選舉法第五十六條ノ規定ニ依リ開票ノ
期日ヲ定メタルトキハ直ニ之ヲ開票管理者及選舉長ニ通知スヘシ

衆議院議員選舉法施行令

第六章 選舉會

第四十五條 第九條ノ規定ハ選舉長及其ノ代理者ニ、第十條ノ規定ハ選舉立會人ニ之ヲ準用ス

第四十六條 開票管理者ノ報告ヲ調査スルトキハ選舉長ハ開票區毎ニ各議員候補者ノ得票數ヲ朗讀シ終リニ各議員候補者ノ得票總數ヲ朗讀スヘシ

第四十七條 選舉會ニ關スル書類ハ選舉長ニ於テ議員ノ任期間之ヲ保存スヘシ但シ地方長官ノ指定シタル官吏(支廳長ヲ除ク)選舉長タル場合ニ於テハ地方長官ニ於テ之ヲ保存スヘシ

第四十八條 地方長官衆議院議員選舉法第六十五條ノ規定ニ依リ選舉會ノ期日ヲ定メタルトキハ直ニ之ヲ選舉長ニ通知スヘシ

第七章 議員候補者及當選人

第四十九條 議員候補者ノ届出又ハ推薦届出ハ文書ヲ以テ之ヲ爲シ議員候補者タルヘキ者ノ氏名、職業、住居及生年月日(推薦届出ノ場合ニ

於テハ併セテ推薦届出者ノ氏名、住居及生年月日)ヲ記載シ且衆議院議員選舉法第六十八條第一項ノ供託ヲ爲シタルコトヲ證スヘキ書面ヲ添附スヘシ

議員候補者タルコトヲ辭スルコトノ届出ハ文書ヲ以テ之ヲ爲シ其ノ被選舉權ヲ有セサルニ至リタル爲選舉ノ期日前十日以内ニ議員候補者タルコトヲ辭スル場合ニ於テハ其ノ事由ヲ記載スヘシ

第五十條 議員候補者ノ届出又ハ推薦届出アリタルトキハ選舉長ハ直ニ其ノ旨ヲ議員候補者ノ住居ヲ有スル地ノ市町村長ニ通知シ同時ニ議員候補者ノ氏名、職業、住居、生年月日其ノ他必要ナル事項ヲ開票管理者ニ通知スヘシ

前項ノ通知ヲ受ケタル市町村長ハ當該議員候補者死亡シタルトキハ直ニ其ノ旨ヲ選舉長ニ通知スヘシ

選舉長ハ議員候補者ノ議員候補者タルコトヲ辭シタルトキ又ハ其ノ死亡シタルコトヲ知リタルトキハ直ニ其ノ旨ヲ開票管理者ニ通知スヘシ

第五十一條 議員候補者選舉ノ期日前十一日迄ニ議員候補者タルコトヲ
辭シタルトキ、選舉ノ期日ニ於ケル投票所ヲ開クヘキ時刻迄ニ死亡シ
タルトキ若ハ被選舉權ヲ有セサルニ至リタル爲議員候補者タルコトヲ
辭シタルトキ又ハ選舉ノ全部無効ト爲リタルトキハ直ニ衆議院議員選
舉法第六十八條第一項ノ供託物ノ還付ヲ請求スルコトヲ得

議員候補者ノ得票數衆議院選舉法第六十八條第二項ノ規定ニ該當セサ
ルモノナルトキ又ハ議員候補者同法第七十一條ノ規定ノ適用ヲ受ケタ
ルモノナルトキハ其ノ選舉及當選ノ效力確定後直ニ同法第六十八條第
一項ノ供託物ノ還付ヲ請求スルコトヲ得

第五十二條 當選人衆議院議員選舉法第七十四條ノ期間内ニ當選承諾ノ
届出ヲ爲ササルトキハ選舉長ハ直ニ其ノ旨ヲ地方長官ニ報告スヘシ

第八章 選舉運動

第五十三條 選舉事務長ノ選任(議員候補者又ハ推薦届出者自ラ選舉事
務長ト爲リタル場合ヲ含ム以下之ニ同シ)ノ届出ハ文書ヲ以テ之ヲ爲

シ選舉事務長ノ氏名、職業、住居、生年月日及選任年月日並議員候補
者ノ氏名ヲ記載シ且選舉事務長カ選舉權ヲ有スル者ナルコトヲ證スヘ
キ書面ヲ添附スヘシ

推薦届出者選舉事務長ノ選任ヲ爲シタル場合ニ於テハ前項ノ届出ニハ
推薦届出者數人アルトキハ其ノ代表者タルコトヲ證スヘキ書面ヲ、其
ノ選任ニ付議員候補者ノ承諾ヲ要スルトキハ其ノ承諾ヲ得タルコトヲ
證スヘキ書面ヲ添附スヘシ

第五十四條 選舉委員ノ選任ノ届出ハ文書ヲ以テ之ヲ爲シ選舉委員ノ氏
名、職業、住居、生年月日及選任年月日ヲ記載シ且選舉委員カ選舉權
ヲ有スル者ナルコトヲ證スヘキ書面ヲ添附スヘシ

第五十五條 選舉事務所ノ設置ノ届出ハ文書ヲ以テ之ヲ爲シ選舉事務所
ノ所在地及設置ノ年月日ヲ記載スヘシ

第五十六條 選舉事務長、選舉委員又ハ選舉事務所ニ異動アリタルコト
ノ届出ハ前三條ノ例ニ依リ之ヲ爲スヘシ

前項ノ届出ニシテ解任又ハ辭任ニ因ル異動ニ關スルモノニハ衆議院議員選舉法第八十八條第三項若ハ第四項又ハ第八十九條第二項若ハ第三項ノ通知アリタルコトヲ證スヘキ書面ヲ添附スヘシ選舉事務長ヲ選任シタル推薦届出者選舉事務長ヲ解任シタル場合ニ於テハ併セテ其ノ解任ニ付議員候補者ノ承諾アリタルコトヲ證スヘキ書面ヲ添附スヘシ

第五十七條 選舉事務長故障アルトキ之ニ代リテ其ノ職務ヲ行フコトノ届出ハ文書ヲ以テ之ヲ爲シ選舉事務長ノ氏名(選舉事務長ノ選任ヲ爲シタル推薦届出者モ亦故障アルトキハ併セテ其ノ氏名)、故障ノ事實及其ノ職務代行ヲ始メタル年月日ヲ記載シ且故障ノ生シタルコトヲ證スヘキ書面ヲ添附スヘシ

選舉事務長故障アルトキ之ニ代リテ其ノ職務ヲ行フ者之ヲ罷メタルコトノ届出ハ文書ヲ以テ之ヲ爲シ故障ノ止ミタル事實及其ノ職務代行ヲ罷メタル年月日ヲ記載シ且故障ノ止ミタルコトヲ證スヘキ書面ヲ添附スヘシ

第五十七條ノ二 交通至難ノ情況アル選舉區ニ於テハ衆議院議員選舉法

第九十條但書ノ規定ニ依リ選舉事務所ヲ三箇所迄設置スルコトヲ得前項ノ選舉區、選舉事務所ノ數及選舉事務所ヲ設置シ得ヘキ區域ハ内務大臣之ヲ定ム

第五十七條ノ三 衆議院議員選舉法第九十六條第一項但書ノ規定ニ依リ議員候補者、選舉事務長又ハ選舉委員ニ非ザル者ガ演說又ハ推薦狀ニ

依ル選舉運動ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ各號ノ制限ニ從フベシ

- 一 選舉人ニ對シ戸別訪問ヲ爲シ又ハ連續シテ個個ノ選舉人ニ對シ面接シ若ハ電話ニ依リ通話ヲ爲スコトヲ得ズ
- 二 演說會告知ノ爲ニスル場合ヲ除クノ外新聞紙又ハ雜誌ヲ利用スルコトヲ得ズ
- 三 演說又ハ推薦狀ニ依ル選舉運動ヲ爲スニ付強テ議員候補者又ハ選舉事務長ノ承諾ヲ求ムルコトヲ得ズ

第九章 選舉運動ノ費用

衆議院議員選舉法施行令

第五十八條 選舉事務長選舉運動ノ費用ノ支出ノ承諾ヲ與ヘタル場合ニ於テ承諾ニ係ル費用ノ支出終了シタルトキ又ハ選舉ノ期日經過シタルトキハ選舉事務長ハ遲滯ナク其ノ承諾ヲ受ケタル者ニ就キ支出金額(財産上ノ義務ノ負擔又ハ金錢以外ノ財産上ノ利益ノ使用若ハ費消ノ承諾ヲ與ヘタル場合ニ於テハ其ノ負擔シタル義務又ハ其ノ使用シ若ハ費消シタル利益)其ノ用途ノ大要、支出先、支出年月日及支出者ノ氏名ヲ記載シタル精算書ヲ作成スヘシ

第五十九條 演說又ハ推薦狀ニ依ル選舉運動ノ費用ニシテ議員候補者、選舉事務長又ハ選舉委員ニ非サル者カ議員候補者又ハ選舉事務長ト意思ヲ通シテ支出シタルモノニ付テハ選舉事務長ハ其ノ都度遲滯ナク議員候補者又ハ支出者ニ就キ前條ノ例ニ依リ精算書ヲ作成スヘシ前項ノ費用ニシテ議員候補者ト意思ヲ通シテ支出シタルモノニ付テハ其ノ意思ヲ通シタル都度議員候補者ハ直ニ其ノ旨ヲ選舉事務長ニ通知スヘシ

第六十條 立候補準備ノ爲ニ要シタル費用ニシテ議員候補者若ハ選舉事務長ト爲リタル者カ支出シ又ハ他人カ其ノ者ト意思ヲ通シテ支出シタルモノニ付テハ選舉事務長ハ其ノ就任後遲滯ナク議員候補者又ハ支出者ニ就キ第五十八條ノ例ニ依リ精算書ヲ作成スヘシ

- 第六十一條 選舉事務長ハ左ニ掲クル帳簿ヲ備フヘシ
 - 一 承諾簿
 - 二 評價簿
 - 三 支出簿

第六十二條 選舉事務長選舉運動ノ費用ノ支出ノ承諾ヲ與ヘタルトキハ直ニ承諾ニ係ル金額(財産上ノ義務ノ負擔又ハ金錢以外ノ財産上ノ利益ノ使用若ハ費消ノ承諾ヲ與ヘタル場合ニ於テハ承諾ニ係ル義務又ハ利益)其ノ用途ノ大要、承諾年月日及承諾ヲ受ケタル者ノ氏名ヲ承諾簿ニ記載スヘシ

選舉事務長選舉運動ノ費用ノ支出ノ承諾ヲ與ヘタル後未タ支出セラレ

サル費用ニ付テハ文書ヲ以テ其ノ承諾ノ取消ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ旨ヲ前項ノ例ニ依リ承諾簿ニ記載スヘシ

選舉事務長第五十八條ノ規定ニ依リ精算書ヲ作成シタルトキハ直ニ支出總金額(財産上ノ義務ノ負擔又ハ金錢以外ノ財産上ノ利益ノ使用若ハ費消ニ付テハ其ノ種別總額)、其ノ用途ノ大要、精算年月日及承諾ヲ受ケタル者ノ氏名ヲ承諾簿ニ記載スヘシ

第六十三條 左ニ掲クル場合ニ於テハ選舉事務長ハ直ニ財産上ノ義務又ハ金錢以外ノ財産上ノ利益ヲ時價ニ見積リタル金額、其ノ用途ノ大要、支出先、支出年月日及見積リノ詳細ナル根據ヲ評價簿ニ記載スヘシ

一 選舉事務長選舉運動ノ費用トシテ財産上ノ義務ヲ負擔シ又ハ金錢以外ノ財産上ノ利益ヲ使用シ若ハ費消シタルトキ

二 選舉事務長第五十九條第一項又ハ第六十條ノ規定ニ依リ財産上ノ義務ノ負擔又ハ金錢以外ノ財産上ノ利益ノ使用若ハ費消ニ關スル精

算書ヲ作成シタルトキ

三 選舉事務長前條ノ規定ニ依リ財産上ノ義務ノ負擔又ハ金錢以外ノ財産上ノ利益ノ使用若ハ費消ニ關スル承諾簿ノ記載ヲ爲シタルトキ

第六十四條 左ニ掲クル場合ニ於テハ選舉事務長ハ直ニ支出金額、其ノ用途ノ大要、支出先及支出年月日ヲ支出簿ニ記載スヘシ

一 選舉事務長金錢ヲ以テ選舉運動ノ費用ノ支出ヲ爲シタルトキ

二 選舉事務長第五十九條第一項又ハ第六十條ノ規定ニ依リ金錢ノ支出ニ關スル精算書ヲ作成シタルトキ

三 選舉事務長第六十二條第三項ノ規定ニ依リ金錢ノ支出ニ關スル承諾簿ノ記載ヲ爲シタルトキ

四 選舉事務長前條ノ規定ニ依リ評價簿ノ記載ヲ爲シタルトキ

第六十四條ノ二 承諾簿、評價簿及支出簿ノ記載ハ内務大臣ノ定ムル様式ニ依ルベシ

第六十五條 衆議院議員選舉法第九條ノ規定ニ依リ事務ノ引繼ヲ爲ス

衆議院議員選舉法施行令

場合ニ於テハ第六十六條ニ定ムル精算届書ノ様式ニ準シ選舉運動ノ費用ノ計算書ヲ作成シテ引繼ヲ爲ス者及引繼ヲ受クル者ニ於テ之ニ引繼ノ旨及引繼年月日ヲ記載シ共ニ署名捺印シ第六十八條ニ定ムル帳簿及書類ト共ニ其ノ引繼ヲ爲スヘシ

第六十六條 衆議院議員選舉法第百六條第一項ノ規定ニ依ル選舉運動ノ費用ノ精算ノ届出ハ文書ヲ以テ之ヲ爲シ内務大臣ノ定ムル精算届書ノ様式ニ依ルヘシ

第六十七條 選舉運動ノ費用ノ支出ヲ爲シタルトキハ其ノ都度領收書其ノ他ノ支出ヲ證スヘキ書面ヲ徴スヘシ但シ之ヲ徴シ難キ事情アルトキ又ハ一口五圓未滿ノ支出ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第六十八條 衆議院議員選舉法第百七條第二項ノ規定ニ依リ帳簿及書類ノ種類ヲ定ムルコト左ノ如シ

- 一 第五十八條乃至第六十條ノ精算書
- 二 第六十一條ニ掲クル帳簿

- 三 第六十五條ノ計算書
- 四 前條ノ領收書其ノ他ノ支出ヲ證スヘキ書面

第十章 選舉ニ關スル費用

第六十九條 選舉人名簿、投票ノ用紙及封筒、特別投票者證明書及其ノ封筒、投票函並點字器ノ調製ニ要スル費用ハ北海道地方費又ハ府縣ノ負擔トス

第七十條 選舉事務ノ爲地方長官、選舉長、開票管理者又ハ投票管理者ニ於テ要スル費用及選舉會場、開票所又ハ投票所ニ要スル費用ハ關係行政廳ノ經費ヲ以テ之ヲ支辨スヘシ

衆議院議員選舉法第三十三條ノ規定ニ依ル投票ニ關スル選舉事務ノ爲投票管理者又ハ特別投票管理者ニ於テ要スル費用及其ノ投票記載ノ場所ニ要スル費用ハ選舉人ノ屬スル投票區ノ行政廳ノ經費ヲ以テ之ヲ支辨スヘシ

第七十一條 前條ノ關係行政廳ニ以上アル場合ニ於テハ其ノ支辨スヘキ

衆議院議員選舉法施行令

費用ハ關係行政廳ニ之ヲ平分スヘシ此ノ場合ニ於テ關係行政廳ノ經費
カ同一經濟ニ屬スルトキハ一行政廳ノ經費ヲ以テ之ヲ支辨スヘシ
第七十二條 投票立會人、開票立會人及選舉立會人ニハ職務ノ爲要スル
費用ヲ給ス

前項ノ費用ノ額ハ地方長官之ヲ定ム

第一項ノ費用ハ北海道地方費又ハ府縣ノ負擔トス

第七十二條ノ二 公立學校又ハ第七十六條ノ營造物ノ設備ノ使用ニ依ル
演說會開催ノ爲ニ必要ナル施設ノ公營ニ要スル費用ハ公立學校又ハ第
七十六條ノ營造物ノ設備毎ニ議員候補者一人ニ付一回ノ公營ノ分ヲ限
リ國庫ノ負擔トス

前項ノ規定ニ依リ國庫ノ負擔スベキ費用ノ額ハ第八十一條ノ三第二項
又ハ之ヲ準用スル第八十三條ノ規定ニ依リ公立學校又ハ第七十六條ノ
營造物ノ設備ノ管理者ノ定メタル費用ノ額(第八十六條第二項ノ規定
ニ依リ當該管理者ニ代リ地方長官ノ定メタル費用ノ額ヲ含ム)ニ依リ

國庫ヨリ當該公立團體ニ對シ之ヲ交付ス

第七十二條ノ三 公立學校又ハ第七十六條ノ營造物ノ設備ノ使用ニ依ル
演說會開催ノ爲ニ必要ナル施設ノ公營ニ要スル費用ハ前條第一項ノ規
定ニ依リ國庫ノ負擔ニ屬スル場合ヲ除クノ外第八十一條ノ三又ハ之ヲ
準用スル第八十三條ノ定ムル所ニ依リ其ノ申請者ノ負擔トス

第八十一條ノ三又ハ之ヲ準用スル第八十三條ノ規定ニ依ル納付金ハ當
該公共團體ノ收入トス

第七十二條ノ四 公立學校又ハ第七十六條ノ營造物ノ設備ノ使用ニ依ル
演說會開催ノ爲ニ必要ナル施設ノ公營ニ要スル費用ハ當該公共團體ノ
經費ヲ以テ之ヲ經理スベシ

第七十二條ノ五 選舉公報ノ發行ニ要スル費用ハ國庫ノ負擔トス
第十一章 無料郵便物ノ差出

第七十三條 衆議院議員選舉法第四十條第一項ノ選舉運動ノ爲ニスル
通常郵便物ハ左ニ掲クルモノニ限ル

衆議院議員選舉法施行令

- 一 重量二十五グラム迄ノ無封ノ書狀
- 二 私製葉書

前項ノ郵便物ハ之ヲ特殊取扱ト爲スコトヲ得ス

第七十四條 前條ノ郵便物ハ推薦届出者議員候補者ノ承諾ヲ得ズシテ選舉事務長ノ選任ヲ爲シタル場合ニ於テハ當該選舉事務長、其ノ他ノ場合ニ於テハ議員候補者ニ限り之ヲ差出スコトヲ得

選舉事務長ニ異動アリタル場合ニ於テ前項ノ規定ニ依リ新ニ前條ノ郵便物ヲ差出シ得ルニ至リタル者ハ其ノ未ダ差出サレザル選舉人ニ對シテノミ之ヲ差出スコトヲ得

第七十五條 前二條ニ定ムルモノノ外第七十三條ノ郵便物ニ關シ必要ナル事項ハ遞信大臣之ヲ定ム

第十二章

公立學校等ノ設備ノ使用及其ノ使用ニ依

ル演說會開催ノ爲ニ必要ナル施設ノ公營

第七十六條

衆議院議員選舉法第四百十條第二項ノ營造物ノ設備ハ左ニ

掲クルモノニシテ道府縣、市町村、市町村組合、町村組合、商工會議所又ハ農會ノ管理ニ屬スルモノニ限ル

- 一 公會堂
- 二 議事堂
- 三 前各號ノ外地方長官ノ指定シタル營造物ノ設備

議事堂ニシテ國又ハ公共團體ノ他ノ營造物ノ設備ト同一ノ建物内ニ在リ又ハ之ニ接續シ若ハ近接シ其ノ使用ニ依リ國又ハ公共團體ノ事務ニ著シキ支障アリト認ムルモノニ付テハ地方長官ハ豫メ之ヲ指定シ其ノ使用ヲ制限シ又ハ禁止スルコトヲ得

前二項ノ指定ヲ爲シタルトキハ地方長官ハ直ニ之ヲ告示スヘシ

第七十七條 公立學校及前條ノ營造物ノ設備ノ使用竝ニ其ノ使用ニ依ル演說會開催ノ爲ニ必要ナル施設ノ公營ハ推薦届出者議員候補者ノ承諾ヲ得ズシテ選舉事務長ノ選任ヲ爲シタル場合ニ於テハ當該選舉事務長、其ノ他ノ場合ニ於テハ議員候補者ニ限り之ヲ申請スルコトヲ得

衆議院議員選舉法施行令

第七十八條 公立學校ヲ使用セムトスルトキハ其ノ使用スヘキ學校ノ設備及日時ヲ記載シタル文書ヲ以テ當該公立學校管理者ニ之ヲ申請スヘシ

同一議員候補者ノ爲ニ回以上同一公立學校ヲ使用セムトスルトキハ先ノ申請ニ對シ許可セラレタル使用ノ日ヲ經過シタル後ニ非サレハ更ニ申請ヲ爲スコトヲ得ス

第七十八條ノ二 公立學校ヲ使用セントスル場合ニ於テ併セテ其ノ使用ニ依ル演說會開催ノ爲ニ必要ナル施設ノ公營ヲ受ケントスルトキハ其ノ使用ノ日ノ前日迄ニ文書ヲ以テ當該公立學校管理者ニ之ヲ申請スベシ

前項ノ申請ハ前條ノ規定ニ依ル申請書ニ附記シテ之ヲ爲スコトヲ妨ダズ此ノ場合ニ於テハ前條ノ申請ハ公立學校ノ使用ノ日ノ前日迄ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

特別ノ事情アルトキハ公立學校管理者ハ地方長官ノ承認ヲ得テ前二項

ニ規定スル期限ト異リタル期限ヲ定ムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ期限ヲ定メタルトキハ公立學校管理者ハ直ニ之ヲ告示スベシ

第七十九條 同一公立學校ヲ同一日時ニ使用スヘキニ以上ノ申請アリタルトキハ公立學校管理者ハ先ニ到達シタル申請書ノ申請ニ對シ、其ノ到達同時ナルトキハ既ニ使用ヲ許可セラレタル度数ノ少キ議員候補者ノ爲ノ申請ニ對シ其ノ使用ヲ許可スヘシ其ノ度数モ亦同シキトキハ申請者又ハ其メ代人立會ノ上抽籤ニ依リ其ノ使用ヲ許可スヘキ者ヲ決定スヘシ

第八十條 第七十八條ノ規定ニ依ル申請書ノ到達アリタルトキハ公立學校管理者ハ當該公立學校長ノ意見ヲ徵シテ其ノ許否ヲ決定シ到達ノ日ヨリ二日以内ニ申請者又ハ其メ代人及當該公立學校長ニ通知スヘシ

第八十一條 公立學校ノ使用ノ許可ハ左ノ各號ノ規定ニ依ル
一 公立學校長ニ於テ學校ノ授業又ハ諸行事ニ支障アリト認ムル場合